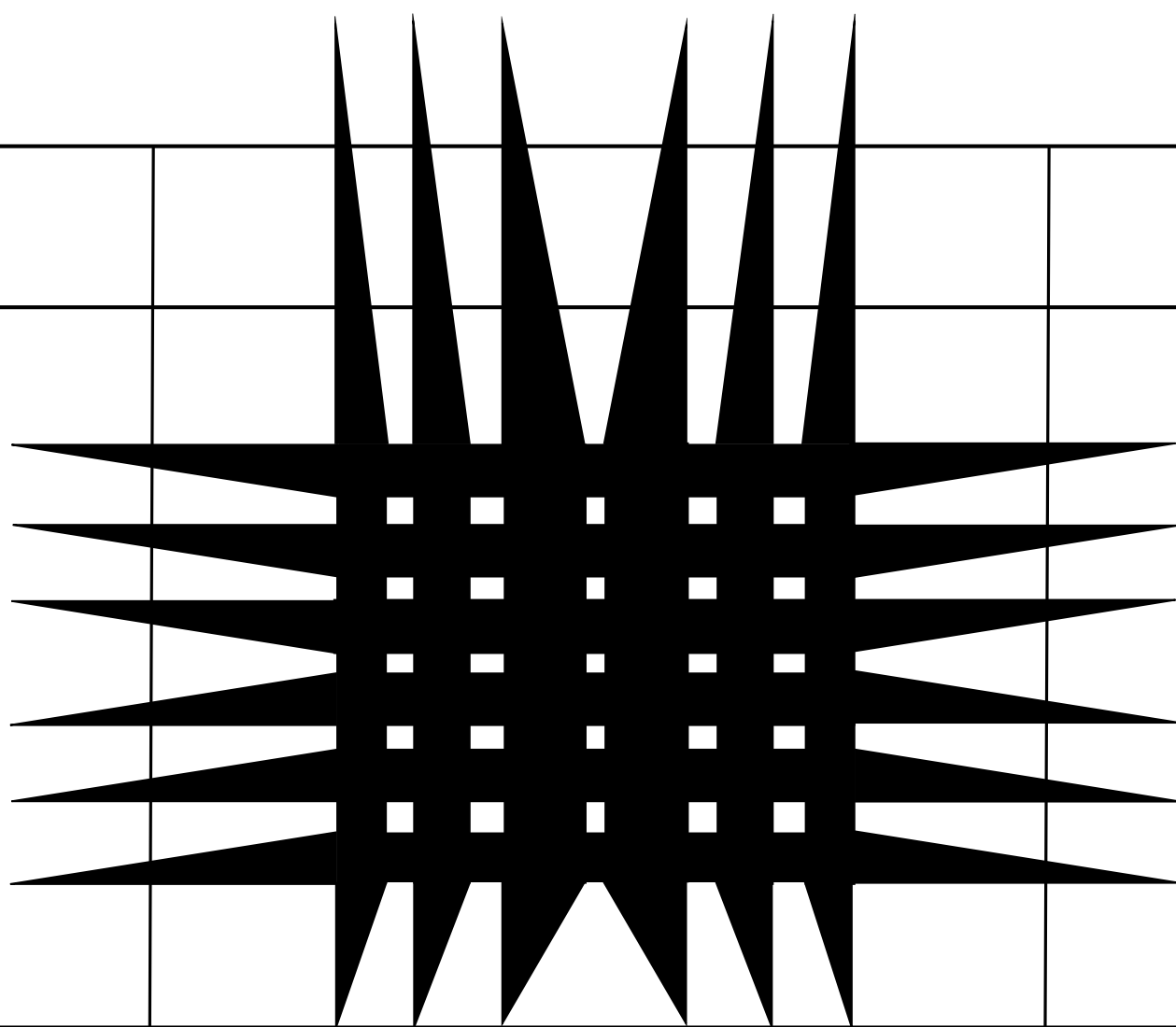


社会教育要覧

No.67



令和2年度 川崎市教育委員会 2020

令和2年度
社会教育要覧 No.67
(令和2年度活動計画)・(令和元年度活動報告)
も　く　じ

計画編（令和2年度活動計画）	頁	報告編（令和元年度活動報告）	頁
I 川崎市の概要	1	I 審議会・協議会等の活動	48
1. 市政概要	1	1. 活動内容	48
2. 教育施設設置状況	1	2. 審議会・協議会等委員名簿	53
3. 人口の推移	1		
II 機構と財政	2	II 令和元年度事業の評価と課題	58
川崎市社会教育関係機構図	2	1. 生涯学習推進課	58
令和元年度社会教育関係予算（目別）比較表	3	2. 文化財課	62
		3. 図書館・図書館分館	63
III 令和2年度川崎市生涯学習推進活動方針	4	4. 教育文化会館・市民館・分館	65
I. 基本方針	4	5. ふれあい館（社会教育関連施設）	67
II. 施策の方向性	4	6. 視聴覚センター（総合教育センター内）	68
III. 令和元年度の主な事業	5	7. 博物館・文化施設	70
1 いきいきと学び、活動するための環境をつくる	5	(1) 日本民家園	
2 家庭・地域の教育力を高める	6	(2) 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	
3 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める	6	(3) 市民ミュージアム	
IV. 教育基本方針資料	8	(4) 岡本太郎美術館	
同和教育に対する基本的な考え方	8	(5) 大山街道ふるさと館	
川崎市外国人教育基本方針	9	8. 公益財団法人川崎市生涯学習財団	73
		9. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）	75
IV 令和2年度の重点施策及び事業内容	13	10. 市民スポーツ室	75
1. 生涯学習推進課	13	11. スポーツ施設	76
2. 文化財課	17	(1) とどろきアリーナ	
3. 図書館・図書館分館	19	(2) カルッツかわさき	
4. 教育文化会館・市民館・分館	20	(3)～(7) スポーツセンター	
5. ふれあい館（社会教育関連施設）	24	(8) 石川記念武道館	
6. 視聴覚センター（総合教育センター内）	25	12. 青少年教育施設	79
7. 日本民家園	26	(1) 青少年の家	
8. 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	27	(2) ハケ岳少年自然の家	
9. 市民ミュージアム	28	(3) 黒川青少年野外活動センター	
10. 岡本太郎美術館	29	(4) 子ども夢パーク	
11. 大山街道ふるさと館	30	III 社会教育関係団体	81
12. 東海道かわさき宿交流館	30	1. PTA（川崎市PTA連絡協議会）	81
13. 公益財団法人川崎市生涯学習財団	31	2. 女性団体（川崎市地域女性連絡協議会）	82
14. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）	33	3. 青少年団体	83
15. 市民スポーツ室（市民文化局）	34	4. 文化団体	84
16. とどろきアリーナ	37	5. スポーツ団体	85
17. カルッツかわさき	38		
18. 川崎市スポーツセンター	39	IV 社会教育関係資料	86
19. 石川記念武道館	43	1. 図書館利用状況及び蔵書冊数	86
20. 青少年の家	44	2. 社会教育施設利用状況	87
21. ハケ岳少年自然の家	45	3. 学校施設開放校一覧表	108
22. 黒川青少年野外活動センター	46	4. 市内所在指定文化財一覧	111
23. 子ども夢パーク	47	5. 施設一覧	119

計 画 編

(令和2年度活動計画)

I 川 崎 市 の 概 要

1. 市政概要

川崎市は、神奈川県の中北部に位置し、市域の大部分が平坦で北は多摩川を境として東京都と接し、南西部はその大半が丘陵をなし横浜市に接している。南東部は東京湾に面し、東西に細長い地形となっており、令和2年4月1日現在では人口は1,535,415人、面積は144.35k㎡となっている。

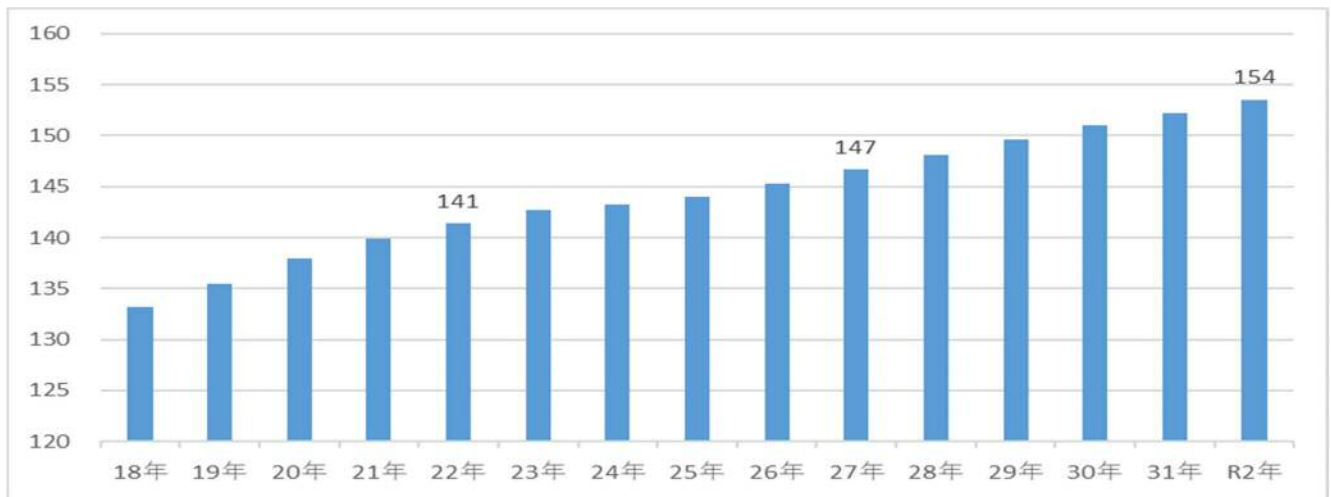
わが国有数の工業都市として発展してきたが、近年は研究開発の拠点都市として臨海部にイノベーション企業の誘致を進めるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを「誰も置きざりにされないまち」づくりの契機とするため、パラムーブメントを提唱し取り組みを進めている。

2. 教育施設設置状況

区 分	全 市	川 崎 区	幸 区	中 原 区	高 津 区	宮 前 区	多 摩 区	麻 生 区
人 口	1,535,415	233,563	170,969	262,846	233,723	233,043	220,922	180,349
世 帯 数	746,752	121,213	82,122	134,086	113,962	101,495	114,551	79,323
小 学 校	114	20	13	19	15	17	14	16
中 学 校	52	11	5	8	5	8	7	8
高 等 学 校	5	1	2	1	1			
特別支援学校	4	2		1	1			
社会教育 関連施設	48	教育文化 会館 田島分館 大師分館 川崎図書館 田島分館 大師分館 川崎市スポ ーツ・文化総合 センター ふれあい館 東海道かわさ き宿交流館	幸市民館 日吉分館 幸図書館 日吉分館 幸スポーツ センター 石川記念 武道館	中原市民館 中原図書館 市民ミュージ アム とどろき アリーナ 生涯学習 プラザ	高津市民館 橋分館 高津図書館 橋分館 大山街道 ふるさと館 高津スポーツ セ ン タ ー 視聴覚 センター (総合教育セ ンター) 地名資料室 子ども夢 パーク	宮前市民館 菅生分館 宮前図書館 宮前スポーツ セ ン タ ー 有馬・野川生涯 学習支援施設 青少年の家	多摩市民館 多摩図書館 菅野分館 日本民家園 青少年科学館 岡本太郎 美術館 川崎市多摩 スポーツ センター 藤子・F・ 不二雄 ミュージアム	麻生市民館 岡上分館 麻生図書館 柿生分館 麻生スポ ーツセンター 黒川青少年 野外活動 センター 市外： 長野県富士 見町 八ヶ岳少年 自然の家

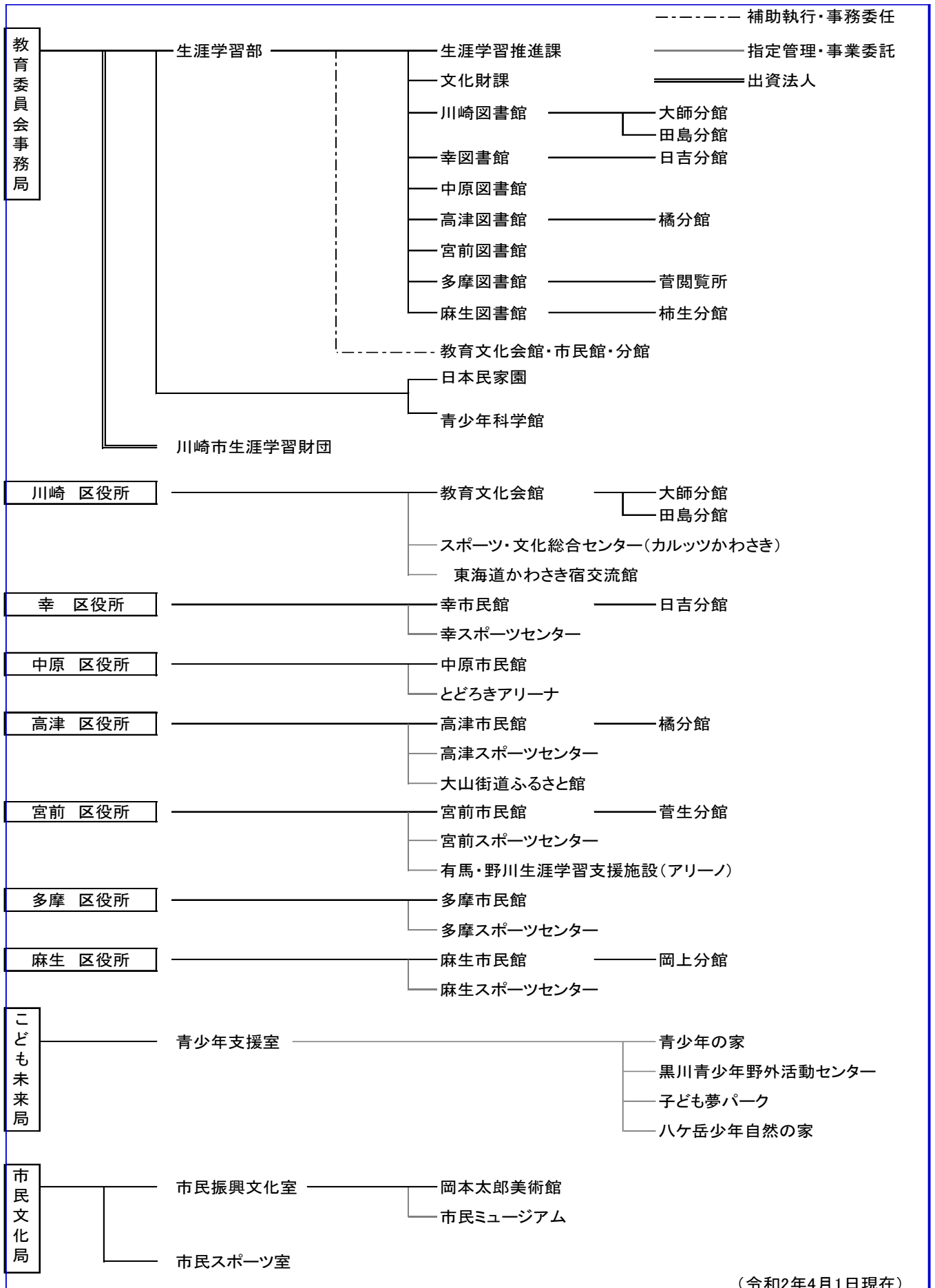
※ 太字は教育委員会が直接所管している施設です。

3. 人口の推移 (単位：万人)



注) 人口統計は各年とも4月1日現在

Ⅱ 機 構 と 財 政



(令和2年4月1日現在)

令和２年度 川崎市社会教育関係予算（目別）比較表

単位:千円

科 目		当 初 予 算			
		令和2年度	31年度	比較増減	増△減率
教 育 費		101, 194, 431	110, 117, 933	▲ 8, 923, 502	▲ 8. 1
社 会 教 育 費		3, 017, 766	3, 201, 507	▲ 183, 741	▲ 5. 7
	社会教育総務費	1, 107, 625	1, 082, 448	25, 177	2. 3
	社会教育振興費	230, 096	239, 307	▲ 9, 211	▲ 3. 8
	文化財保護費	152, 452	594, 361	▲ 441, 909	▲ 74. 4
	教育文化会館・市民館費	320, 709	144, 071	176, 638	122. 6
	図 書 館 費	747, 880	745, 567	2, 313	0. 3
	博 物 館 費	459, 004	395, 753	63, 251	16. 0
社会教育関係予算合計		3, 017, 766	3, 201, 507	▲ 183, 741	▲ 5. 7

令和2年度川崎市生涯学習推進活動方針

I 基本方針

「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」と定められた教育プランの基本理念を受け、民主主義の精神にのっとり、平和と基本的人権を尊重し、市民が自ら考え学びを創造するとともに、高め合いながらその成果を適切に活かすことのできる、豊かで活力のある社会の実現を目指します。

II 施策の方向性

1 いきいきと学び、活動するための環境をつくる

市民の自主的な学びの機会を提供し、地域づくりに繋がる学びや、学びを通じた出会いを促進するとともに、地域における生涯学習の担い手を育成していきます。

社会教育施設について市民サービスの向上に向けた取組を進めるとともに、学校施設の有効活用などを推進し、市民の学びの場の充実を図ります。

2 家庭・地域の教育力を高める

各家庭における教育や、地域による子どもや若者の育ちを支える取組を支援するとともに、地域の様々な大人が子どもたちの学習や体験をサポートする仕組みづくりを進めることによって、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりや、子どもたちが地域の一員として夢や希望を持って豊かに育つことができる環境づくりに取り組んでいきます。

子どもや各家庭を取り巻く厳しい社会環境を踏まえ、家庭教育の支援や地域全体で子どもの育ちを支える仕組みづくりの重要性が高まっていることから、これまで各種事業を受講できなかった家庭の方々が、家庭教育の重要性に気づき、学びを深める機会や場の提供の一つの手段として、企業等へ出向いて講座を開催するというような企業等との連携による家庭教育の推進に力を入れていきます。

また、「地域の寺子屋事業」のさらなる拡充を目指すとともに、子ども会議や地域教育会議の活動の充実に取り組み、子ども達の地域での活動や、地域の大人との関係づくりを促進します。

3 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める

「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、平成29年12月に運用を開始した「川崎市地域文化財顕彰制度」の仕組みも活用しながら、文化財の保護・活用を推進します。

博物館施設「日本民家園」及び「かわさき宙と緑の科学館」の博物館活動の充実により、各施設のさらなる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。さらに、令和2年度は、令和3年度の青少年科学館開館50周年に伴う記念事業の実施に向けた取組を推進します。

また、平成27年3月に市内初の国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群^{たちばなかんがいせきぐん}について、国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画に基づき、短期計画第1期の遺構整備、史跡整備等を推進します。

Ⅲ 令和2年度の主な事業

() 内の額は前年度予算額

1 いきいきと学び、活動するための環境をつくる	1,321,106千円(1,158,787千円)
(1) 自ら学び、活動するための支援の充実	794,357千円 (792,393千円)
ア 社会教育振興事業	46,477千円 (46,826千円)
●地域人材の育成や活動支援事業の実施	
市民による主体的かつ持続可能な地域の学びの仕組みを検討	
●寺子屋コーディネーターの養成(再掲:「地域の寺子屋」事業費を含む。)	
●社会参加・共生推進学習事業の実施	
識字学習活動、社会人学級、障がい者社会参加学習活動他	
●市民自治基礎学習事業の実施	
平和・人権学習、男女平等推進学習、家庭・地域教育学級、市民館保育活動他	
●市民学習・市民活動活性化学習事業の実施	
市民自主学級・自主企画事業、市民エンパワーメント研修、学習情報提供・学習相談事業他	
●市民・行政協働・ネットワーク学習事業の実施	
課題別連携事業、各行政区・中学校区地域教育会議推進事業(再掲:地域における教育活動の推進事業費を含む。)	
●社会や地域のニーズに対応した学習事業の実施	
シニアの社会参加支援事業、地域コミュニティ交流・学習事業	
●視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施(2,420千円 ※総合教育センター費)	
●大学等高等教育機関との連携促進	
イ 図書館運営事業	747,880千円 (745,567千円)
●多様な市民ニーズに応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・提供	
●来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施	
●レファレンスの向上やインターネットやICTの活用	
●関係機関や学校図書館との連携促進	
(2) 生涯学習環境の整備	526,749千円(366,394千円)
ア 生涯学習施設の環境整備事業	383,907千円 (224,233千円)
●既存施設(労働会館)を活用した「(仮称)川崎市立労働会館及び川崎市教育文化会館再編整備基本計画」策定	
●地域の身近な市民活動拠点として、学校施設の更なる有効活用を促進	
●鷺沼駅前地区市街地再開発事業に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備に向けた基本設計等及び市立市民館・図書館のあり方の検討 など	
イ 社会教育関係団体等への支援・連携事業	142,842千円(142,161千円)
●関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援	
●シニア活動支援事業への支援	
●市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携	
●全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携	

2 家庭・地域の教育力を高める	122,063 千円 (110,273 千円)
(1) 家庭教育支援の充実	2,438 千円 (2,681 千円)
ア 家庭教育支援事業	2,438 千円 (2,681 千円)
● 市民館等における家庭・地域教育学級等家庭教育に関する学習機会の提供 (家庭・地域教育学級は、社会教育振興事業費)	
● P T Aによる家庭教育学級開催の支援	
● 企業等との連携による家庭教育事業の実施	
(2) 地域における教育活動の推進	119,625 千円 (107,592 千円)
ア 「地域の寺子屋」事業	89,636 千円 (79,393 千円)
● 地域の寺子屋の拡充	
● 寺子屋先生、寺子屋コーディネーターの養成	
● 地域の寺子屋推進フォーラムの開催	
イ 地域における教育活動の推進事業	29,989 千円 (28,199 千円)
● 各行政区・中学校区における地域教育会議の推進	
● 川崎市子ども会議の推進と各行政区・各中学校区子ども会議との連携	
● 子どもの泳力向上プロジェクト事業の推進	
● 学校支援センター事業の推進	
3 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める	611,456 円 (990,114 千円)
(1) 文化財の保護・活用の推進	152,452 千円 (594,361 千円)
ア 文化財保護・活用事業	93,287 千円 (56,685 千円)
● 川崎市文化財保護活用計画に基づく文化財の調査・保護・活用事業の推進	
● 指定文化財の保存修理等の実施	
● 地域文化財顕彰制度の運用	
● 文化財ボランティアの育成・確保	
● 埋蔵文化財の発掘調査等の実施	
イ 橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	59,165 千円 (537,676 千円)
● 国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群の整備基本計画策定に向けた検討	
● 史跡指定地の公有地化の推進	
● 橘樹官衙遺跡群調査整備委員会の開催	
● 橘樹官衙遺跡群とその周辺における史跡めぐり等活用事業の実施	
● 市民との協働による史跡等環境整備・維持管理の実施	
(2) 博物館の魅力向上	459,004 千円 (395,753 千円)
ア 日本民家園管理運営事業	330,341 千円 (298,883 千円)
● 文化財建造物・民具などの保存・整理 調査研究及び補修（屋根補修、耐震補強等）の推進	
● 展示及び教育普及事業の充実 ボランティア支援等	

イ 青少年科学館管理運営事業

128,663 千円 (96,870 千円)

- 自然・天文・科学の3分野における資料収集・展示・調査研究・教育普及活動等博物館活動の充実
- ボランティア、市民活動団体等の育成・支援と体験学習の推進
- 令和3年度の青少年科学館開館50周年に伴う記念事業の実施に向けたプラネタリウム特別番組の新規制作等に着手

IV. 教育基本方針資料

同和教育に関する基本的な考え方

川 崎 市 教 育 委 員 会
制定 昭和57年3月23日

同和問題は、日本国憲法に保障されている基本的人権の侵害にかかわる重要な問題である。

わが国においては、封建時代の歴史的過程で形成された身分階層構造に基づくいわれなき差別が、今日なお人々の懸念や意識あるいは生活実態の中に多様な形で発現している。

これは、人類普遍の原理である自由と平等に関する深刻にして重大な社会問題である。

この問題の解決のためには、すべての人々が同和問題を自らの課題として正しく認識し、その解消に努力しなければならない。

そのために教育の果たす役割は極めて重要である。

川崎市教育委員会は、以上の認識に立って、部落差別の現実をふまえ、日本国憲法・教育基本法さらに同和対策審議会答申・同和対策事業特別措置法及び本市同和対策事業に対する基本的考え方(方針)に基づき、教育の主体性と責任のもとに人権尊重の理念の実現をめざす同和教育を積極的に推進する。

- 1 同和問題についての正しい認識と理解を深めるために、あらゆる機会をとらえて啓蒙啓発活動を進める。
- 2 学校教育においては、人権尊重の精神に徹し、差別や偏見に対する正しい認識と、これを克服する意欲をもつ人間を育成する。
- 3 社会教育においては、市民一人ひとりの自覚のもとに差別と偏見をなくし人権が真に尊重される明るい社会を築くために、指導者の養成をはじめ同和教育の目的を遂行するに必要な社会教育諸条件の整備に努める。

川崎市外国人教育基本方針

—多文化共生の社会をめざして—

川 崎 市 教 育 委 員 会
制定 1986 年（昭和 61 年）3 月 25 日
改定 1998 年（平成 10 年）4 月 28 日

I. 人権尊重としての教育

差別を排除し、人権尊重の精神を貫くことは、人間が人間として生きるための不可欠な事柄であるとともに、民主主義社会を支える基本原理である。日本国憲法は基本的人権を保障し、教育基本法ではその確立をはかることが根本においては教育の力にまつべきものであるとうたっている。さらに日本は、1979年に内外人の平等と外国人が教育を受ける権利及び市民生活上のすべての実質的差別の排除を明確にうたっている国際人権規約を批准した。

その後、1982年に難民条約、1994年に子どもの権利条約、1995年には人種差別撤廃条約の批准が実現し、民族差別を含むあらゆる差別の禁止のみならず、社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し支援することも、人権保障の一環として位置づけられている。

今や世界は人権と共生の時代であり、平和の実現と人権尊重の取組は、国としてはもとより、地域社会における人権文化の構築とも結びつけて考えていかなければならない時代となっており、そのために果たす教育の役割と責任は極めて大きい。

II. 本市の外国人市民の成り立ちと現状

1 〔歴史的な経緯 …… 在日韓国・朝鮮人〕

川崎市の外国人登録者は、現在2万人を超え、全人口の2%、国籍数では107カ国を数えるようになった（1997年末現在）。そのうち、韓国・朝鮮国籍者は、全外国人の45%を占めており、本市は依然として韓国・朝鮮人の多住地域といえる。

このように本市に韓国・朝鮮人が多く住むようになったのは、京浜工業地帯の中核都市である本市に日本の植民地支配によって工場労働者等としてつれてこられた結果である。

これらの人々の多くは、今なお日常生活において深刻な民族差別を受けており、そのため学校や地域社会において日本名を名のるなど、民族としての自らの存在を明らかにできないような場合もある。

韓国・朝鮮人に対する差別や偏見は、本市だけでなく広く日本社会に根強く存在しており、多くの韓国・朝鮮人は教育、就労、福祉等あらゆる生活面で厳しい民族差別を受け深刻な問題となっている。さらに見落としてはならない重要なことは、これらの偏見が歴史的に作られたものであるという点である。

すなわち、1910年「韓国併合」により、日本が朝鮮を植民地として以来、一方では多年にわたり植民地支配の合理化につながるような民族優越意識を教育を通じて国民に浸透させ、他方において朝鮮民族固有の文化や言語を否定されるべきものであるかのごとくにとらえ、創氏改名制度などを通じて日本への同化政策を進めた結果生まれたものである。

川崎市教育委員会は、こうした事実の持つ意味を厳しく受けとめ、教育の課題としてとらえ、本市における公教育を推進するにあたっては、市民一人ひとりの差別解消のための不断の努力を促していかなければならない。

2〔国際化の動向 …… 世界各地からの外国人〕

近年、さまざまな分野における国際化の流れは世界各地で著しく進展しており、日本においても、1980年代後半から、国際結婚や就学生・留学生等として新たに来日する外国人が増加している。加えて、1990年の出入国管理法の改正に伴う日系労働者や技能研修生の受入れにより、さまざまな国の外国人が生活するようになっており、本市も例外ではない。また、数の上では少ないが、中国帰国関係者やインドシナ難民として日本に定住するようになった人たちもいる。このことは、さまざまな文化的背景をもつ外国人が同じ地域社会に暮らし、また、日本語の理解が十分でない外国人も多数生活していることを意味している。

これらの外国人は生活上の不自由さをかかえながら、国籍条項や在留資格による制限に加え、人種や民族等の違いにより、さまざまな生活の局面において差別や偏見にさらされている。また、社会参加や政治参加の権利も未だ十分に保障されているとはいえず、母語や母文化等を表現したり学ぶことのできる場も限られたものになっている。

さらに配慮しなければならないことは、国籍上では見えない民族的・文化的な側面として、国際結婚により生まれた子や多文化を受け継いでいる日本国籍者等が直面している問題がある。かれらは多文化を受け継いでいることにより、本来、文化をつなぐ豊かな可能性を有しているにもかかわらず、とすると日本人と見なされることにより、日本と異なる文化の獲得や表現ができにくく、安定した自己の主体形成にゆがみをもたらされかねない状況に追いやられている。これに似た問題は、海外からの帰国児童・生徒をめぐっても見受けられる。

このような新たな課題解決にむけた取組も、教育の役割として問われている。

Ⅲ. 多文化共生の社会をめざして

川崎市教育委員会は、これらの教育課題の解決に向け、まず、すべての子どもの学習権を保障し、教育の世界における内外人の平等、人間平等の原則の徹底に努め、社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し、あわせて外国人市民の社会参加を積極的に支援していかなければならない。そして、在日外国人が、民族的自覚と誇りを持ち自己を確立し、市民として日本人と連帯し、相互の立場を尊重しつつともに生きる地域社会の創造をめざして活動することを保障しなければならない。このことはまた、日本人の人権意識と国際感覚を高めることにもつながる。そして、このような環境を整えることは人間都市の創造をめざす本市教育行政の責務でもある。

在日外国人教育は、多文化共生の社会をめざす教育の営みでもあり、日本人と外国人の双方の豊かさを育み、違いが豊かさとして響き合う人間関係や社会をつくりだしていくことをめざさなければならない。そのためには、日本社会に根強い同化と排除意識からの脱却をはかり、過去の歴史的経緯をしっかりと認識することが、偏見や差別意識を取り除く上で欠かせない視点となる。

さらに多文化共生の社会をめざす教育は、日本人と外国人の間だけにかぎらず、あらゆる人が、相互の違いを認め合い尊重しあい、ともに生きていく地域社会をつくりあげていく力になるように展開していかなければならない。

川崎市教育委員会は、以上のような認識に立脚して、教育の主体性と責任のもとに、次に示す基本事項にのっとり、人権尊重と国際理解そして多文化共生をめざす在日外国人教育を積極的にすすめる。

IV. 教育関係者の役割とめざすべき方向性

1 基本的な考え方

- (1) 国籍・民族等にかかわらず、すべての子どもの学習権を保障し、教育における内外人の平等、人間平等の原則の徹底に努める。
- (2) 社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し、あわせて外国人市民の積極的な社会参加を支援する。
- (3) 日本人と外国人の相互の豊かさにつながる共生の教育をめざし、過去の歴史的な経緯をしっかりとさえ、同化や排除意識からの脱却をはかる。

2 教育行政および教育関係者の取り組み（注：児童の中には幼児を含む）

- (1) 本市に在住する児童・生徒をはじめとする外国人の実態把握に努める。
- (2) 在日外国人が民族的自覚と誇りを培い、生活文化の向上をはかるための自主的活動に対して支援協力する。
- (3) 研修会や研究会等を通して、多文化共生社会への理解を深め、在日外国人に対する正しい教育観の確立と指導力の向上をはかる。
- (4) 在日外国人教育を充実するために関係機関との連携を深め、施策の拡充や推進体制の整備に努め、各種資料を作成する。
- (5) 児童・生徒をはじめ、外国人保護者等の思いを大切に受けとめ、多文化共生をめざす教育の推進に生かすよう努める。
- (6) 在日外国人が、自由に自ら多様な生き方を選択できるよう、進路保障の取組をすすめる。
- (7) 戦後の困難な時代から民族教育を推進してきた市内の外国人学校との交流を深め促進する。

3 児童・生徒に対して

- (1) すべての児童・生徒に対して、相互の豊かな人間関係を育むように努め、違いを認め合い尊重し合う意識や態度を培う。
- (2) すべての児童・生徒に対して、命を大切にし、自分を信頼し、自分に誇りがもてるような支援と生きる力の基礎となる学力の保障に努める。
- (3) すべての児童・生徒に対して、豊かな人権意識や感性を育み、民族差別や偏見を見抜き、それを批判し、許さない力を養う。
- (4) すべての児童・生徒に対して、日本と外国、特に韓国・朝鮮との歴史的・文化的関係を理解させ、国際理解、国際協調の精神を養うとともに、ともに生きる態度を培う。
- (5) 在日外国人児童・生徒に対して、その民族としての歴史・文化・社会的立場を正しく認識することを励まし助け、自ら本名を名のり、民族差別や偏見に負けない力を身につけることができるよう支援する。
- (6) 在日外国人児童・生徒に対して、自由に自ら多様な生き方を選択し、たくましく生きぬくことができるよう進路指導の充実をはかる。
- (7) 日本人児童・生徒に対して、これまでの歴史的経緯を踏まえ、多様な文化を学び受容する教育活動を通じて、日本人としての豊かな国際感覚を育む。

4 すべての市民に対して

- (1) 在日外国人に対する差別や偏見を取り除くための啓発活動を推進する。
- (2) 広く市民に対して、在日外国人問題についての理解を深める学習活動を推進する。
- (3) 日本人と在日外国人が、ともに手をたずさえて地域社会の創造をめざす活動を推進する。

Ⅳ 令和２年度の重点施策及び事業内容

※新型コロナウイルス感染症対策として、事業内容等について縮小・休止している場合があります（令和２年９月時点）

１．生涯学習推進課

市民の学習を推進・支援するために、「かわさき教育プラン」に基づき、学習機会の提供や市民館・図書館等社会教育施設の整備などを図ると共に、市民の学習意識や社会の変化に応じて、社会教育行政・事業への市民参加を促進し、市民の自主的な学習・活動の活性化に向けた支援事業を展開する。また大学等高等教育機関や生涯学習関連諸機関との連携・協力の強化や、市民の学習成果の地域還元に関する事業促進を図っていく。

さらには、安全で安心な、より豊かな地域社会の形成を目指して、子ども達から大人までが元気でのびのびと活動するために、「川崎市子どもの権利に関する条例」を基盤として、家庭・地域社会の教育力を高め、学校や関連行政との連携・協力を図りながら、諸事業を展開する。

(1) 生涯学習の基盤整備

ア 社会教育委員活動の充実

- ・社会教育研究活動の充実
- ・各種社会教育関係大会への積極的取り組み

イ 区生涯学習推進会議の充実

- ・全庁的な取り組みと区単位の活動との連携
- ・教育プランに位置付けられた取組の推進

ウ 生涯学習大学等高等教育機関連携事業の推進

- ・生涯学習大学等高等教育機関連絡会議の開催
- ・公開講座の実施

(2) 社会教育・生涯学習施設整備

ア 社会教育施設の長寿命化対策

イ 富士見周辺地区再整備・鷺沼駅周辺再編整備

ウ 市民館と図書館の事業及び管理運営体制を含めた「(仮称) 今後の市民館・図書館のあり方」の検討（令和２年度策定予定）

(3) 「読書のまち・かわさき」の支援

「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づき、「かわさき読書の日のつどい」など家庭、地域、学校等と協力した子どもの読書活動への推進の取り組みを行う。また、図書リユースコーナー等の実施や、大学図書館との連携を継続する。

(4) 人権教育推進事業の充実

ア 外国人市民とともに生きる地域社会の実現 地域日本語教育振興事業（地域日本語連絡会、 地域日本語ネットワークのつどい）の充実

イ 人権感覚豊かな地域社会づくり

- ・障がい者ボランティア研修の充実
- ・ふれあい館社会教育事業（委託事業）の充実

(5) 家庭教育推進事業の充実

文部科学省補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」の活用等により、各家庭教育事業を展開していく。

ア PTA家庭教育学級の充実

イ 子育て支援啓発事業の実施

ウ 家庭教育支援講座の実施

(6) 市民学習・市民活動など支援事業の充実

教育文化会館・市民館・分館において様々な社会教育振興事業を実施する。

ア 社会参加・共生推進学習事業

イ 市民自治基礎学習事業

ウ 市民学習・市民活動活性化学習事業

エ 市民・行政協働・ネットワーク学習事業

オ 現代的課題対応学習事業

カ 教育文化会館・市民館学習環境整備事業

(7) 地域教育会議の推進

各中学校区（51区）と各行政区（7区）において地域教育会議を実施する。

ア 中学校区地域教育会議を国の示す地域学校協同本部に位置づけ、行政区地域教育会議は中学校区地域教育会議の支援補完を通じ活動の活性化及びネットワーク化を進める。

イ 区内の地域教育会議の連携、全市の地域教育会議の交流と連携を促進する。

(8) 子どもの権利を生かす参加システムの拡充

ア 子ども会議の推進

川崎市子ども会議及び中学校区・行政区子ども会議を開催し、子どもの意見を市政に反映させる取り組みを進める。

イ 「川崎市子ども夢パーク」での、子どもの活動、子どもの交流拠点としての活用を支援する。

(9) 学校施設の活用促進

ア 市民の生涯学習の場としての学校施設有効活用の充実を図る。

イ 学校図書館における図書の地域貸出事業の実施

ウ 虹ヶ丘小学校コミュニティルームの運営

(10) 学習相談、生涯学習情報の収集・提供

ア 生涯学習情報の収集・提供

- イ 学習相談への対応
- (11) 資料の作成・収集・提供と広報活動
 ア 社会教育要覧・社会教育事業ガイドの発行
- (12) 社会教育関係団体の活動促進
 ア 川崎市PTA連絡協議会
 イ 川崎市地域女性連絡協議会
 ウ 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会
- (13) 公益財団法人川崎市生涯学習財団の支援
- (14) 職員の資質の向上及び専門的職員の養成
 ア 社会教育職員研修
 初任者、指導・経営、生涯学習、人権尊重、課題、自主グループ、施設種別研修（市民館職員、図書館職員、博物館職員）
- イ 資格取得研修への派遣
 社会教育主事講習、図書館司書・司書補講習
- ウ 国・県等研修への派遣
 文部科学省、県教育委員会、県公民館連合会等
 主催研修
- エ 市民館事業担当者会議の開催
- オ 図書館担当者委員会の開催
 資料選定委員会、児童サービス委員会、地域資料担当者会議、雑誌担当者会議、端末担当者会議、企画委員会
- (15) 地域で学校や子ども達を支える仕組みづくりの推進
 ア 地域の寺子屋事業の推進
 イ 学校支援センター事業の推進
 ウ 地域教育ネットワーク推進会議の実施
- (16) 子どもの泳力向上プロジェクト事業の推進
 地域のスイミングスクール等と連携した水泳教室の実施

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
社会教育委員会議活動	社会教育法第15条に基づき設置し、社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に対する答申のほか、必要に応じて調査・研究を行い教育委員会への助言を行う。	6,223
社会教育委員会議活動（専門部会）	社会教育施設の円滑な運営を図るため、専門部会を設置して事業の企画・運営に関する調査・審議や、施設の管理・運営状況に関する点検・検証を行う。 ○教育文化会館専門部会 ○（幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）市民館専門部会 ○有馬・野川生涯学習支援施設専門部会 ○図書館専門部会 ○青少年科学館専門部会 ○日本民家園専門部会 ○青少年教育施設専門部会	
生涯学習支援施設の管理運営	社会教育委員会議専門部会を設置して、事業の企画・運営に関する調査・審議や、施設の管理・運営状況に関する点検・検証を行う。	—
「読書のまち・かわさき」の支援	市立図書館のオンラインシステムを利用した学校図書館の情報化を支援するとともに、「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動支援に向けた取り組みを行う。	—
地域日本語教育振興事業	地域における外国人市民の識字・日本語学習の広がりや多文化共生社会の実現をめざして、地域日本語連絡会、地域日本語ネットワークのつどい等を開催する。	152

事業名	事業内容	予算額（千円）
ふれあい館社会教育委託事業	社会福祉法人青丘社に委託 人権尊重学級、家庭教育学級、多文化交流学級、世代間交流学級、母国語学級、識字学習活動、識字等ボランティア講座（各1学級）、ハングル基礎講座（3学級）、民族文化講座（2学級）、社会教育研究集会、啓発活動（講演会、広報誌発行等）	1,529
家庭教育推進事業	子育てをめぐる幅広い観点から、親等の学びや交流等を支援することにより、家庭・地域の子育て状況の改善を図り、家庭の教育力の向上をめざす。	2,438
学校支援センター事業	地域人材による学校支援活動をコーディネートし、学校・家庭・地域の連携を促進するため、川崎市生涯学習プラザ内に学校支援センターを設置する。	3,758
市民学習・市民活動の支援	生涯学習の振興を図るために、教育文化会館・各市民館・生涯学習推進課に社会教育指導員を配置し、地域の市民の学習・活動の支援や社会教育関係団体の育成等に努める。	16,167
地域教育会議	川崎市教育懇談会の提言を受けて、51 中学校区・及び7行政区に設置。学校・家庭・地域社会の連携により、子育てや生涯学習のネットワークづくり、教育への市民参加システムづくりを通して、地域の教育力の向上をめざす。	16,980
川崎市子ども会議	川崎市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの意見を市政に反映させる。	738
学校施設有効活用事業	市内の小・中学校等の校庭、体育館、特別教室、学校図書館を地域活動やスポーツ、学習の場等として開放する。 校庭開放 145 校 体育館開放 167 校 特別教室開放 136 校 校庭夜間開放 7 校 学校図書館 10 校 ・学校施設有効活用あり方検討委員会 ・市民ニーズに対応したモデル開放の実施 ・特別教室などの有効活用を進めるため、様々な実証実験に取り組みながら研究を進める Kawasaki 教室シェアリングの実施	75,794

事業名	事業内容	予算額（千円）
コミュニティルームの運営	虹ヶ丘小学校コミュニティルームを地域における生涯学習や地域活動の拠点として活用し、市民主体の生涯学習のまちづくりを展開する。	491
生涯学習大学等高等教育機関連絡会議	市内大学等高等教育機関との連携を進め、連携事業（公開講座）の実施など、市民への生涯学習支援の方策を協議する。	260
生涯学習情報収集・提供	生涯学習情報の収集・提供を行うとともに、市民の学習相談に対応し、市民の自主的な学習活動を支援する。	4,298
社会教育広報資料等作成	社会教育関係事業の資料や報告書を作成し配布する。	250
PTA 活動促進	川崎市PTA連絡協議会及び県下市立高等学校PTA連絡協議会の活動活性化に向け、機関紙の発行、研究・研修事業実施、各種大会派遣に対しての補助等の支援を行う。	2,203
女性団体活動促進	環境・平和・子育て・高齢者福祉など、様々な地域課題に対し学習・実践を行っている女性団体を支援するとともに、男女共同参画社会をめざして女性リーダーの育成をはかる。	429
生涯学習財団補助	生涯学習に関する講座、講演会の開催、情報の提供、相談、調査研究を行うとともに、指定管理者として施設の効率的な管理運営を行い市民の生涯学習の振興に寄与する生涯学習財団の運営を支援する。	140,185
社会教育職員研修	社会教育職員として、各施設の役割や課題を理解し必要な基本的知識や実践的能力を養うのみならず、様々な課題についての問題意識・専門性を高める。 研修成果の報告については、研修報告会を開催すると共に報告書を作成し関係者・機関等に配布する。	187
社会教育職員の外部研修派遣	職員の資質向上を図るため、業務に関連した資格取得のための研修等様々な外部研修に派遣する。	—
夏休み親子工作教室	木工、彫金、モザイクタイル画などの工作体験をとおした親子のふれあいの場として、PTAを主体として各小学校において開設する。	—
地域の寺子屋事業	地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートし、シニア世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進める。	89,636
子どもの泳力向上プロジェクト	地域のスイミングスクール等と連携して、小学校入学前までに水に親しんできていない子どもや、入学後も泳ぎが苦手な子どもを対象に、水泳教室を開催する。	11,647
教育文化会館及び労働会館再編整備	川崎市立教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に関する基本構想に基づき、基本計画を策定する。	2,100
宮前市民館・図書館整備事業費	鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針に基づき、新しい宮前市民館・図書館基本計画を策定するとともに、管理運営計画策定に向けた取組や基本設計を行う。	55,000

2. 文化財課

生活環境の急速な変化と様々な開発の進行により、祖先の生活文化を物語る文化財が変容し、失われていこうとしている。それに伴い、文化財の調査・保護及び博物館活動を含めた文化財の普及・啓発のための施策が必要となっている。こうした状況を踏まえ、文化財の指定、調査、記録作成、保護管理及び公開等の各種事業を行う。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| (1) 文化財調査活動の推進 | サ 文化財解説板の製作及び設置 |
| ア 埋蔵文化財緊急調査(個人専用住宅の建設に伴う緊急調査等) | シ 指定文化財等の現地特別公開 |
| イ 専門家による各種文化財の緊急調査及び指導等 | ス 発掘調査現地見学会の開催 |
| ウ 川崎市文化財調査員等による調査と研究 | セ 文化財講座の開催 |
| エ 埋蔵文化財内容確認調査(市内重要遺跡等) | (3) 史跡等の整備と保全 |
| (2) 文化財の保護・公開及び記録の作成 | ア 史跡等の環境整備(橘樹官衙遺跡群・子母口貝塚・馬絹古墳・五所塚・芭蕉の句碑) |
| ア 文化財の指定等 | イ 史跡「春日神社・薬師堂・常楽寺境内及びその周辺」の管理奨励 |
| イ 地域文化財顕彰制度の運用 | ウ 橘樹官衙遺跡群保存活用事業 |
| ウ 指定文化財修理事業の実施 | エ 橘樹官衙遺跡群確認調査事業 |
| エ 指定文化財の管理奨励(市指定文化財所有者への管理奨励金の交付) | オ 橘樹官衙遺跡群保存整備事業 |
| オ 無形民俗文化財保存団体の育成・補助 | カ 史跡保守管理 |
| カ 県指定史跡(馬絹古墳等)の保存管理 | (4) 文化財審議会の運営 |
| キ 埋蔵文化財収蔵施設の管理及び活用 | (5) 川崎市域博物館に関する普及啓発 |
| ク 文化財ボランティアの育成・活用 | (6) 文化施設(モニュメント「希望」)の維持管理 |
| ケ 文化財調査集録等の刊行物製作 | (7) 地名資料室の運営 |
| コ 埋蔵文化財発掘調査報告書及び年報の刊行 | (8) 市民ミュージアム収蔵品(考古系)の修復 |

事業内容と予算

事業名		事業内容	予算額（千円）
文化財審議会運営事業		文化財の指定、現状変更等に関し、教育委員会の諮問に応じる。（委員 10 名・3 回開催）	288
文化財調査集録刊行事業		各種調査成果を刊行する。第 55 集。	249
史跡整備 管理事業	史跡天然記念物管理奨励	市史跡指定地の地権者に奨励金を支払う。（春日神社、常楽寺）	158
	史跡環境整備	橘樹郡家跡・子母口貝塚・馬絹古墳・五所塚・芭蕉の句碑の環境整備を地域の保存団体に委託する。（41, 250 円× 5 団体）	207
	史跡保存管理	馬絹古墳の保存活用のため隣接地の一部を借用するとともに石室の保存管理を委託する。（馬絹神社より借用）	1, 679
		史跡における公園施設補修や樹木剪定等の保守管理を行う。	1, 978
文化財刊行物製作事業		刊行物の製作・送付を行う。（地域文化財パンフレット等）	593
文化財普及・活用事業		指定文化財等現地特別公開等を実施する。また、文化財ボランティアを養成・活用し、文化財の普及啓発に努める。	105
指定文化財管理奨励事業		市指定文化財の維持管理及び活用の向上を図るため、所有者に管理奨励金を交付する。（39 団体）	1, 430

事業名	事業内容	予算額（千円）
文化財保護措置事業	指定文化財等の解説板の設置及び維持補修を行う。	985
指定文化財保存修理事業	○市重要歴史記念物「无射志国荏原評銘文字瓦」レプリカ製作の実施 ○菅の獅子舞の伝承等事業（子ども教室）及び保存修理事業への県費随伴補助の実施 ○市民ミュージアム収蔵考古資料の修復・台帳作成	1,778
埋蔵文化財緊急調査事業	周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内での開発行為に伴う試掘調査や、市内重要遺跡の内容確認調査及び個人住宅建設等に伴う発掘調査を行うとともに、発掘調査報告書及び年報を刊行する。	7,206
公益事業関連埋蔵文化財発掘調査事業	J R 東海が進める中央新幹線予定地内の遺跡に影響を与える箇所についての埋蔵文化財の発掘調査を行う。	56,261
埋蔵文化財収蔵施設管理事業	出土した埋蔵文化財の収蔵及び管理を行う。	2,973
市域文化財調査事業	市域に所在している古文書の所在状況及び指定文化財（彫刻・絵画・民俗等）の保存状況を調査する。また、修理文化財等の調査・指導を専門家に依頼する。	1,148
塚越古墳確認調査事業費	川崎市内古墳確認調査事業の一環として、幸区塚越2丁目に所在する塚越古墳の確認調査を実施する。	2,037
橘樹官衙遺跡群管理事業	橘樹官衙遺跡群とその周辺における史跡めぐり等活用事業推進のため、橘樹郡家跡の「たちばな古代の丘緑地」周辺の剪定・除草を行い、史跡の保存整備を図るほか、活用事業を通じ市民への普及を行う。	1,853
橘樹官衙遺跡群確認調査事業	学識者による調査整備委員会調査部会の指導・助言を踏まえ確認調査を行う。	3,443
橘樹官衙遺跡群保存整備事業	調査整備委員会整備部会の学識者および関係町会等団体の代表などの意見を踏まえ、橘樹官衙遺跡群の整備を進める。	53,869
無形民俗文化財保存育成補助	県・市指定無形民俗文化財保存団体及び川崎市民俗芸能保存協会への補助を行う。	1,837
地名資料室運営管理事業	地名関連資料の収集を行い、市民の閲覧や研究への資料提供、講座の開催等を行う。	4,144
二ヶ領用水保存整備事業費	国登録記念物についての案内板設置、記念ポスター製作等により、二ヶ領用水の歴史的価値を市民へ啓発するとともに、地域資源として活用する。	2,035
その他経費	会計年度任用職員報酬、需用費、役務費等の諸経費	6,196

3. 図書館・図書館分館

令和2年度の図書館活動目標

市立図書館の運営方針である「川崎市立図書館の運営理念と活動目標」（平成20年5月答申、平成30年3月追加・修正）に明示されている7つの理念と39の目標に沿って引き続き令和元年度も図書館活動を推進していく。

【7つの運営理念】

- (1) 市民の生涯学習を支える図書館
- (2) 市民の仕事や生活に役立つ図書館
- (3) 川崎としての特色ある図書館
- (4) 学校図書館との連携を推進する図書館
- (5) 市民に信頼され市民が支える図書館
- (6) 持続的で安定した効果的・効率的な運営をめざす図書館
- (7) 図書館職員の専門的能力と資質の向上をめざす図書館

さらに令和元年度から「今後の図書館のあり方」についての検討を生涯学習推進課とともに進めており、令和2年度中の策定に向けて、より今日的視点に立ち、少子高齢化等さまざまな社会状況の変化や市民ニーズの多様化に的確に対応できる図書館サービスのあり方について、市民の意見や関係団体、関係者等の意見を参考にしながら検討を行っていく。

今後の図書館オンラインシステムについても「図書館のあり方」検討を踏まえながら、次期システムの調査、検討を進めていく。

新宮前図書館の整備等については、パブリックコメントなどを経て策定される基本計画等に基づき、市民とともに管理運営計画の検討や、図書館として必要な協議を関係者等と進める。

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額（千円）
図書資料整備事業	市民の一般的教養及び調査・研究等の一助として、乳幼児から高齢者までを対象として各種図書館資料を購入する（データベース使用料、図書整理委託費を含む）。	121,461
障害者サービス	視覚障害者を対象に対面朗読を実施する。	600
	身体障害者等に対する図書の郵送貸出サポートサービスを実施する。	119
講演会等	講演会・郷土研究・サークル活動指導者派遣・人形劇上演等	300
閲覧奉仕	地区館・分館等での図書館資料の閲覧、予約、個人貸出、団体貸出による提供を行う。	41,458
自動車文庫	本館・分館等のサービスの及ばない地域に対し、移動図書館車により巡回貸出を行う。	4,581
コンピュータ管理	図書館コンピュータ使用料、システム保守管理（川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生・田島・大師・日吉・橘・柿生・菅）等	113,145
I C T推進	全蔵書に貼付したI C タグを活用した新機器を導入し、効率的な資料管理・活用を推進する。	14,935
図書館業務委託	貸出・返却カウンター、予約巡回処理、配架、書庫出納業務等の委託	194,848
返却図書回収委託	返却ポスト（市内5箇所）に返却された図書の回収、アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）との図書運搬	6,660
運営管理	館の維持・管理運営	169,688
館内外改修工事	各種補修工事等	11,923
菅閲覧所整備	菅閲覧所運営管理	38,146
社会教育委員会議 図書館専門部会	部会を年4回開催し、館の運営及び図書館奉仕について意見を述べる。	(368)

4. 教育文化会館・市民館（幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）・分館（大師・田島・日吉・橘・菅生・岡上）

基本方針

教育文化会館・市民館・分館は、民主主義の精神にのっとり、平和と基本的人権を尊重し、市民が自らの学びを創造する豊かで活力のある地域社会の実現をめざして、次の基本方針により社会教育振興事業を実施する。

- (1) 市民一人ひとりの学習する権利と自由を保障し、市民の主体的な学習活動を振興する。
- (2) 人権尊重の精神に基づき、市民一人ひとりが互いに認め合い共に生きる社会の創造をめざす。
- (3) 市民の主体的な学習活動の振興を通して、市民参画と協働による市民自治の実現をめざす。

令和元年度は、学び合いを通じた市民の相互理解を推進し、地域の様々な課題の解決に市民が主体となって取り組んでいくための学びと関係づくりを支援するとともに、そのための職員の力量形成に努める。また、家庭教育の推進や、学習情報提供・相談事業の充実の他、地域における生涯学習をコーディネートし、地域の各関係機関や団体・グループなどとの連携・協働をさらに深め、有機的なつながりの中で地域課題解決をめざす生涯学習を展開していく。

事業の柱

(1) 社会参加・共生推進学習事業

社会参加の機会を得にくい方を対象に、必要な知識の習得や体験等の学習機会の提供を通して、社会参加促進に向けた支援を推進する。また、学習活動に市民ボランティアが共同学習者として参画することを通して、共に生きる地域社会の実現をめざす。

事業：識字学習活動、社会人学級、障がい者社会参加学習活動など

(2) 市民自治基礎学習事業

絶え間なく変化する社会のなかで生じる様々な問題を、共通の課題として主体的に学び合うことを通して、市民自治の実現に向けた基盤づくりを推進する。

事業：平和・人権学習、男女平等推進学習、市民館保育活動、家庭・地域教育学級、家庭教育推進事業など

(3) 市民学習・市民活動活性化学習事業

地域課題や生活課題の解決に向け、市民が、市民館との協働により自ら学びの場を創出することを通して、市民の主体的な学習活動を振興するとともに市民活動の活性化をめざす。

事業：市民自主学級・市民自主企画事業、市民エンパワーメント研修、PTA 活動研修、学習情報提供・学習相談事業など

(4) 市民・行政協働・ネットワーク学習事業

市民の主体的な学習活動や市民活動の活性化に向け、市民と学校、区役所や市民館などが連携・協力して行う学習活動の振興を図るとともに、広く学習にかかわる情報や人などのネットワークづくりを推進する。

事業：行政区・中学校区地域教育会議推進事業、課題別連携事業、学社融合推進事業など

(5) 現代的課題対応学習事業

社会の変化や折々の時代の要請に的確に対応し、喫緊な地域課題の解決に向けた柔軟な学習活動を推進する。

事業：シニアの社会参加支援事業、地域コミュニティ交流・学習事業

(6) 教育文化会館・市民館学習環境整備事業

市民館を市民の生涯学習、市民活動の拠点とするために、市民等の参画に配慮しながら良好な学習環境を整備する。

事業：各種広報活動、社会教育委員会専門部会など

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名・実施館		事業内容	予算額（千円）
社会参加・共生推進学習事業	識字学習活動 教文、6 市民館	川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活が円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。学習者と支援者（ボランティア）が学び合う関係づくりをとおして、多文化共生社会の実現をめざす。	3, 534
	識字ボランティア研修 教文、6 市民館	川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、地域で識字の学習を支援するボランティアの資質の向上を図ることにより多文化共生社会の実現をめざす。	567
	社会人学級 川崎市生涯学習財団	様々な事情で十分学習できなかった人に対して、中学課程の学習領域で、国語、数学など日常生活を送るため不可欠な基礎的知識と教養を学ぶ機会を提供し、学習者が共に学びあい、より主体的に生きることをめざす。	648
	障がい者社会参加学習活動 教文、6 市民館	地域での体験活動や交流をとおして障がいのある人の社会参加を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす。	970
市民自治基礎学習事業	平和・人権学習 教文、6 市民館	憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重に関する学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造をめざす。	1, 021
	男女平等推進学習 教文、6 市民館	男女平等にかかわる人権意識を高め、男女があらゆる場において、個人として自立し、多様な個性を生かして協力し、責任をわかち合える男女共同参画社会の創造をめざした学習を推進する。	1, 076
	保育ボランティア研修 幸、中原、高津、宮前、麻生市民館	子育てを支援する保育ボランティアの資質の向上を図ることにより、地域で支え合う子育ての環境醸成をめざす。	271
	市民館保育活動 全館	親等の学習活動への参加や、乳幼児の社会的成長を支援するために、保育を実施する。	1, 206

事業名・実施館		事業内容	予算額（千円）
市民自治基礎学習事業	家庭・地域教育学級 全館	子どもを豊かに育む地域社会の創造をめざし、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1,739
	家庭教育推進事業 教文、6 市民館	各区において、PTA 家庭教育学級、子育て支援啓発活動等、家庭教育の推進を目指した事業を実施する。	2,681
市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級 全館	地域や社会の問題の解決に市民自らが取組んでいく上で必要な学びの場づくりを、市民と各館が協働で行う。	2,670
	市民自主企画事業 全館	地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や市民の交流・ネットワーク活動など、多様な形態の学習事業を市民と各館が協働で実施する。	1,156
	市民エンパワーメント研修 全館	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1,047
	PTA 活動研修 教文、6 市民館	各学区や行政区の特色を生かしながら、子どもの健やかな成長を支える P T A 活動の更なる活性化を共に考えあう研修とする。	374
	生涯学習交流集会 教文、6 市民館、大師、日吉、橘、菅生、岡上分館	いきいきとした各区の社会教育の展開に向け、市民と職員が率直な意見を交流し、市民主体の地域の生涯学習を創り出すことをめざす。	374
	表現・舞台活動支援事業 麻生市民館	様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根ざした市民の文化創造に資する。	50
	学習情報提供・学習相談事業 教文、6 市民館、橘、菅生、岡上分館	市民の学習と活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に情報提供、助言を行う。	362

事業名・実施館		事業内容	予算額（千円）
市民・行政協働・ネットワーク学習事業	行政区・中学校区 地域教育会議推進事業 教文、6 市民館	行政区・中学校区における学校・家庭・地域の連携による教育への市民参加システムづくりとネットワークづくりを支援・促進し、地域の教育力の向上をめざす。	15, 224
	課題別連携事業 幸、中原、宮前市民館、 大師、田島、菅生分館	地域での子育てや福祉・環境、まちづくりなどの課題の解決に協働して取り組むため、関係機関との連携会議および必要な事業を実施する。	266
	地域学習・文化団体 連携推進事業 全館	地域の学習活動を推進している学習・文化団体（サークル連絡会・文化協会・PTA等）とのネットワーク化や事業連携を図ることを通じ地域の文化や教育力の向上をめざす。	—
現代的課題対応学習事業	シニアの社会参加支援 事業（入門コース） 全館	シニア世代等の地域参加に向けた入門的な啓発事業として実施し、「地域活動への参加」や「地域との関わり方」等に関する学習機会を提供することにより、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように支援する。	1, 290
	シニアの社会参加支援 事業（活動コース） 教文、6 市民館	地域の課題解決あるいは地域活動に関わる学習機会を提供し、シニア世代が自らの経験・知識・能力を活かして地域社会で活躍できるよう支援する。	455
	地域コミュニティ交流・学習事業 中原市民館、田島、日 吉分館	地域コミュニティの活動・交流に係る学習機会を提供し、市民自らは地域の課題解決や活動・交流に参加していけるよう支援する。	270
教育文化会館・市民館学習環境整備事業	社会教育委員会議専門 部会 教文、6 市民館	川崎市社会教育委員条例、川崎市社会教育委員会議規則に基づいて行う。 各館の事業等について、意見を述べる	(2, 300)
	刊行・広報活動 全館	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、館だより、ホームページなどの作成を行う。	3, 792
	情報機器等整備 教文、6 市民館	視聴覚ライブラリー用の情報機器は、総合教育センターで一括整備充実し、市民への直接的な窓口として、教文・市民館で貸出しを行う。	総合教育センター予算による

5. ふれあい館（社会教育関連施設）

ふれあい館は、地域に暮らす外国人と日本人が、市民として子どもからお年寄りまで相互にふれあいを進めることを目的としている。

基本的な人権尊重の精神に基づき、差別をなくし、ともに生きる地域社会を創造していくため、こども文化センターとふれあい館を統合施設として川崎市が設置した。この地域で様々な取組を進めてきた社会福祉法人青丘社が、指定管理者として館の運営・管理にあっている。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
人権尊重学級	外国人市民と日本人市民が、川崎市外国人教育基本方針に則り、ともに学び合うことにより、人権尊重の啓発、民族差別の克服、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	120
家庭教育学級	外国人市民と日本人市民が、子どもの成長に係わる課題について、相互理解を深めながらともに学び合い、子どもたちの健全育成と地域教育力の向上をめざす。	80
多文化交流学級	外国人市民と日本人市民が、自分たちが暮らす地域の文化や歴史等とともに学び合うことをとおして、地域への理解を深めるとともに、参加者間の相互理解を深め、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	60
世代間交流学級	在日韓国・朝鮮人を中心とした高齢者を対象に生涯学習の機会を提供することにより、これまで培った豊富な経験や知識、能力を活かした、地域活動参加や地域内でのネットワーク形成の促進をめざす。	18
母国語学級	外国につながる子どもの母国語・母文化の保持や仲間づくりに向けた学習機会を提供することにより、自我の確立へ向けた支援を行い、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	220
ハングル基礎講座 （3講座）	外国人市民と日本人市民が、韓国・朝鮮語とともに学び合うことにより、韓国・朝鮮人のアイデンティティの確立と日本人の国際性を養い、文化の相互交流と国際理解の向上をめざす。	300
民族文化講座 （2講座）	外国人市民と日本人市民が、韓国・朝鮮の歴史や文化について、相互理解を深めながらともに学び合うことにより、国際性豊かな地域文化の創造をめざす。	240
識字学習活動	外国人市民等が、日常生活を円滑に営むために不可欠な日本語の基礎を共同学習者とともに学び合うことにより、学習者の自立とともに生きる地域社会の実現をめざす。	320
識字等ボランティア講座	識字、高齢者等の活動に係わるボランティアに必要な研修を実施し、各活動の充実をめざす。	60
社会教育研究集会	ふれあい館の社会教育事業が、生活課題・地域課題に迫り、あらゆる世代にとって魅力ある内容となるよう、市民と職員が一堂に会し年間の取組の総括と反省を行い、次年度への継承と発展をめざす。	20
啓発活動	「人権尊重」の啓発に向けて、講演会の実施等諸活動を広く行うことにより、外国人市民と日本人市民の学び合いの場、創造の場づくりをめざす。	79
その他経費	各種講座、講演会用消耗品費、印刷費、郵便代等	12

6. 視聴覚センター（総合教育センター内）

総合教育センター情報・視聴覚センターは、市内団体、グループ等による視聴覚教材や機材を活用した学習を支援するため、教育文化会館及び市民館を視聴覚ライブラリーとした視聴覚センター事業を行っている。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
視聴覚教育事業	視聴覚教材・機材の貸出業務。目録のW e b掲載、各種機材の整備等を行う。	1,700
平和教育推進事業	平和・環境・人権教育等に関する映像教材の収集・整備を行う。	659

7. 日本民家園

日本民家園は、わが国の伝統的な木造建造物である古民家を永く将来にわたって残すため、昭和42年に開園した野外博物館である。江戸時代の建造物を中心に、25件を移築・復原しており、国指定重要文化財7件、国指定重要有形民俗文化財1件、県指定重要文化財10件、市重要歴史記念物7件から成る。また、本館には民家の基礎知識が学べる常設展示室と、テーマを設けて展覧会を開催する企画展示室がある。平成25年度より統括業務・学芸業務は直営、管理運営業務は指定管理者(平成30年度からは生田緑地日比谷花壇・日比谷アメニス・東急ファシリティサービス共同事業体)が担っている。なお、令和2年度は、旧太田家住宅の耐震補強工事を予定している。

(1) 運営管理・事業

園内の古民家等を活用して各種の博物館事業を実施する。民家園講座、体験講座、民俗芸能公演、各種催し物などの教育普及事業や、企画展示・年中行事展示、床上公開などの展示公開事業、調査研究活動、収蔵資料の整理、調査報告などの刊行物発行、広報活動、総合管理、植栽整備、伝統工芸館運営などを行う。

(2) 施設整備

旧太田家住宅の耐震補強工事を予定。他の文化財建造物の維持保存や園内整備、旧作田家住宅の耐震補強設計、本館・警備本部の改修工事を実施する。

(3) 社会教育委員会議日本民家園専門部会

7月、11月、3月の年3回開催。園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。

事業内容と予算

※予算額の()内は1.生涯学習推進課「社会教育委員会議活動(専門部会)」の再掲

事業名	事業内容	予算額(千円)
運営管理 (事業含む)	直営業務 ○展示 ○展示 ・企画展示「うんことくらしー便所から肥やしまでー」「暑さ寒さも彼岸までー民家と四季ー」 ・常設展示 ・年中行事展示等 ○教育普及活動 ・体験講座(わら細工・竹細工・はた織り・藍染め) ・民家園まつり ・民俗芸能公演(人形浄瑠璃、農村歌舞伎) ・催し物(お正月を遊ぶ等) ・旧所在地交流事業(甲州市・南砺市) ・博物館実習生の受入れ ・解説 ・民具製作実演 ・床上公開 ・学校体験学習 ほか ○調査研究・資料整理 ・収蔵資料の整理・企画展示図録の刊行 ○委託(消防設備点検・体験講座など) 指定管理者業務 ○維持管理業務(建物管理、樹木等管理、清掃・警備) ○運営業務(施設利用、電話受付、入園料徴収、広報・利用促進、伝統工芸館運営、物品販売、自主事業、統計・調査等) ○非常時、災害時対応等業務	直営分 15,800 指定管理料 99,922
社会教育委員会議 日本民家園専門部会	○部会を年に3回開催し、園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。	(368)
施設整備 (補修費含む)	○古民家屋根等修理工事(旧清宮家住宅) ○古民家補修等軽易工事ほか ○耐震補強設計(旧作田家住宅) ○耐震補強工事(旧太田家住宅) ○本館・警備本部の改修工事	183,161 (6月補正額 19,887)

8. 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）

川崎市唯一の自然系博物館として昭和46年8月15日に開館し、改築整備工事を経て平成24年4月28日に通称名「かわさき宙と緑の科学館」としてリニューアルオープンした青少年科学館は、自然、天文、科学の各分野において、展示事業、教育普及事業、調査研究事業、収集保存事業、ネットワーク事業を実施している。

令和2年度においては、展示事業では各種館内展示やプラネタリウム投影の実施、教育普及事業では生田緑地観察会、サイエンスワークショップ等、各種体験学習事業の実施、調査研究事業では各分野での専門的取組みのほか市民との協働により行う市域の生物調査の実施など、引き続き各事業の充実を図る。併せて、最新鋭のプラネタリウム設備を最大限に活用し、毎月番組を制作する一般投影や、乳幼児の親子を対象とした（ベビー&キッズアワー）や、星空コンサートを始めとする特別投影等を積極的に実施する。

ネットワーク事業では日本民家園との「七夕」「お月見」の連携事業等、生田緑地他施設との連携のほか、指定管理者や大学、地域団体との連携事業を実施する。

令和3年度の開館50周年に伴う記念事業の実施に向けて、プラネタリウム特別番組や記念刊行物の制作、各事業の具体化、関連広報活動等の準備を行う。

(1) 展示事業

- ア 自然・天文に関する常設展示
- イ 自然・天文・科学に関する特別展示
- ウ プラネタリウム投影（一般・学習）

(2) 教育普及事業

- ア アストロテラスの公開
- イ 天文知識普及啓発、観望会等の開催
- ウ 科学知識普及啓発、実験教室等の開催
- エ 自然知識普及啓発、観察会等の開催
- オ 学校及び文化施設との協力

(3) 調査研究事業

- ア 市域の生物調査（昆虫・植物・その他）
- イ 気象観測、太陽活動・黒点の観測と調査研究

(4) 収集保存事業

自然史資料、天文資料、科学教育に関する資料の収集・保存管理

(5) ネットワーク事業

関連施設・団体・機関と連携し、生田緑地、地域のにぎわいを創出する事業の展開

(6) 管理運営

施設管理・広報・事業評価等

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1.生涯学習 推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額(千円)
青少年科学館運営管理事業	自然・天文・科学の各分野の教育振興等に向け、学芸業務の円滑な執行を確保する。	12,210
青少年科学館指定管理	館施設の維持管理業務・広報業務を指定管理者に委託する。	65,857
メガスター運営	世界最高水準の投影システムであるメガスターⅢフュージョンの保守管理、プラネタリウム番組制作等を行う。	33,960
21世紀子どもサイエンス事業	科学実験セット（ワクワドキドキ玉手箱）の活用により、子どもの理科離れ防止に向けた体験学習事業を実施する	3,644
社会教育委員会議 青少年科学館専門部会	部会を年に4回開催し、館の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行う。	(322)
ホトケドジョウ人工飼育事業	絶滅危惧種であるホトケドジョウの人工飼育、増殖研究により種の保存を図る。	186
青少年科学館50周年記念事業	プラネタリウム特別番組の制作、50周年記念誌・「かわさきの生き物」の刊行、広報関係業務を行う。	12,806

9. 市民ミュージアム

平成 29 年度から指定管理者制度による管理運営を行っており、令和 2 年度も引き続き、学芸部門を博物館美術館グループ・教育普及グループとし、各事業を実施していく。また、令和元年東日本台風の影響により浸水被害を受けた収蔵品の修復や、施設の復旧に向けた取組を推進し、施設のあり方について抜本的な見直しを行う。

(1) 展示

第 54 回かわさき市美術展を開催する。

(2) 広報

展覧会等のチラシを作成し、配布、プレス発表、マスコミの取材対応、ホームページ、SNS の運用、館内外の広報物掲示など、市民ミュージアムの情報発信を行う。

(3) 教育普及

社会科教育推進事業や出張プログラム、企画展関連ワークショップなどを実施する。

(4) 資料調査・研究

考古、歴史、民俗、美術、文芸、グラフィックデザイン、写真、漫画、映画、ビデオの分野における調査研究から横断的なテーマ、デジタルアーカイブなど、収蔵品の整理と研究を行う。

(5) 収蔵品修復等

被災収蔵品の応急処置、冷凍倉庫での保存、修復作業などを行う。施設再整備の検討、調査を行う。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	○展示 ・ 第 54 回かわさき市美術展 ○広報 ・ メディア等情報発信 ・ 広報物の作成・発行 ○教育普及・社会科教育推進事業 ・ 出張スクールプログラム ・ 企画展関連ワークショップ ・ 大学との連携事業 ○資料調査・研究	(指定管理料) 484, 242
施設整備事業	○市民ミュージアム施設整備	4, 000
復旧事業	○市民ミュージアム収蔵品修復など	1, 084, 074

10. 岡本太郎美術館

岡本太郎美術館は、平成3年に川崎ゆかりの芸術家岡本太郎氏より、氏の所有する主要作品1,779点が川崎市に寄贈されたことを契機に建設され、平成11年10月に開館した。

岡本太郎氏は、画家、彫刻家であるにとどまらず、文筆家であり、書家であり、民族学者であり、文明評論家であった。その多彩で広汎な活動領域は芸術全般に及んでおり、現代芸術の体現者として、今も日本の現代芸術に強い影響を与えている。

岡本太郎美術館では、その芸術と人間岡本太郎の全貌を余すことなく伝え、また、氏の人間像や芸術観の形成に大きな影響を与えた、母岡本かの子、父岡本一平の芸術、並びに岡本太郎と関連のあった近現代芸術に関する事業を展開している。

令和元年度も資料の収集・保存・調査研究等に基づき、魅力ある展覧会の開催等美術館活動の充実に努め、市民文化の振興と個性あふれる魅力あるまちづくりにつなげていく。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理事業	直営業務 ○展覧会 企画展 4 回 「音と造形のレゾナンス ーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展 4 月 25 日～7 月 12 日 ※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により 6 月 2 日に開幕を延期 「高橋士郎・古事記」展 7 月 18 日～10 月 12 日 「岡本太郎とクルト・セリグマン」展 10 月 24 日～1 月 24 日 「第 24 回岡本太郎現代芸術賞」展 2 月中旬～4 月上旬 常設展 3 回 「太陽の塔への道～太陽の塔は「生命の樹」だった」展 4 月 16 日～7 月 12 日 ※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により 6 月 2 日に開幕が延期のため、10 月 12 日まで会期を延長 「タイトル未定」展 10 月 16 日～1 月 24 日 「タイトル未定」展 1 月 28 日～4 月上旬 ○教育普及活動 講演会、ワークショップ等 ○寄贈作品整備 ○美術作品・資料の収集 ○情報システム賃貸借 他 指定管理者業務 ○維持管理業務、運營業務他	直営分 68,061 指定管理料 115,209
	資料デジタル化事業	○収蔵資料のデジタル化保存とその活用
施設整備事業	○美術館維持補修工事	12,129
	○岡本太郎作品等補修工事	5,463

1 1. 大山街道ふるさと館

高津地域(二子・溝口)は、市域を横断する脇往還の一つである矢倉沢往還(大山街道)が通り、古い歴史を持つ。大山街道ふるさと館は、こうした地域に関わる歴史・民俗等に関する資料や、地域にゆかりのある美術・文学作品などの展示を行うとともに、市民に学習の場や交流の場を提供する文化施設である。

なお、平成 18 年度から、指定管理者による管理運営を行っている。

(1) 博物館事業

企画展を年 4 回開催する。第 1 回「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」第 2 回「二ヶ領用水とふるさと高津」第 3 回「高札が語る幕末のふるさと高津(仮称)」第 4 回「地域が創出するカルチャー展」、第 2 回・第 3 回企画展では企画展記念講演会を開催する。企画展開催時以外の時期は、常設展「大山街道―二子・溝口宿―ふるさとの歴史・民俗・生活」展を開催する。館内スロープではミニ企画展(大山街道の宿場めぐりや切り絵作品展等)を年 7 回開催する。常設展の随時更新 など。

(2) 歴史文化探究事業

大山街道や地域の歴史を伝え、学ぶ講座として、「ふるさと探究講座」年 3 回、「街道学習講座」年 6 回、「ふるさとまち歩き講座」年 1 回開催する。また、「子ども大山街道探検クラブ」「ふるさと子ども出前授業」「キッズセミナー in 大山街道ふるさと館」など小学生等を対象とした体験的な活動を通して、郷土への愛着心や郷土学習理解のための支援を行う。など

(3) 地域活性化事業

地域の活性化、ふるさと館諸事業の地域との連携などをねらいとして大山街道ふるさと館地域コーディネーター及びサポーターズクラブと連携し、ふるさと館まつり等各種イベント事業を開催する。地域の特色ある商店からプロの技と知識を学ぶ「まちのマイスター体験講座」を年 3 回開催し、まちの新たな発見や魅力あるまちづくりに寄与する。「ぶらり散歩」を開催し、二子を散策後、二子唯一の老舗料亭「やよい」を訪ね、大山街道の歴史を学ぶ。川崎ウォーキング協会との連携により、ウォーキングステーション事業を実施する。ふるさと館を市内唯一のウォーキングステーションとして、健康増進とともに、地域の歴史・文化等の魅力を体感する機会とする。など

(4) 貸館事業

イベントホール、第 1 会議室、第 2 会議室、和室の 4 室について、ふれあいネットによる予約を通じて、各種文化活動等の場として貸館業務を行う。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額(円)
運営管理費	施設の管理運営に係る経費	22,898,000
設備等保守・修繕費	建物の保守・修繕及び施設整備等	4,861,000
事業費	事業実施に係る諸謝金・印刷費・消耗品費等	868,000

1 2. 東海道かわさき宿交流館

東海道川崎宿に関する歴史・民俗等の資料展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、市民文化の振興を図るために、平成 25(2013)年 10 月に開館した。

タッチパネルで操作できる映像や模型などによって、川崎市の歴史・文化を掘り下げて学ぶことができる文化交流拠点である。

(1) 通常展示活動

東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行う。

(2) 企画展示活動

リピーター確保の観点から、年 4 回以上の企画展を行う。

(3) 情報の収集及び提供

東海道川崎宿に関連する施設、機関及び団体等に関する情報の収集に努め、広く市民に対して提供をする。

(4) 活動支援活動

市民等が主体的に行う東海道川崎宿に関する活動に対して支援をする。また、市内小中学校等と連携をし、交流館が児童及び生徒の学習の場や市民等との交流の場となるよう運営をする。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（円）
運営管理	施設の維持・管理及び環境整備	(指定管理料) 41,986,000
展示制作業務委託料	展示制作更新費用	2,780,000
工事請負費	施設の修繕費用。（1件あたり50万円以上。）	2,000,000

13. 公益財団法人川崎市生涯学習財団

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化に関する各種の事業を推進するとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としている。

川崎市民が生涯学習活動に参画する機会を得ることは、市民一人ひとりが幸せな日々と豊かな人生を築き上げ、人生の目的を達成する上で重要なことである。また、生涯学習を通じて市民相互のコミュニケーションや連携が図られるよう、地域における様々な活動へとつながる。

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民のライフステージに応じた幅広い学習ニーズと公益を根幹におき、公共性と公平性を優先した生涯学習事業を推進することによって、豊かな生涯学習社会の実現と市民の参加と協働による市民主体のまちづくりに貢献する。

(1) 生涯学習に関する学習機会提供事業

「かわさき市民アカデミー」は平成23年度から「NPO法人かわさき市民アカデミー」に運営を移管し、財団は引き続き協働事業として推進する。また、青少年地域間交流事業やキッズセミナー、子ども陶芸教室など青少年事業を実施する。生涯学習プラザ施設を提供する。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業

シニア世代がこれまで社会で培ってきた豊富な経験・能力を生かし、主体的に地域社会の多様な課題に向けた様々な活動ができるよう養成講座等を行う。

(3) 生涯学習情報の収集・提供の充実

情報収集・提供体制の充実を図る。

(4) 指定管理施設等の効率的な運営と事業の活性化

指定管理2施設（子ども夢パーク、大山街道ふるさと館）の運営。寺子屋先生養成講座、生涯学習情報収集・提供事業業務、社会人学級事務

(5) 体験講座・研修事業

生涯学習スポーツ講座、文化・生活関連講座（陶芸・文化教室）、放課後子ども総合プラン関係職員研修

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
学習機会提供事業	1 かわさき市民アカデミー協働事業	41,551
	2 青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ） 岩手県花巻市 長野県富士見町 和歌山県古座川町 島根県益田市	
	3 キッズセミナー	
	4 子ども陶芸教室	
	5 施設提供事業 生涯学習プラザ施設	

生涯学習活動支援事業	1 シニア活動支援事業 ・シニア活動支援講座（市民アカデミー地域協働講座） 2 生涯学習ボランティアの養成・派遣 ・生涯学習ボランティア養成 ・生涯学習ボランティア派遣（小学校P C活用授業、特別支援教育、保育、環境学習、陶芸） 3 シニア活動講演会	13,411
生涯学習情報事業	1 生涯学習情報の収集並びに学習相談の実施 2 ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信 ・ホームページ更新回数 ・「ステージアップ」 年6回 各95,000部 ・「メールマガジン」	9,437
施設運営管理受託事業	1 指定管理施設 子ども夢パーク、大山街道ふるさと館 2 受託事業 ・寺子屋先生養成講座 ・生涯学習情報収集・提供事業業務 ・社会人学級業務 ・学校支援センター業務	115,793
体験講座・研修事業	1 生涯スポーツ関連講座 ・スポーツ教室 ピラティス、おとなバレエ、ZUMBA、筋力アップトレーニング、こども体操 他 2 文化・生活関連講座 ・文化教室 切り絵教室、写真教室、色えんぴつ画入門 他 ・陶芸教室 陶芸教室、陶芸「一般開放」教室、初心者陶芸教室 3 その他 特別教室 4 放課後子ども総合プラン職員資質向上研修業務（受託事業）	21,872

14. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）

有馬・野川生涯学習支援施設は、生涯学習拠点施設機能に加え、市民活動支援機能を付与し、市民参画による地域主体のまちづくりを目指し、地域の人々の自発的な学習や文化活動の拠点である。

平成21年度の開設以来、多世代が「集い、学ぶ、楽しむ」施設として定着している。次の10年に向けて市民活動、地域活動の拡大が重要になってきた。

なお、施設の開館当時より、指定管理者による管理運営を行っている。

(1) 生涯学習関連事業の実施

市民の社会参加支援、各種事業による学習機会の提供、活動発表の場の提供を行う。

(2) 市民活動支援事業の実施

ボランティア活動や市民活動、地域活動などの団体の活動を支援するため、市民活動支援コーナーの利用促進、団体交流を行い、地域活動に貢献する人材を育成する。

(3) 地域図書室の運営

地域図書室図書の閲覧、貸出、返却に関する業務を行う。

地域図書室を活性化する。（新規利用者の拡大、室内演出の充実、地域の学校との連携等）

利用者サービスを充実する。（タイムリーな新着本の購入、テーマを決めたコーナー紹介等）

市立図書館資料の予約本の取り寄せ、返却業務を行う。

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額（千円）
川崎市社会教育委員会議 （有馬・野川生涯学習支援 施設専門部会）	有馬・野川生涯学習支援施設の運営に関する重要事項について調査審議する。	(207)
運営管理	施設の維持・管理及び環境整備、地域図書室の利用提供、有料貸館施設の利用提供、各種イベント・講座・教室の実施等	(指定管理料) 44,045

15. 市民スポーツ室（市民文化局）

川崎市では、川崎市スポーツ推進計画において、「スポーツを身近に親しむことができるまち」、「生涯にわたってスポーツを元気に楽しめるまち」、「スポーツを通して仲間とふれあい、地域での交流が深まるまち」、「スポーツに挑戦する喜びがあるまち」、「スポーツを通して川崎の魅力・活力が感じられるまち」という本市が目指す5つの「スポーツのまち」の具体像を示しており、その実現に向けて世代に応じたスポーツ教室の提供や地域の特色となるようなスポーツイベントの開催、スポーツ施設の改修・機能向上、かわさきスポーツパートナーとの連携など、市民一人ひとりがスポーツを楽しむことができるよう多種多様な取組を行っている。

令和2年度においては、次の事業を実施する。

事業内容と予算

	事業名	事業内容	予算額（千円）
市民のスポーツ 推進事業	市民体力テストの集い	20歳～79歳を対象とした体力テストを開催し、広く市民に体力の向上と健康増進についての認識を高める。	0
	企業内スポーツ施設一般利用事業	市民のスポーツ施設の利用機会拡充を図るため、市内の企業・学校等と協定を結び、所有するスポーツ施設を一般市民へ開放する。	0
	対外競技派遣	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会へ川崎市代表選手団を派遣するとともに、国民体育大会等への参加を推奨・激励する。	961
	都市間スポーツ交流	川崎市の青少年と友好自治体の青少年がスポーツ等を通して、競技力の向上を図るとともに、身心ともに健全に成長することを目的として開催する。	3,804
	福島県スポーツ交流事業	川崎市民がスポーツの魅力・楽しさを多面的に感じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ契機とするとともに、被災地の復興支援を図るため、市内スポーツ団体に対し、福島県でのスポーツ交流にかかる費用を助成する。	3,000
	各種スポーツ大会等	市民がスポーツ活動を通じて、明るく生き生きとした市民生活の充実を図るために、スポーツ活動への参加の機会として、市民スポーツ大会を開催する。また、健康増進、スポーツ活動の機会提供の一助とするため、「ハートフルエンジョイ事業」の実施や参加型のイベント「川崎市スポーツフェスタ」を開催する。	3,064
	スポーツ指導者派遣	川崎市スポーツ協会の加盟団体が持つ人材を活用し、市民団体の要望に応じてスポーツ指導者を派遣する。	841
	競技スポーツ選手・指導者育成	スポーツ人口のすそ野を広げるとともに指導者育成を通じて、市内競技スポーツの振興を図る。 また、本市に縁のあるトップアスリートの輩出の可能性を高めるため、選手の育成・強化支援に取り組む。	2,347
スポーツ・レクリエーション団体	川崎市スポーツ協会補助金	スポーツの普及振興、指導者の養成、スポーツ団体の育成・援助、競技力の向上等に資するため、	14,322

補助事業		スポーツ協会に対し管理運営費等を補助する。	
	川崎市レクリエーション連盟補助金	明るく健康な市民生活に不可欠なレクリエーション活動の普及・振興に資するため、川崎市レクリエーション連盟に対し補助する。	300
総合型地域スポーツクラブ育成事業		幼児から高齢者までの誰もが参加でき、市民に身近な地域でスポーツを通して交流を広げる「総合型地域スポーツクラブ」の設立・運営に向け、地域の自主的な活動を支援する。	447
多摩川を活用したスポーツ大会の開催事業	2020 川崎国際多摩川マラソン	多摩川の河川敷を活用し、多くの市民が参加できる「多摩川ランフェスタ in 川崎」として、「川崎国際多摩川マラソン」及び「多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎」を全国に向けて発信し、市民の健康増進とスポーツ交流の一助とする。 また市民の多摩川とのふれあいの機会として「多摩川カヌー教室」を開催する。	19,920
	2021 多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎		
	多摩川カヌー教室		
スポーツ推進計画策定事業		次期「川崎市スポーツ推進計画」の策定に向けた検討を行う。	2,800
障害者スポーツ推進事業		障害のあるなしに関わらず、誰もが日常的にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、「障害者スポーツ普及促進事業」「障害者スポーツ振興事業」「障害者スポーツ実施環境整備事業」等を実施する。 また、川崎市障害者スポーツ協会・事業の実施に対し補助する。	57,871
スポーツのまちづくり事業	ホームタウンスポーツ推進事業	本市を活動の拠点（ホームタウン）としているトップチームを「かわさきスポーツパートナー」等に認定し、広報・PRを行うとともに、パートナー等と連携した事業等を通じ、本市のスポーツの推進とシティセールスを図る。	3,309
	川崎フロンターレ連携事業	スポーツを通して川崎への愛着と誇り、市民の連帯感を育むため、「川崎フロンターレ」と連携した地域の魅力づくり、市のイメージアップにつながる催事等を企画、実施する。	3,748
	川崎フロンターレ後援会支援	川崎フロンターレ後援会の支援を通じて、市民クラブ「川崎フロンターレ」を支援し、市民との連携を深め、サッカーを始めとするスポーツの普及と地域活性化を図る。	20,000
	アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業	富士通スタジアム川崎を拠点として、競技団体、地域、市民と連携して地域活性化や青少年の健全育成を推進するなど、アメリカンフットボールを活用したまちづくりを進める。	8,483
各種委員会活動事業	スポーツ推進審議会	スポーツ基本法第31条に基づき、スポーツの推進に関する重要な事項について調査審議する。	492
	スポーツ推進委員	スポーツ基本法、川崎市スポーツ推進委員規則に基づき、地域におけるスポーツ・レクリエーション	10,456

		ョン活動の推進者として活動する。	
スポーツ施設運営管理事業	スポーツ施設指定管理事業	区役所と連携し、スポーツセンター等の施設において市民に対し多様なスポーツ活動の場を提供する。	435, 276
	多摩スポーツセンター事業	市民のスポーツ活動の拠点として、幼児から高齢者まで誰もがスポーツや健康づくりを楽しみ、またスポーツを通じた人々のふれあいや地域コミュニティの活性化を図る。	144, 971
	スポーツ・文化総合センター事業	施設の管理運営については、指定管理者等の制度により効率的・効果的な運営を行う。	425, 177
スポーツ施設整備事業	スポーツ施設維持補修	各区のスポーツセンター等について、事故などにより突発的に発生する設備等の故障や破損に対応し、維持補修を行う。	37, 687
スポーツ振興基金の積立		スポーツを振興するため、スポーツ振興基金を積立てる。	200
一般管理事業		消耗品費等の経費	757

16. とどろきアリーナ

「健康・スポーツ都市川崎」のシンボルとして「いつでも、誰でも、身近な生活環境の中で安心して自由に運動できる場」をめざし、平成7年8月にオープンした川崎市最大規模の屋内スポーツ施設である。全国・国際規模のスポーツ競技会から音楽・集会・式典・展示会等多目的ホールとしての機能を持つメインアリーナと市民の日常スポーツ活動振興の場としてのサブアリーナからなり、川崎市の生涯スポーツの拠点としての役割を担っている。平成18年4月から指定管理者による管理運営となり、いつでも誰でも楽しみながらスポーツに親しむことができる「場」と「プログラム」を市民に積極的に提供する施設として、サービス向上と施設の効率的運用を図っている。

事業内容と予算

事業名	期日	対象	内容	指定管理料（円）
スポーツデー	通年	幼児以上(種目によっては中学生以上) 乳幼児と保護者	健康体力増進を目的とした種目と各種球技種目を行う場を提供し、市民スポーツの普及と向上に努める。 バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球・パドルテニス・小学生スポーツ・太極拳・キッズコーナー等	217,293,000
トレーニング室	通年	中学生以上	中高生から高齢者まで老若男女から各種競技力向上コースまで、専門トレーナーがそれぞれに合ったメニューを提供し、体力の維持向上を図る。肩こり・腰痛対策、いきいき元気教室等も実施している。 体力測定・体成分測定も予約実施する。	
スポーツサウナ	通年	15歳以上	遠赤外線低温サウナにより身体の各種機能が活性化され、スポーツ後のリフレッシュ効果を図る。	
スポーツ教室	年4期	※教室による	幼児から高齢者まで、あらゆる年齢層に対応した各種教室を実施する。スポーツを楽しむ場やプログラムを提供し、市民のスポーツ活動の機会を広げ、基礎技術のマスターと仲間づくりを進める。 親子の触れ合いを深め体力向上を図る教室、高齢者の健康維持向上を図る教室も積極的に実施する。	
体育の日 記念事業	体育の日	一般市民	施設を無料開放し、気軽にスポーツに親しむ場とする。 メインアリーナ・サブアリーナでは各種スポーツ体験。体育室・研修室では健康体操系並びに子どもの運動広場、トレーニング室・スポーツサウナも無料開放。	
イベント事業	夏休み など 3月中旬	小学生以上 一般市民	「鉄棒・跳び箱レッスン」などの短期教室 「アリーナまつり」「防災イベント」など	

17. カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）

スポーツや文化、レクリエーションの諸活動に加えて、市民や来訪者が相互に交流するコンベンションなどの多目的な市民活動に対応できる施設とすることで、公園と一体となった賑わいと活力を創出し、都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生と活性化を目指し、平成29年10月にオープンした施設である。主要な施設である大体育室及びホールについては、旧川崎市体育館及び教育文化会館大ホールがこれまで果たしてきた機能を引き続き確保しながら、さらなる機能向上を図っている。

事業内容と予算

事業名	期日	対象	内容	指定管理料（円）
スポーツデー	通年	幼児以上（種目によっては中学生以上） 乳幼児と保護者	初心者にスポーツの楽しさを伝えることを目的として、ひとりからでも楽しく参加できるよう、参加者間のコミュニティ形成に努める。 卓球・バドミントン・バスケットボール・はじめて太極拳・はじめてヨーガ・はじめてエアロ・アロマストレッチ・健康体操・親子体操等	418,801,928 （文化施設の運営・維持管理に係る費用も含む）
トレーニング室	通年	中学生以上	初めての利用者にも配慮し、希望者にはトレーニング機器等の利用方法の説明を随時実施する。また、身体機能チェックを実施し、チェック結果をもとに安全で効果的な運動アドバイスを実施する。	
教室事業	年4期	*教室による	アクティヴ、カルチャー、調整、スポーツ競技、高齢者、親子・キッズ・ジュニア・健康体操など多分野を設定し、様々な世代が参加しやすいように配慮した各種教室を実施する。	
サマーフェスタ	8月16日	一般市民	英国パラリンピックチームの事前キャンプ受入れに向けて、「パラスポーツ」に興味を持ってもらうため、障害者スポーツ啓発イベントを実施する。	
スポーツの日記念事業	7月24日	一般市民	スポーツの日を記念して、カルッツかわさきスポーツ施設を無料開放する。各諸室にて、スポーツ教室やイベント等を開催して、市民がスポーツに親しむ場を提供する。	

18. 川崎市スポーツセンター（幸・高津・宮前・多摩・麻生）

市民が健康で明るく、豊かで活力ある生活を営むためには、スポーツの果たす役割と意義は大変大きなものがある。市民の主体的なスポーツへの取り組みを基本としながら市民のニーズに応え、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続し実践することができるように、スポーツセンターの運営管理及び環境整備に努め、様々なスポーツ活動参加の機会を作り、生涯スポーツ社会の構築に寄与することが必要である。

それぞれの施設が地域のスポーツセンターとして機能し、その使命と役割を果たすため、次の点を重点項目として令和2年度の事業を展開する。

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 生涯スポーツの活動の場として、施設・整備の充実、スポーツ情報の提供等に努め、市民が利用しやすい施設運営を行う。</p> <p>(2) 個人がいつでも利用できるようスポーツデー・スポーツ教室を開催し、スポーツコミュニティづくりを進め生涯スポーツの振興に資する。</p> <p>(3) 生涯スポーツ推進事業を通して、ライフステージに対応した健康、体力づくりのためのスポーツメニューを提供する。</p> <p>(4) 既存の一般的な種目だけでなく、ニュースポーツ種目の普及を図る。</p> | <p>市民のスポーツニーズに応えるために、各種スポーツ団体とのネットワークシステム化を図る。</p> <p>(5) 利用者が安全にスポーツを行うために、高度の知識と技術を養うための職員研修システムを確立し、事故防止や施設間の情報交換・連携に努める。</p> <p>(6) 個人開放事業（スポーツデー）・団体開放事業（団体貸し出し）・スポーツ教室事業等のバランスのとれた事業展開を図る。</p> <p>(7) 利用者の要望、意見を収集し、スポーツ団体や個人のニーズに応じたスポーツ活動の充実発展に努める。</p> |
|--|---|

事業名	期日		対象	内容	予算額（円）
スポーツデー	幸	月～水、金～日曜	小学生以上 ※種目によっては中学生以上のものもあります。	卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、障害者スポーツ、小学生の日（水曜日午後）の個人開放	(指定管理料)
	高津	月～金曜		中高年のためのリズム体操 バスケットボール・卓球・エアロビクス・健康体操・バドミントン・ヨガ・柔道・剣道、カーディオフィットネスキックボクシング	幸スポーツセンター 42,408,503
	宮前	月～木、土曜		卓球・バドミントン、リフレッシュ体操、ソフトリフレッシュ体操、太極拳、エアロビクス、シェイプアップエアロ	高津スポーツセンター 46,246,297
	多摩	月～土曜		バスケットボール、卓球、合気道、バドミントン、やさしいエアロビクス、剣道、ピラティス、アクアウォーキング、アクアビクス、泳法ワンポイントレッスン、認知症予防運動	宮前スポーツセンター 35,832,295
	麻生	火～日曜		卓球・バドミントン・剣道・柔道・空手・マット運動・健康体操・ヨガ・エアロビクス	川崎市多摩スポーツセンター 130,557,575
					麻生スポーツセンター 40,770,417

事業名	期日		対象	内容
体力づくり コース	幸	月曜・火曜・水曜 金曜・土曜	中学生 以上	座って楽ちん体操、シェイプアップ、リフレッシュ体操、エアロ&リンパ調整、ヨガ初中級、ヘルシーヨガ、エンジョイエアロ
	宮前	火曜（午前） 水曜（午後） 木曜（午前） 土曜（夜間）		リフレッシュ体操、ソフトリフレッシュ体操、エアロビクス・太極拳・シェイプアップエアロ
	多摩	火～土		シェイプアップ教室、楽しむフラダンス、骨盤調整とセルフリフレクソロジー・サタデーナイトはディスコダンス・エアロビクス初級、フロアバレエ・太極拳、モーニングヨガ、アフタヌーンヨガ、サタデーヨガ、ファイティングエクササイズ、おなかスッキリエクササイズ、合気道、ピラティス&ストレッチ、楽しむZUMBA、夜ヨガ
	麻生	火曜（午前・午後） 金曜（午前・午後）		エアロビクス 健康体操・ヨガ
障がい者対象 プール教室	多摩	年４期制	18歳以上の 肢体障がい者	肢体障がい者アクアムーブメント
障がい児対象 プール教室	多摩	年４期制	養護学校、支援 学校に通う小学 生知的障がい児	知的障がい児アクアムーブメント
トレーニング室 開放事業	休館日を除く毎日		中学生以上	各種トレーニング器具を利用した体力づくり
健康体力相談	幸	随時	中学生以上	個人相談&健康プログラム
	高津	予約制（有料）	中学生以上 高津のみ 15歳以上	個人相談&健康プログラム、氣功整体
	宮前	随時		個人相談&健康プログラム（体成分測定有り）
	多摩	予約制（有料）		体内成分及び筋力バランスの測定と、結果に基づいた有資格者トレーナーの健康体力カウンセリングアドバイス及びトレーニングメニューの作成
高齢者向け スポーツ教室	幸	年４期制	高齢者	やさしい健康体操
	高津	通年	高齢者	元氣塾、貯筋運動
	宮前	年４期制・通年	高齢者	いきいき体操、椅子に座って脳トレ、骨盤すっきりエクササイズ、イキイキ音楽体操
	多摩	年３期制 年４期制（プール）	高齢者	シニアスイミング、シニアアクアムーブメント ちょきん運動
	麻生	年４期制	高齢者	はつらつ元気体操、生き生き体操、らくらくエアロ、シニアヨガ、いす掛け筋トレ体操
少年・高齢者 スポーツ教室	幸	年４期制	幼児・小学生・ 高齢者	フットサル教室・ジュニアダンス&エアロ 背骨コンディショニング
	高津	年３期制	幼児・親子 小学生・高齢者	太極拳、バドミントン、卓球、骨盤姿勢改善、気功教室、テニス、幼児体操、児童体操、空手、ケイキフラ、チアリーディング、スポーツキッズ、みんなでたのしくダンス！ダンス！、バク転
	宮前	年４期制	小学生	小学生体育、こどもダンス、アイドルダンス、ジュニアテニス
	多摩	年３期制 年４期制（プール）	年中～小学生	ジュニアフットサル、剣道、合気道、ジュニアスイミング、ジュニアテニス、キッズチアリーディング、子どもバドミントン
	麻生	年４期制	小学生	ジュニアリトミック、ジュニア器械体操、ジュニアチアリーディング、はじめてのヒップホップ、ジュニア新体操、ジュニアファンクショナル、はじめての剣道、ジュニアバレエボール、ボールで遊ぼう

事業名	期日		対象	内容
幼児・児童 スポーツ教室	宮前	年4期制、夏休み	幼児～小学生 ※種目によって異なります	こどもダンス、アイドルダンス、小学生体育、夏休み特別体操教室、キッズチア、幼児からだ遊び、ジュニアテニス
	幸	年4期制	幼児～小学生 ※種目によって異なります。	幼児フットサル・ミニバスケットボール・親子スポーツ・ジュニアダンス&エアロ（1班、2班）
	高津	年3期制 通年 ※種目によって異なります	幼児～中学生 ※種目によって異なります	ジュニアテニス、ジュニアテニスレベルアップ、幼児体操教室、児童体操教室、児童体操チャレンジコース、チアリーダーイング、スポーツキッズ、ケイキフラ、KID'S バスケットボール、空手教室、みんなでたのしくダンス！ダンス！、小学生バドミントン、わんぱく体力アップ、新体操
	多摩	年3期制 年4期制（プール）	幼児（年中）～小学生 ※種目によって異なります。	キッズスイミング、ジュニアフットサル、キッズチアリーダーイング
	麻生	年4期制	幼児～小学生	キッズチアリーダーイング、ボールで遊ぼう、キッズ器械体操・キッズ新体操、わんぱく体操
成人 スポーツ教室	幸	年4期制	15歳以上	マットサイエンス（ピラティスとヨガの入門）、ピラティス、ストレッチエクササイズ、フラダンス（3コース）フットサル、ウォーク・ランニングセミナー、初心者中級者バドミントン、バスケットボール、ジャズダンス、レクリエーションダンス、ヨガ、機能改善フィットネス
	高津	年3期制 通年 ※種目によって異なります		テニス、バドミントン、卓球、ピラトレ、ベリーダンス、フラダンス、太極拳、ピラティスシェイプ、体幹トレーニング&ストレッチ、パワーヨガ、骨盤姿勢改善、night ヨガ、ZUMBA、夜間バドミントン
	宮前	年4期		卓球、やさしいヨガ、パワーヨガ、ヨガ、バドミントン、ピラティス、ベルビックエクササイズ、ZUMBA GOLD、フットサル、42式太極剣、骨盤すっきりエクササイズ、ナニアロハ、バレーボール、大人のテニス、格闘エクササイズ
	多摩	年3期制 年4期制（プール）		バドミントン、卓球、弓道、テニス、成人スイミング、アクアビクス、4種目泳法指導、剣道、フットサル
	麻生	年4期制		ストレッチ&かんたん体操、骨盤体操、ボールウォーキング、太極拳入門からだリセット、ボディウエイトトレーニング、体幹バランス運動、カーディオエクササイズ、音楽&ストレッチ
親子スポーツ （体操）教室	幸	年4期制	未就園児と保護者	3B体操・親子スポーツ 幼児スポーツ広場（1班・2班）
	高津	年3期制	未就学児と保護者	親子体操教室
		年3期制		親子で一緒にふれあい遊び
		毎週月曜日		3Bのびのび親子体操
	宮前	年4期制	0～3歳児と保護者	ママのリカバリーピクス
			2～4歳児と保護者	親子スポーツ
	多摩	年3期制	2・3歳児と保護者	健やか親子体操教室（A・B）
		年4期制	2歳6か月以上の未就学児と保護者（オムツの習慣が取れた方のみ）	親子スイミング
	麻生	年4期制	幼児と保護者	親子げんき体操、親子音楽うんどうひろば

事業名	期日		対象	内容
共催事業	多摩	不定期 4月～	一般市民	川崎水泳協会・一般社団法人 AtoZ Sports と共催で乳がん術後のリハビリを目的とした水中運動、水泳教室
		年1回	一般市民	総合型スポーツクラブ・ビルネとの共催事業
	麻生	年1回	一般市民	総合型スポーツクラブ「わ・わ・わクラブ」、「GET」等との共催事業「スポーツのまち麻生わくわくイベント」
	麻生	年1回（7月）	一般市民	麻生区スポーツ推進委員会との共催事業「ニュースポーツイベント」カローリング等の紹介
スポーツの日 記念事業	全館	7月24日	一般市民	スポーツの日を記念して、施設の無料開放・スポーツイベント等を開催する
多摩区スポーツフェスタ	多摩	3月	一般市民	誰もが安心して参加でき、気軽にスポーツを楽しむ機会を提供し、優れたスポーツ選手との交流などを通じて、区民のスポーツの関心を高め、スポーツを通じた健康で元気のあるまちづくりを推進することを目的として実施
幸区民祭	幸	10月中	小学生以上	総合型スポーツクラブ「プラム」によるパドルテニス体験会・スポーツ教室報告会・フロンターレイベント（無料） 障害者スポーツ体験会
幸区バスケットボール大会	幸	9月12日	一般市民	幸区民を対象としたバスケットボール大会の実施
こどもフットサル大会	幸	2月上旬	小学生低学年	フロンターレ幸アシストクラブと連携したこどもフットサル大会の実施
高津区民祭	高津	7月28日	一般市民	タカスポ祭り
高津スポーツセンター提案事業	高津	年1回	一般市民	民間スポーツクラブとの連携でエアロビクスイベントを開催
宮前スポーツセンター提案事業	宮前	年1回	一般市民	宮スポフェスタ（市民スポーツ団体発表会・施設無料開放・他イベント）
宮前スポーツセンター提案事業	宮前	年2回	小学生	夏休み特別体操、春休み特別体操（マット運動・とび箱・鉄棒を指導）
川崎市多摩スポーツセンター自主事業	多摩	年1回	指導者 一般市民	日本赤十字社救急法救急員養成講習会
		年1回	指導者 一般市民	着衣泳・水の事故予防講習会
		年2回	高校生以上	認知症サポーター養成講座
川崎市多摩スポーツセンター 特別主催事業	多摩	年1回：夏休み期間中4日間（各コース）	年中～小6年生	夏休みこども体操教室（鉄棒・マット運動・跳び箱・バック転を指導）
		年1回：夏休み期間中4日間	小3～小6年生	夏休みこどもバトミントン教室
		年1回：冬休み期間中2日間	小3～小6年生	冬休みこどもハンドボール教室
		年1回：（夏休み期間中5日間【3回】）	満4歳～中3年生	夏休み短期水泳教室
		年1回：（春休み期間中5日間）	満4歳～新6年生	春休み短期水泳教室

19. 石川記念武道館

川崎市唯一の武道館として、武道の普及・振興を通して健全な社会環境の発展に役立つように事業を展開する。初心者から高段者まで、小学生から中高年まで幅広く利用することができ、剣道・なぎなた・空手道・柔道・少林寺拳法・合気道の6種目とその他の種目を対象としている。

スポーツセンター同様、指定管理者による管理運営により、主に以下の事業を行い、サービスの向上と施設の効率的運用を図り、その使命と役割を果たすため、次の点を重点項目として令和元年度の事業を展開する。

(1) 個人利用・団体利用・武道教室等のバランスのとれた事業展開を図る。武道教室は初歩から武道に入門するための初心者教室を年2～3回計画している。

個人利用の武道練習・暑中げいこ・寒げいこ・武道演武会の指導については「川崎市石川記念武道館指導者連絡協議会」の武道指導員に委嘱して行う。

(2) 施設の有効活用を図ると共に、石川記念武道館を多くの市民に知ってもらうために、武道以外の施設利用の開拓を行い、ヨガ・ピラティス、幼児スポーツ広場等の教室を行う。

事業内容と予算

事業名	期日	対象	内容	予算額（円）
武道練習 （個人利用）	毎週月・火・木・土曜日	小学生以上	個人練習日として、有段者の指導員が実技指導を行う。 （種目）（曜日）（実技指導時間） 女性剣道 火 10：00～12：00 剣 道 火・木 18：30～20：30 なぎなた 月 18：30～20：30 火 12：30～15：00 土 15：30～18：00 合気道 火・土 18：30～20：30 柔 道 火・木・土 〃 少林寺拳法 木・土 〃 空手道 月・土 〃	(指定管理料) 13,359,866
武道教室	年2回	小学生以上	上記6種目で実施。初歩からの入門基本実技指導をする。	
暑中げいこ	7月	小学生以上	暑さに負けずに心技体の向上を目的に、集中的にけいこをする。	
寒げいこ 鏡開き	1月	小学生以上	寒さに負けずに心技体の向上を目的に、集中的にけいこをする。参加者により鏡開きを行う。	
武道演武会	2月	小学生以上	武道練習による心技体向上の成果を発表し、武道の普及・振興・交流を通して、健全な社会環境の発展に役立てる。	
スポーツの日 記念事業	7月	一般市民	スポーツの日を記念して武道練習者に対して講習会等を行う。	
体力づくり コース	毎週月曜日	中学生以上	ヨガ 13時15分～14時30分	
スポーツ教室	月・木曜日	15歳以上	ヨガ・ピラティス	
	火曜日	2・3歳児と 保護者	幼児スポーツ広場	

20. 青少年の家

青少年のための団体宿泊研修施設として、団体宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、各種事業を実施する。また、主催事業の新規展開や施設利用におけるアドバイスの実施等、施設利用案内の改善を図り、利用者サービス向上を目指す。

(1) 利用団体の受入

- ア 青少年団体宿泊研修等の受入
- イ 施設の利用促進のための広報活動
- ウ 各種研修活動についての資料と情報の収集・整理及び提供
- エ 多様な研修活動に対応できるプログラムの開発及び提供
- オ 利用団体の研修活動が円滑かつ有意義に進めら

れるよう生活指導員を配置

(2) 施設設備の整備

利用者への安全の確保に留意し施設の整備にあたる。また、利用者が快適な環境のもとで研修が行えるよう自然環境の保護・整備及び施設の保守・管理に努める。

主な主催事業

事業名	目的
ユースワーカーズクラブ	継続的な青年の社会参加活動の場作り 青少年の家を拠点としたボランティア活動や地域イベント等への参加、主催事業及び自主活動を実施、青年の社会参加促進を図る
週末チャレンジクラブ	体験型の学習を通して理解と知識を深め、日常の行動に活かす。 子どもたちの主体的な関わりを促し、仲間作りを行う。
週末ビギナーズクラブ	体験型の学習を通して理解と知識を深め、日常の行動に活かす。 子どもたちの主体的な関わりを促し、仲間作りを行う。
英語教室	英語に触れ、異文化と触れ子どもたちの情操を豊かにする
ほのぼのスクール	異年齢、違う学校の子どもたちが集まり、集団生活を通して仲間を作る。普段できない体験により新たな自分を発見する。
親子パネルシアター	親子での活動を楽しみ、同じ子育て中の保護者の仲間づくりの場を提供する。将来青少年となる子供たちとその保護者に、「青少年の家」を知ってもらおう。
ノルディックウォーキング教室	若者からシニアの健康増進・交流を目的とする。
よちよちおはなし会	乳幼児親子の交流と子育ての悩みの解消を目的とする。
親子リトミック	乳幼児親子の交流と健康づくりを目的とする。
かわさき森のようちえん	身近な自然の中で自由な発想で遊び、創造力を身につける。 新しい友達と仲良く一緒に遊ぶことができる。
サバイバルキャンプ	1泊2日で体験を通し備災・減災の意識を高める。
シニアサポーターズクラブ	シニアの交流、仲間づくり、世代間交流
青少年の家フェスタ	利用団体の活動の発表の場を作る。 広く市民に青少年の家を知ってもらい、親しんでもらう。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用団体受け入れ、施設の維持管理、食堂運営 広報、研修等、	78,444
主催事業	ユースワーカーズクラブ、週末チャレンジクラブ、 ほのぼのスクール、よちよちおはなし会、親子リト ミック等	

2.1. ハケ岳少年自然の家

少年自然の家では、恵まれた自然環境の中で、団体宿泊生活を通して、心身を鍛錬し、もって健全な少年の育成を図るため、川崎市では少なくなった自然の中での活動を子どもたちが自主性をもって取り組めるようサポートする。また施設の老朽化に伴う危険箇所、子どもたちの活動に最適な環境を提供するための改修・補修などを行う。

平成18年4月から指定管理者制度に移行し、施設の設置目的に沿った多様な事業展開と、より効率的な管理運営を図っている。

(1) 事業

- ア 利用団体・利用人数の増に向け提供プログラムの拡充、サービスの向上を図るとともに、インターネット等を通じて、広報活動を充実。
- イ 主催事業のハケ岳自然体験（ふじみ星空観察会、ふれあいイベント）については、四季折々の豊かな自然体験を満喫できるように充実したプログラムを計画するとともに、各事業間の活動の連携を図る。
- ウ 「ふじみ星空観察会」では近隣住民を対象に惑星や星雲・星団と四季折々の星座観察会を実施し、地元根ざした施設になることを目指す。
- エ 学校・社会教育団体への活動プログラムの提供や資料提供についても施設設備や地域の情報などに配慮する。

(2) 環境整備

広大な敷地内の整備や森作り（間伐、植樹エリアの整備など）を引き続き行い、所内の環境整備を図るとともに、老朽箇所の改修等を計画的に進める。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	各種利用団体（自然教室・社会教育団体・家族など） 受け入れ、施設の維持管理、食堂運営、広報、研修 等	263,566
主催事業	ふじみ星座観察会、ふれあいイベント、指導員講習 会等	

22. 黒川青少年野外活動センター

野外活動による体験を通して、青少年の自主性及び協調性をはぐくみ、もってその心身の健やかな発達に寄与することを目的として、青少年体験事業、指導者育成事業、黒川・里山事業を実施する。

平成18年4月から指定管理者制度に移行し、施設の設置目的に沿った多様な事業展開と、より効率的な管理運営を図っている。

令和2年度の事業計画

- (1) 青少年団体の平日利用の促進
- (2) 主催事業により多くの方が参加できる仕組み作り
- (3) 地域の防災拠点としての機能
- (4) 野外活動を通しての青少年育成
- (5) 自然体験活動の専門家による活動支援
- (6) 地域交流、世代間交流の拠点
- (7) 利用者人数の確保

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用団体受け入れ、施設の維持管理、敷地内整備、広報、研修等	30,454
主催事業	くろかわプレーパーク、大鍋まつり、いちにちのあそびくらぶ（森のようちえん）、黒川のおもちつき、自然体験フェスティバル、ネイチャーボランティア、ＢＢＱインストラクター講習会、里山体験教室等	

23. 子ども夢パーク

「川崎市子どもの権利に関する条例」の理念が生かされ、子どもが自分の責任で自由に遊び、学び、つくり続けていく子どもの諸活動の拠点施設として、平成15年7月23日に開所した。

自分の責任で自由に遊び、ありのままでいられる場として、水遊びなどができるプレーパーク（冒険遊び場）やサイクリングロード、全天候型スポーツ広場、本格的な機材がそろった音楽スタジオ、ログハウス、乳幼児の部屋「ゆるり」、本が置いてある部屋「ごろり」等がある。また、学校外で子どもたちが多様に育ち、学ぶことを保障する場として、「フリースペースえん」を開設している。

平成18年4月から指定管理者制度の導入により、公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりばが、管理運営を行っている。平成28年度から3期目となる。

夢パークの3本柱

【子どもの活動拠点】

子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点。子どもが夢パークの運営等に意見を表明し、参画するために、夢パーク子ども運営委員会が開かれている。（横丁会議・スタジオプロジェクトなど）そして、川崎市長が市政について子どもの意見を求めるために開催している「川崎市子ども会議」の事務室があり、さまざまな活動を展開している。

【プレーパーク】

冒険遊び場（プレーパーク）は、土や水、火や木材などの自然な素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由につくりかえられる遊び場。ここでは、子どもたちの『やってみたい』という気持ちを大切に、遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらないことで、子どもたちが自分で決めたり、危険を判断したりできるようにしている。

【フリースペースえん】

おもに学校の中に居場所を見出せない子どもや若者たちが、学校の外で多様に育ち、学ぶ場。毎日お昼ご飯を作って食べるなど暮らしをベースにしている。一日の過ごし方は、それぞれの子どもが自分のペースに合わせて、自分でプログラムを考えて活動している。子どもたちの希望に応じて、各種講座がある。※利用には登録が必要。

事業内容と予算

事業内容

(1) 運営管理

利用者受け入れ、施設の維持管理、視察・見学・実習生等の受け入れなど

(2) イベント事業等

夢パまつり、こどもゆめ横丁、初夢！新春イベント、KUJIROCK（スタジオ利用者によるライブ）、毎日がプレーパークの日（5月GW）、クリスマス、親子でもっとあそぼう会（月1回）、おはなしおはなしパーク（絵本読み聞かせ）月3回、野球・スポーツ大会（年10回程度）、スタジオ講習（月数回）、スタジオ利用、畑の日、おさがりバザール年6回、子ども運営委員会（スタジオプロジェクト、横丁会議等）ほか

(3) 不登校児童・生徒の居場所事業（フリースペースえん）

(4) スタッフ・ボランティア等研修事業

(5) 協働・連携事業

川崎市子ども夢パーク運営会議、夢パーク支援委員会、夢パークをつくりつづける会、世話焼き会、かわさき遊び場ネット、川崎市子ども会議、高津区地域教育会議、高津区子ども・子育てネットワーク会議、子どもの権利の日事業実行委員会、高津区子ども・子育てフェスタ、みやまえ子育てフェスタほか

(6) 情報発信事業

「夢パークつうしん」の発行、ホームページの作成・更新、各種情報誌等への広報ほか

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用者受け入れ、施設の維持管理等	77,144
イベント事業等	プレーパーク運営、子どもの遊びに関わる運営	
スタッフ・ボランティア等研修事業	各種研修、講演会の開催	
協働・連携事業	運営協議会、子ども運営委員会等の運営	
情報発信事業	広報紙発行、ホームページ管理等	
不登校児童・生徒の居場所事業	不登校児童・生徒の受け入れ・支援等	

報 告 編

(令和元年度活動報告)

I 審議会・協議会等の活動

1. 活動内容

(1) 社会教育委員会議の活動

社会教育委員会議は、社会教育法第15条に基づき、川崎市社会教育委員条例により設置され、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申のほか必要に応じて調査・研究を行う。委員は公募による市民委員2人を含む20人で構成されている。

令和元年度は、生涯学習推進活動方針や川崎市の社会教育委員の職務や社会教育事業について理解を深めるとともに、今期の研究協議の視点である「市民と行政の連携・協働を支える社会教育の役割」について報告書をまとめた。

ア 審議経過

年 月 日	会議名	会 場	主な内容
令和元年			
5月14日	教育委員との意見交換会	教育文化会館	川崎市社会教育委員会議の調査研究について
5月23日	第1回定例会	生涯学習プラザ	教育委員との意見交換会について
6月21日	第2回定例会	宮前市民館	「(仮称) 今後の市民館・図書館のあり方」の検討について
7月10日	第3回定例会	高津市民館	指定都市社会教育委員連絡協議会について
8月30日	第4回定例会	高津市民館	今期研究協議について
10月3日	第5回定例会	多摩市民館	宮前市民館・図書館の取組について
11月22日	第6回定例会	高津市民館	今期の社会教育委員会議 研究・協議内容について
令和2年			
1月30日	第7回定例会	高津市民館	新しい宮前市民館・図書館に関する検討状況について
2月12日	教育委員との意見交換会	教育文化会館	川崎市社会教育委員会議の調査研究について
2月18日	第8回定例会	中原市民館	令和2年度生涯学習推進活動方針について
3月11日	第9回定例会	高津市民館	今期の研究報告書について

イ その他

年 月 日	会議名	会 場	主な内容
令和元年			
4月18日	県社教連理事会①	かながわ県民センター	事業報告・決算、事業計画・予算、役員について
6月28日	県社教連総会	かながわ県民センター	事業報告・決算、事業計画・予算、役員について
7月5日	指定都市社会教育委員連絡協議会	名古屋市	講演「地域における社会教育委員のめざすもの」
8月26日	県社教連研修会	かながわ県民センター	各都市提出の協議題に基づく協議 講演「地域に貢献する社会教育」
10月18日	県社教連理事会②	かながわ県民センター	実施事業、次年度事業計画
10月24日 ～25日	全国社会教育研究大会	神戸市	功労者表彰、記念講演、分科会
令和2年			
2月19日	県社教連地区研究会①	厚木市	人権講和、事例報告

(2) 図書館専門部会の活動

川崎市立図書館の円滑な運営を図るために、平成 30・令和元年度川崎市社会教育委員会議図書館専門部会を設置した。今期は「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画（第 3 次）」を基本に、市立図書館での読書普及の取り組みのあり方や図書館利用の今日的課題について調査・研究活動を行った。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 6 月 7 日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 「鷺沼駅周辺再整備」について 3. ティーンエイジャーと読書
令和元年 9 月 13 日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 「鷺沼駅周辺再整備」について 3. 今後の市民館・図書館のあり方について 4. ティーンエイジャーへの読書支援と図書館
令和元年 12 月 20 日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 地域ニーズと各館サービス 3. 「鷺沼駅周辺再整備」について
令和 2 年 2 月 19 日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 今後の市民館・図書館のあり方について 3. 新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方について 4. 平成 30・令和元年度の研究活動報告書まとめ 5. 活動の総括

(3) 社会教育委員会議 教育文化会館、市民館専門部会の活動

昭和 62 年度まで、1 審議会で全市的観点からの諮問事項について審議してきたが、昭和 63 年度から各館別に 7 審議会（1 館 10 人以内の委員を委嘱）が発足した。また、平成 12 年度からは公募委員の枠が設けられ、市民参画を一層推進してきた。全庁的な附属機関の見直しに伴い、平成 28 年度から各館の運営審議会を廃止し、川崎市社会教育委員会議教育文化会館専門部会、各市民館専門部会として調査研究・協議を行っている。

各館別活動内容

館 名	諮問の内容もしくはテーマ	開催月日
教育文化会館	川崎区におけるシニア事業について	6 月 18 日、9 月 26 日、 12 月 5 日、2 月 23 日
幸市民館	「地域につながる市民館」～出会い・生きがい・拡がり求めて～	6 月 29 日、9 月 5 日、 12 月 13 日、2 月 8 日
中原市民館	中原市民館における多世代交流に向けた事業の実施	6 月 10 日、9 月 11 日、 12 月 5 日、2 月 23 日
高津市民館	外国につながる子どもの学習支援のあり方について	4 月 17 日、10 月 30 日 12 月 20 日、2 月 8 日
宮前市民館	都市型市民館のあり方について	7 月 3 日、10 月 3 日、 12 月 20 日、2 月 16 日
多摩市民館	市民館と地域の拠点との協働	6 月 12 日、9 月 20 日、 12 月 11 日、2 月 23 日
麻生市民館	地域コミュニティの活性化支援について	6 月 11 日、9 月 10 日、 12 月 10 日、2 月 23 日

(4) 平和教育映像教材等連絡調整会議の活動

平和教育映像教材等連絡調整会議は、視聴覚センターにおける教材と作品の適正かつ公正な収集等を図るため、連絡調整を行う。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 11 月 26 日	川崎市総合教育センター 会議室	平成 30 年度教材・作品収集報告 令和元年度教材・作品収集計画

(5) 川崎市文化財審議会の活動

川崎市文化財審議会は、川崎市文化財保護条例(昭和 34 年条例第 24 号)に基づき、川崎市の文化財指定、認定並びに現状変更等、必要と認められた事項に関して教育委員会の諮問に応じる。委員は 10 人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 6 月 6 日	川崎市役所 第 3 庁舎 12 階会議室	・「遊山慕仙詩碑」(平間寺所蔵)の市重要郷土資料指定について ・国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画の策定について ・川崎市重要歴史記念物平成 30 年度修理報告について ・その他
令和元年 10 月 15 日	川崎市役所 第 3 庁舎 15 階第 3 会議室	・国史跡橘樹官衙遺跡群国史跡指定 5 周年記念事業の実施について ・指定文化財の所在変更について ・川崎市地域文化財ガイドブックの作成について ・塚越古墳第 6 次調査の成果について ・その他
令和 2 年 3 月 18 日	川崎市役所 第 4 庁舎 4 階第 5 会議室	不成立

(6) 川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会の活動

川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会は、川崎市附属機関条例に基づき、史跡橘樹官衙遺跡群の調査及び保存整備等に関して教育委員会の諮問に応じる。委員は 10 人で構成され、調査部会および整備部会の 2 部会を置く。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 5 月 29 日	市長応接室 川崎市役所第 3 庁舎 15 階第 1 会議室	第 25 回 (令和元年度第 1 回) 【全体会】 ・市長表敬 ・橘樹官衙遺跡群整備基本計画の策定について ・令和元年度における国史跡指定地の公有地化について ・その他
令和元年 9 月 12 日	川崎市役所第 3 庁舎 15 階第 1 会議室	第 26 回 (令和元年度第 2 回) 【整備部会】 ・令和 2 年度における国史跡追加指定予定地について ・史跡橘樹官衙遺跡群の活用に向けた取組・検討状況について ・その他
令和元年 12 月 4 日	橘樹郡家跡 第 30 次調査現場 影向寺瑠璃光殿	第 27 回 (令和元年度第 3 回) 【調査部会】 ・橘樹郡家跡第 30 次調査の視察 ・橘樹郡家跡第 30 次調査の検討 ・影向寺境内におけるレーダー測量成果について ほか
令和 2 年 2 月 18 日	影向寺遺跡第 27 次調査現場 影向寺瑠璃光殿	第 28 回 (令和元年度第 4 回) 【整備部会】 ・影向寺遺跡第 27 次調査の視察 ・橘樹官衙遺跡群整備基本計画短期計画第 1 期について ・その他

令和2年2月28日	影向寺遺跡第27次追加調査現場 影向寺瑠璃光殿	第29回（令和元年度第5回）【調査部会】 ・影向寺遺跡第27次確認調査の視察 ・影向寺遺跡第27次調査の検討 ・その他
-----------	----------------------------	--

(7) 社会教育委員会議日本民家園専門部会の活動

平成27年7月1日より、川崎市立日本民家園協議会を廃止し、社会教育委員会議日本民家園専門部会を設置。社会教育委員会議規則に基づき、園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。委員は10人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年6月8日	青少年科学館 2階学習室	令和元年度事業計画について
令和元年8月24日	青少年科学館 2階学習室	令和2年度事業計画について
令和元年11月24日	日本民家園	園内の視察及び民家園にかかる長期計画の検討について
令和2年3月14日	日本民家園	令和元年度事業評価について

(8) 社会教育委員会議青少年科学館専門部会の活動

平成27年7月1日から青少年科学館運営協議会を廃止し、社会教育委員会議青少年科学館専門部会を設置。委員については、学識経験者及び市民委員、市立小・中学校長会の代表者等9人（定数10人以内）で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年7月30日	自然学習棟学習室2	平成元年度事業計画
令和元年11月12日	自然学習棟学習室2	令和元年度事業中間報告、自然科学系ワークショップ紹介
令和元年12月5、10、14、15、19、20、22日	科学館内外	事業視察（プラネタリウム各種投影・館内展示、収蔵庫、生田緑地観察会など教普及活動）
令和2年3月27日	自然学習棟学習室3	令和元年度事業評価について（会議中止。書面にて評価取りまとめ）

(9) 川崎市文化芸術振興会議施設部会の活動（岡本太郎美術館）

川崎市文化芸術振興会議施設部会は、川崎市文化芸術振興条例第9条、川崎市文化芸術振興会議規則第6条に基づき、美術館等の円滑な運営を図るために設置されている。委員は学識経験者5人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年9月18日	岡本太郎美術館	令和元年度事業経過・予定について 令和2年度事業予定について
令和2年3月18日	岡本太郎美術館	令和元年度事業報告について 令和2年度事業予定について

(10) 大山街道ふるさと館運営懇談会

平成 27 年度までは、大山街道ふるさと館条例に基づく運営協議会が設置されていたが、条例改正に伴い、引き続き地域の関係団体等からふるさと館の運営管理等について意見を伺い、ふるさと館の管理運営の充実につなげていくために、運営懇談会を設置・開催している。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 7 月 26 日	大山街道ふるさと館 イベントホール	平成 30 年度事業報告について 令和元年度事業計画について
令和 2 年 3 月 19 日	大山街道ふるさと館 イベントホール	令和元年度事業実施状況について 令和 2 年度事業計画（案）について

(11) 社会教育委員会議有馬・野川生涯学習支援施設専門部会の活動

社会教育委員会議有馬・野川生涯学習支援施設専門部会は、社会教育委員会議規則に基づき、施設の運営について調査審議するため設置され、委員は 8 人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 6 月 25 日	有馬・野川生涯学習支援施設グループ室 1・2	平成 30 年度事業・収支決算報告及び自己評価について 令和元年度事業計画・収支計画について
令和元年 11 月 13 日	有馬・野川生涯学習支援施設グループ室 1・2	令和元年度上半期の利用状況及び事業報告について
令和 2 年 3 月 5 日	有馬・野川生涯学習支援施設グループ室 1・2	中止（新型コロナウィルス感染拡大防止のため）

(12) スポーツ推進審議会の活動

スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第 31 条の規定により、スポーツ推進審議会条例及び同条例施行規則に基づき設置される附属機関で、スポーツの推進に関する重要な事項について調査審議する。

年 月 日	会 場	主な内容
令和元年 7 月 11 日	川崎市役所 第 3 庁舎	・令和元年度スポーツ事業計画 ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取組について ・スポーツ分野における女性の現状について
令和元年 11 月 18 日	川崎市役所 第 3 庁舎	・平成 30 年度スポーツ関係事業 実施状況 ・スポーツ施設の現状について ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取組について

(13) 社会教育委員会議 青少年教育施設専門部会活動

社会教育委員会議規則に基づき、青少年の家、八ヶ岳少年自然の家、黒川青少年野外活動センター及び子ども夢パークの円滑な運営を図るため、施設における各種事業の企画実施について、調査審議している。委員は 15 人以内をもって組織している。

開催月日	館 名	主な内容
令和元年 6 月 3 日	子ども夢パーク	・子ども夢パーク施設見学、令和元年度事業計画について
令和元年 11 月 20 日	八ヶ岳少年自然の家	・八ヶ岳少年自然の家施設見学、令和元年度事業計画の進捗について
令和 2 年 2 月 17 日	黒川青少年野外活動センター	・黒川青少年野外活動センター施設見学、令和元年度事業計画の進捗について、令和 2 年度事業計画について

2. 審議会・協議会等委員名簿

(1) 社会教育委員 ◎議長 ○副議長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
亀田 亮一	川崎市立真福寺小学校長 (小学校長会)	新井 久三	川崎市青少年育成連盟理事長
榎原 真也	川崎市立西生田中学校長 (中学校長会)	宮越 隆夫	川崎市地域教育会議推進協議会 会長
高井 健次	川崎市立川崎高等学校長 (高等学校校長会)	岡本 幹彦	市民委員
影山 博史	川崎市PTA連絡協議会会長	吉無田 ひろみ	市民委員
嶋田 和明	川崎市教職員組合執行委員長	有北 いুকこ	NPO法人 ままとんきっず代表
城谷 護 (～6月11日) 下田 良一 (6月12日～)	川崎市総合文化団体連絡会理事 川崎市総合文化団体連絡会理事	○奥平 亨	株式会社 絵本ナビ 取締役
丹野 典和	公益財団法人 川崎市スポーツ協会 事務局長	◎上田 幸夫	日本体育大学体育学部教授
神本 一枝	川崎市地域女性連絡協議会理事長	平川 景子	明治大学文学部教授
保坂 政一	中原区町内会連合会副会長	金 宝藍	地域コミュニティ・市民活動研究者
町田 順文	公益社団法人 川崎市幼稚園協会	西山 拓	認定NPO法人 かわさき市民アカデミー事務職員

(2) 市立図書館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎青柳 英治	明治大学文学部教授	鈴木 穆	川崎市総合文化団体連合会
○吉田 武	川崎郷土史研究会会長	吉葉 清子	市民委員
平木 薫	川崎市立宮前平小学校長	渡部 康夫	市民委員
大津 裕一	川崎市立枳形中学校校長	千 錫烈	関東学院大学社会学部現代社会学科 准教授
西田 展子	野川中学校PTA連絡協議会副会長	渡邊 由紀江	柿生小学校、麻生図書館読み聞かせボ ランティア

(3) 教育文化会館・市民館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

	氏 名	役 職 名		氏 名	役 職 名
教育文化会館	◎山澤 和子	日本女子大学客員准教授	高津市民館	笹子 まさえ	特定非営利活動法人 アクト川崎事務局長
	○村社 一夫	教育文化会館 サークル連絡会 会長		松崎 キヨエ	高津区全町内会連合自治会 理事
	山本 洋子	川崎市地域女性連絡協議会理事		齋野 保史	川崎市立東高津小学校校長
	和泉田 政徳	川崎市立川崎高等学校附属 中学校校長		田村 富彦	高津区文化協会理事・事務局長
	平川 悦子	川崎区文化協会事務局長		◎迎 スミ子	前川崎市男女共同参画センタ ー館長
	中嶋 由利子	川崎区地域教育会議副議長		◎川西 和子	調査モデレーター
	飯塚 昭子	川崎区PTA協議会会長		○井上 陽子	菅生分館利用者懇談会代表
	杉山 麻由美	市民委員		金田 玉恵	川崎市立菅生小学校校長
幸市民館	◎大塚 謙一郎	幸区地域教育会議議長	宮前市民館	中村 布佐子	宮前文化協会副会長
	○片岡 了	明治大学兼任講師		江幡 政吉	宮前区民生委員児童委員協議 会会計
	平井 育子	川崎市立西御幸小学校校長		大津 三郎	菅生ヶ丘自治会自治会長
	館 勇紀	幸区PTA協議会副会長		近江 弓子	市民委員
	酒井 清	幸区文化協会監査		尾崎 陽子	宮前区PTA協議会副会長
	矢木 秀子	幸サークル連絡会会長		齊藤 潤	多摩区地域教育会議副議長
	中島 由貴	市民委員		○小澤 章子	たま学習サークル連絡会会長
	伊藤 俊州	女躰神社幼稚園主事		山崎 恵子	川崎市立中野島小学校
中原市民館	◎山田 雅太	かわさき子どもの権利フォーラ ム代表	多摩市民館	吉田 紀代子	多摩区社会福祉協議会理事
	○山本 順子	中原市民館サークル連絡会庶務 担当		山本 勇樹	多摩区PTA協議会副会長
	中原 義郎	川崎市立井田小学校校長		倉本 明	多摩区町会連合会常任理事
	梶川 明美	中原区文化協会理事		吉良 幸子	市民委員
	松倉 キミ子	中原区町内会連絡協議会 今井上町町内会会長		◎大下 勝巳	NPO法人かわさき創造 プロジェクト理事
	滝沢 甲子男	中原区子ども会連合会副会長		◎井上 俊夫	麻生区地域教育会議議長
	福井 巖	市民委員		○橋本 周	麻生区文化協会役員（総務）
	守屋 由香	元中原区PTA協議会副会長		永野 直樹	川崎市立王禅寺中央中学校校 長
高津市民館	角田 仁	高津区地域教育会議議長	麻生市民館	高橋 慶子	麻生区町会連合会副会長
	○山本 多央子	高津区PTA連絡協議会会計監 査		長谷見 香乃	麻生区PTA協議会副会長
	仙北谷 力	公募委員		杉森 正男	麻生市民館サークル連絡会会 長
	遠藤 昌宏	下作延小学校PTA会長		角田 季美枝	和光大学現代人間学部非常勤 講師
				三上 由加利	市民委員

(4) 平和教育映像教材等連絡調整会議有識者・出席者

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
高橋 弘子	川崎市地域女性連絡協議会 理事	長谷川 雅之	中野島中学校校長（中学校校長会）
加藤 弘行	教職員組合 副執行委員長	石郷岡 健一	高津区役所生涯学習支援課 課長補佐・社会教育振興係長
下田 良一	川崎市社会教育委員	暉峻 僚三	川崎市平和館 専門調査員
中村 ノーマン	多文化活動連絡協議会代表	北所 邦美	人権・共生教育担当指導主事
小澤 洋一	百合丘小学校校長（小学校校長会）		

(5) 川崎市文化財審議会委員 ◎会長 ○副会長

氏 名	専門分野・所属・役職	氏 名	専門分野・所属・役職
◎相澤 正彦	美術工芸（絵画） 成城大学文芸学部教授	○吉良 芳恵	歴史 日本女子大学名誉教授
大野 敏	建築史 横浜国立大学都市科学部教授	薄井 和男	美術工芸（彫刻） 神奈川県立歴史博物館館長
倉本 宣	天然記念物 明治大学農学部教授	関沢 まゆみ	民俗 国立歴史民俗博物館教授
中野 達哉	歴史 駒澤大学文学部教授	星野 玲子	保存科学 鶴見大学文学部准教授
八木橋 伸浩	民俗 玉川大学リベラルアーツ学部教授	御堂島 正	考古学 大正大学文学部教授

(6) 川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会 ◎委員長 ○副委員長

氏 名	所属・役職	氏 名	役 職 名
◎佐藤 信	大学共同利用機関法人 人間文化機構理事	○田尾 誠敏	東海大学非常勤講師
大橋 泰夫	島根大学法文学部教授	大上 周三	元神奈川県教育委員会課長代理
小澤 毅	三重大学人文学部教授	御堂島 正	大正大学文学部教授
倉本 宣	明治大学農学部教授	鹿野 陽子	岐阜県立国際園芸アカデミー 客員教授
箱崎 和久	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所都城発掘調査部 遺構研究室長	松田 陽	東京大学大学院 人文社会学系研究科准教授

(7) 社会教育委員会日本民家園専門部会 ◎会長 ○副会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎菅野 和郎	（博物館学）玉川大学教授	高橋 正明	川崎市立平中学校校長
○大野 敏	（建築史）横浜国立大学教授	佐川 昌広	川崎市立平間小学校校長
高橋 典子	（民俗学）シルク博物館副館長	柴田 武	炉端の会会長
近藤 光雄	（建造物保存修理） 文化財建造物保存技術協会技術 監査役	野口 裕美	市民委員
牧田 伸子	NPO 法人ままとんきっず理事	佐藤 好美	市民委員

(8) 社会教育委員会 青少年科学館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎渡邊 敬三	市民委員	山上 明	東海大学 名誉教授（動物生態学）
○網屋 直昭	中学校教育研究会理科部会 副部会長（川崎市立南生田中学校 校長）	瀬能 宏	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員（魚類分類学）
小川 俊哉	小学校理科教育研究会会長 （川崎市立南生田小学校校長）	洞口 俊博	国立科学博物館 理工学研究部理化学 グループ研究主幹（天文学）
眞壁 総子	特定非営利活動法人ままとんき っず理事	川島 逸郎	日本トンボ学会編集委員 （昆虫学）
服部 公俊	市民委員		

(9) 川崎市文化芸術振興会議施設部会（岡本太郎美術館） ◎部会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎勅使河原 純	美術評論家	光田 由里	D I C川村記念美術館学芸課長
杉浦 幸子	武蔵野美術大学芸術文化学科教授	室井 絵里	インディペンデントキュレーター
藤島 俊會	美術評論家		

(10) 大山街道ふるさと館運営懇談会委員及びアドバイザー

委員氏名	役 職 名	アドバイザー氏名	役 職 名
河西 良則	高津区全町内会連合会理事	望月 一樹	神奈川県立歴史博物館学芸部長
川辺 清三	高津区社会福祉協議会 第1地区社会福祉協議会会長	後安 雄司	高津区役所まちづくり推進部総務課
高橋 啓子	大山街道アクションフォーラム運営委員		
西村 勇一郎	川崎市立高津小学校校長		
山本 喜美枝	高津区文化協会理事		

(11) 社会教育委員会 有馬・野川生涯学習支援施設専門部会委員 ◎部会長 ○副部会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎小倉 敬子	公益財団法人 かわさき市民活動センター理事長	山田 桂	鷺沼町会企画担当理事
○生駒 みを	有限会社 コミュニティサポートネット代表	津田 知充	宮前区第一地区社会福祉協議会会長
伊藤 裕見子	川崎市立有馬小学校校長	永野 勝	市民委員
高倉 昭彦	川崎市立有馬中学校校長	鴨志田 由美	市民委員

(12) スポーツ推進審議会委員 ◎会長 ○副会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
◎齋藤 実	学校法人専修大学文学部教授	小野 隆美	公益財団法人川崎市スポーツ協会専務理事
○菊地 正	川崎市総合型地域スポーツクラブ育成連絡協議会会長	古橋 芳江	川崎市レクリエーション連盟役員
清水 紀宏	筑波大学体育系教授	上西園 紀年	川崎市スポーツ推進委員連絡協議会会長
松澤 淳子	早稲田大学スポーツビジネス研究所 招聘研究所研究員 早稲田大学スポーツ科学部非常勤講師	横島 正志	川崎市障害者スポーツ協会事務局長
大橋 博樹	公益社団法人川崎市医師会理事	江原 和人	市民委員
中山 紳一	川崎商工会議所副会頭	小林 房雄	市民委員
鶴見 悦子	川崎市立小学校体育研究会 (川崎市立西梶ヶ谷小学校校長)	曲木 絵里	市民委員
大内 孝二	川崎中学校体育連盟 (川崎市立宮内中学校校長)		

(13) 川崎市社会教育委員会議青少年教育施設専門部会委員 ◎部会長 ○副部会長

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
大橋 さつき	和光大学現代人間学部人間学科教授	佐藤 茂樹	川崎市宮崎台小学校長
◎小笠原 茂春	一般社団法人川崎市子ども会連盟副連盟長 (中原)	芳賀 寛	市民委員
小川 としこ	ガールスカウト川崎市連絡会会長	原田 尚幸	和光大学現代人間学部人間科学科教授
小沼 謙一郎	川崎市生田中学校長	○番匠 一雅	田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授
小山 新生	日本ボーイスカウト川崎地区協議会地区協議会長	谷島 義雄	一般社団法人川崎市子ども会連盟副連盟長 (宮前)

Ⅱ 令和元年度事業の評価と課題

1. 生涯学習推進課

(1) 生涯学習の基盤整備

ア 生涯学習推進会議

各区において生涯学習支援課の主管により生涯学習推進会議が開催され、市民の学習や活動に関わる様々な部署の情報交換等が進んだ。区ごとに、生涯学習に関する研修会の実施、施設間の連携推進、区の人材育成計画の策定など、特色ある活動が進められている。

イ 市内大学等高等教育機関との連携

市民への生涯学習支援の方策として、行政機関と市内大学等高等教育機関、また市内大学等高等教育機関相互の連携を推進するために「川崎市生涯学習大学等高等教育機関連絡会議」を開催し、8大学・1専門学校と42の市民向け事業を実施した。

連絡会議構成 川崎市内等12大学、専門学校代表3校、市民文化局、教育文化会館・市民館代表、川崎市生涯学習財団

連絡会議開催日 令和元年8月5日

ウ 施設整備・計画・調査・研究等

- ・市民館と図書館の民間活力の適正な活用方法については、教育委員会事務局職員による検討委員会を立ち上げ、現状把握、課題整理等を行った。
- ・社会教育委員会では「学びのサイクルと市民の活動」を視点に据え、協議がすすめられた。

エ 学校施設の有効活用

昭和39年から子どもの安全な遊び場の確保を目的に始まった学校施設開放事業(学校施設有効活用事業)であるが、近年は成人、高齢者等、様々な地域市民による生涯学習や市民活動の場として学校施設を有効活用していくことが求められている。

学校施設有効活用事業は、各学校に設置された学校施設開放運営委員会にその運営を委託し、校庭、体育館、特別教室の開放を行っており、平成26年1月からは、受益者負担の適正化のため、体育館の開放において使用料を徴収している。また、夜間校庭開放の受付・調整等については、各市民館等が行っている。

学校図書館の有効活用については、平成17年度から生涯学習推進課が所管課となり、市内学校図書館の開放及び図書の閲覧提供のサービスから、図書の貸出を含むサービスへ移行を図りながら実施をしてきた。

令和元年度は、図書の閲覧及び貸出のサービスを10校で実施した。

また、社会教育施設に準ずる機能・規模をもつ土橋小学校多目的ホール、犬蔵中学校格技室、生田中学校特別創作活動センター(平成18年度までは川崎市青少年創作センター)、はるひ野黒川地域交流センター(平成30年度から)の4つの学校施設を特別開放施設とし、有料で市民に広く開放を行っている。

さらに、特別教室の更なる活用を進めるため様々な実証実験を行うKawasaki教室シェアリング実施した。

学校施設有効活用事業の今後については、学校施設を市民の共有財産として、より多くの市民が幅広くかつ公平に学校施設を有効活用できるよう、推進していく必要がある。

(2) 生涯学習情報の収集・提供、学習相談への対応

平成5年から運用を開始した生涯学習情報システムを、平成11年度に「ふれあいネット(公共施設利用予約システム)」と統合し、現在は生涯学習財団のホームページ「かわさきの生涯学習情報」で情報検索することが可能となっている。

データの入力業務を生涯学習財団へ業務委託し、生涯学習財団の所有する豊富な人材情報や学習相談のノウハウを最大限に活用しながら、生涯学習情報の収集・提供事業を行っている。

令和元年度生涯学習情報収集・提供事業業務報告

項 目	合 計
指導者・人材登録件数	225 件
団体・グループ登録件数	230 件
相談件数	62 件
ホームページ情報更新回数	1,178 回
ホームページ閲覧件数	58,993 件
講座イベント入力件数	2,432 件

令和元年度 各登録件数等

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
指導者・人材登録累計	203	205	207	210	212	212
団体・グループ登録数累計	216	217	221	223	224	224
相談件数	7	4	12	6	6	4
ホームページ情報更新回数	84	78	122	96	73	71
ホームページ閲覧件数	4,369	5,713	5,794	5,571	4,819	3,888
講座イベント入力件数累計	211	405	648	910	1,139	1,338
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
指導者・人材登録累計	215	221	222	222	225	225
団体・グループ登録数累計	224	225	225	227	228	230
相談件数	4	5	4	5	3	2
ホームページ情報更新回数	103	138	77	75	144	117
ホームページ閲覧件数	4,580	4,095	4,120	4,594	5,704	5,746
講座イベント入力件数累計	1,566	1,781	1,966	2,163	2,283	2,432

(3) 市民学習・市民活動等支援事業の充実

教育文化会館・市民館・分館を中心に、市民の自主的な学習・活動の充実を図るため、3つの「基本方針」と6つの「事業の柱」に基づき、社会教育事業を推進した。

今後、市民自主学級・市民自主企画事業等、市民参画・協働を図る事業をさらに充実させていくために、事業実施方法の見直しや職員の研修、学習情報提供、相談業務の充実が課題となっている。

(4) 人権教育推進事業の充実

共生のまちづくりに向けて市民館で実施している識字学習活動や障がい者社会参加活動等の事業の充実のために、関係機関と連携した協議の場や、事業に携わるボランティアの交流や研修の場を開設した。

ア 地域日本語連絡会 12 回（月 1 回 定例会）

市内の識字・日本語学習活動に携わるボランティアや職員の情報・意見交換の場として実施した。ボランティアが中心となって運営を進める形が定着している。

イ 第 24 回地域日本語ネットワークのつどい

「出入国管理及び難民認定法の一部改正とやさしい日本語について」

日 時：令和元年 11 月 30 日（土） 会 場：高津市民館 大会議室

参加者：ボランティア、職員等 計 77 人

ウ 識字ボランティア研修

各館の活動状況に応じて、それぞれ入門研修及びブラッシュアップ研修を行った。

エ 障がい者ボランティア研修

障がい者の社会参加を進める観点から、「障がい者社会参加活動」に参加するボランティアの人権意識の向上、活動のあり方を考える機会として、単館または複数館合同による「障がい者ボランティア研修」を実施している。

平成 30 年度は全館合同により実施し、ボランティアと職員がともに学ぶ機会とした。

オ 男女平等推進

男女平等の推進に向けては、地域女性団体の自主的な活動を支援するとともに、川崎市男女平等推進行動計画などの動きとあわせて、関係局・機関・団体との連携強化を進めている。平成 23 年度から、男女共同参画センター

(すくらむ21)との連携を進めている。

(5) 家庭教育推進事業

子育てに関する身近な地域での学びの場の提供と子育て情報の収集・提供により家庭の教育力向上を図ることを目的に、市立小中学校のPTAや区のPTA協議会等で家庭教育学級を実施する際に講師派遣等の支援を行うとともに、各区において子育て広場の開設や、家庭教育に関する講演会などを行った。

今後は、区役所等関係機関や地域の子育て支援グループはもちろん、大学や企業等とも幅広く連携しながら、より参加しやすい家庭教育支援の場づくりを進め、地域全体での支援事業を展開していくことが求められている。

(6) 社会教育関係団体活動促進

ア 川崎市PTA連絡協議会

子どもたちを取り巻く様々な課題解決や教育環境の改善に向けて、主体的なPTA活動を推進するとともに、会員誰もが積極的に参加できるような雰囲気醸成に向け、その組織・運営のあり方や実施事業について適宜指導・助言を行った。今後は、共働き家庭の増加などのPTA活動の厳しい周辺状況も勘案しながら、さらに支援を強化していく必要がある。

イ 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会

横浜・横須賀・川崎の市立高等学校PTAで構成する協議会の研修支援を行った。

ウ 女性団体（川崎市地域女性連絡協議会）

女性の地位向上や社会参加促進等をめざして行われる様々な事業実施、研究活動等に対して助成・支援を行った。今後の課題としては、基盤となる役員体制の強化、会員数の拡大などのほか、様々な事業展開の中で組織としての有効性をいかに実践に活かしていくかが問われている。

(7) 地域教育活動の推進

51 中学校区及び7行政区において、「教育を語るつどい」・「子ども会議」の実施に加えて、学校支援や世代間交流、さらには地域の安全・安心に向けた取組など、各地域の実情と特性に応じた活動が積極的に展開された。

中学校区地域教育会議は家庭・学校・地域が連携して学校の支援、地域の子育て支援を行う組織であり、行政区地域教育会議は中学校区地域教育会議の支援と連携、地域における教育行政への意見反映、行政との協働を推進する組織として位置付けられる。令和元年度は、地域教育会議のこれまでの成果と活動を踏まえ、コミュニティスクールの拡充の動きに合わせて、川崎らしい地域学校協働本部の在り方について検討を行った。

また、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを行う文部科学省の地域学校協働活動として、7区に学校支援センターを設置し、地域人材による学校支援活動を推進した。

(8) 子どもの参加意見表明の場の拡充

「川崎市子どもの権利に関する条例」にもとづき、子どもの参加・意見表明の場としての第18期川崎市子ども会議を開催した。11人の子ども委員が25回の会議に参加し、諸活動を展開した。3月には市長へ一年間の活動報告を行った。また、各7行政区、51中学校区の子ども会議もそれぞれ市民館や学校などを会場にして会議、イベントや地域での活動などを行った。

12月に行われた「かわさき子どもの権利の日のつどい」に、川崎市子ども会議および4つの行政区子ども会議が参加し各自の活動の紹介を行った。どの子ども会議も、川崎市をさらによりよい町にするために日頃話し合っている内容や大切さを伝える機会とした。2月に行われた「かわさき子ども集会」では、各子ども会議の一年間の活動報告と、「川崎の前よかったこと、今よくなったこと」をテーマとしたフリートークなどを実施した。

(9) 地域の寺子屋事業の推進

地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートする仕組みづくりとして「地域の寺子屋」を市内55ヶ所へ拡充した。各寺子屋で平日週1回放課後の学習支援、土曜日等月1回の体験活動・世代間交流を行った。全小中学校への寺子屋の拡充に向けて、寺子屋先生やコーディネーターなど、寺子屋の活動を担う人材の確保が必要である。

(10) 社会教育職員研修

研 修 名	対 象	回数	内 容
初任者研修	社会教育職員（新任・未経験）	6回	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う 128人
指導・経営研修	社会教育職員（主任～課長・施設長）	1回	職場をまとめ、指導・補佐する職員や施設を運営する職員として必要な能力を養う 21人
生涯学習研修	社会教育職員・学校教職員・市民	2回	生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的能力を養う 42人
人権研修	社会教育職員・学校教職員・市民	2回	人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う 28人
課題研修	社会教育職員・学校教職員・市民	5回	社会教育における様々な課題について問題意識・専門性を高める 83人
自主グループ研修 (3グループ)	社会教育職員（原則として社会教育職務経験2年以上）	27回	社会教育職員がその専門的能力の向上を図るための自主的研修を支援する 173人
市民館基礎Ⅰ研修	教育文化会館・市民館職員 (新任・未経験)	6回	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う 47人
市民館基礎Ⅱ研修	教育文化会館・市民館職員 (事業担当2年目)	5回	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う 49人
図書館職員研修	図書館職員・学校図書館関係職員	4回	図書館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う（コロナウイルス感染拡大防止のため中止1回） 20人
博物館職員研修	博物館職員・学校教職員・市民	1回	博物館の役割や今日の課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う（コロナウイルス感染拡大防止のため中止1回） 0人
研修報告会	社会教育職員・社会教育関係委員他	1回	自主グループ研修の成果を発表し共有する 21人

昨今の人事異動で、社会教育初任者が増えている傾向にあり、様々な施設の職員間の情報交流時間を多く取り入れ、これからの業務などで連携が取れるように心がけた。

また、経験を積んだ職員を対象とし相互学習型の研修である自主グループ研修のテーマ設定については、今年度も振興部会の協力を得て設定することができた。そのような中でも、業務に直接つながる内容で、3つのグループが立ち上がり、『『これからのコミュニティ施策』を踏まえた市民館のあり方について』『市民協働事業を広報する市民向けリーフレットの作成』『今後の市民館・図書館のあり方』に関する基本的な考え方を踏まえた市民館・図書館事業の取り組みの可能性を探る（仮）』をテーマに、3グループで実施することができた。

さらに、「人権研修」では、「川崎市の男女共同参画について」「出入国管理及び難民認定法と川崎市の外国人施策について」「課題研修」では、社会教育施設での課題を探り、「学習指導要領改訂（社会に開かれた教育課程）」に伴い学校と社会教育施設との連携・協働の方向などを学ぶ研修を取り入れた。「指導・経営研修」では、「これからの社会教育・生涯学習の方向性を探る」というテーマで教育委員の大学教授による研修が実施できた。各研修の詳細については「社会教育職員研修報告書（川崎市社会教育情報 第33号）」に掲載している。

また、職員の専門性を高めるために、社会教育主事講習等の国や県等が開催する研修会に職員を派遣した。

ア 資格取得研修への派遣

- ・鶴見大学 図書館司書・司書補講習（1人）
- ・国立教育政策研究所 社会教育主事専門講座（1人）
社会教育主事講習B（2人）

イ 神奈川県教育委員会が実施する研修への派遣他

- ・生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」（10人）

ウ 事業担当者会議の開催

識字学習活動、障がい者社会参加学習活動、平和・人権学習、男女平等推進学習、家庭・地域教育学級、

保育関係事業、家庭教育推進事業・PTA活動研修、市民自主事業等、学習情報提供・学習相談事業・広報、市民エンパワーメント研修、シニアの社会参加支援事業

2. 文化財課

(1) 「川崎市文化財保護活用計画」に基づく取組の推進

市内の歴史・文化資源である文化財を生かした魅力あるまちづくりを推進するために策定した川崎市文化財保護活用計画に基づき「川崎市文化財保護活用計画推進会議」を開催し、関係部局間の情報共有を行った。また、平成 29 年度から運用している「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づき、第 2 回地域文化財として 68 件を決定し、顕彰した。

また、平成 28 年度に創設した文化財ボランティア登録制度に基づき、登録ボランティアの協力を得て、指定文化財等現地特別公開等の活用事業を実施することで、文化財の保存活用を担う市民ボランティアを育成した。

(2) 文化財の調査

市域の文化財に関する調査を実施している。令和元年度は、保存状況調査（彫刻・絵画）と市内民俗調査で計 3 人の文化財調査員が調査を行ったほか、川崎市域古文書所在調査団に委託し、多摩区の 1 ヶ所と麻生区の 1 ヶ所で古文書所在確認調査を行った。

建築行為及び開発行為等に伴う埋蔵文化財の照会・協議については、事前照会・相談業務約 2,602 件、届出 268 件であった。その内、試掘・確認調査を実施したもの 75 件、さらに本調査となったものが 14 件あった。本調査では、中原保育園改築工事に伴う小杉陣屋町遺跡の発掘調査、橘樹官衙遺跡群の内容確認調査 3 件、塚越古墳の内容確認調査 1 件を行った。

(3) 文化財の指定

令和元年度には、遊山慕仙詩碑を市の指定にした。

また、令和元年 12 月 5 日に旧原家住宅表門と旧原家住宅稲荷社が国登録有形文化財（建造物）となり、令和 2 年 3 月 10 日に二ヶ領用水が国登録記念物（遺跡関係）となった。

(4) 指定文化財の保存修理・史跡整備等

指定文化財を良好な状態で保存し、後世に伝えるため、妙楽寺所蔵の木造薬師如来両脇侍像の燻蒸事業及び菅獅子舞保存会のこども教室事業に補助金を交付した。

国史跡橘樹官衙遺跡群については、「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、短期計画第 1 期に着手した。

(5) 文化財の普及啓発

教育委員会では、平成 2 年度から所有者の協力を得て、指定文化財等現地特別公開事業を実施している。令和元年度は、泉澤寺の文化財公開を行った。また、関連講座を企画し、40 名の参加があった。

史跡・埋蔵文化財の調査成果や内容を市民が広く活用する機会を提供するため、様々な普及活動を実施した。史跡橘樹官衙遺跡群（平成 27 年 3 月 10 日指定）については、国史跡指定 5 周年記念事業として神奈川県遺跡調査・研究発表会、橘樹郡家跡第 30 次確認調査現地見学会・影向寺遺跡第 27 次確認調査現地見学会や史跡めぐり、影向寺縁日での古代衣装体験等を開催し、史跡の認知度向上に努めた。また、塚越古墳確認調査事業として塚越古墳第 6 次調査現地見学会を実施した。埋蔵文化財活用事業としては、学校への出前授業、橘ふるさと祭での土器パズル体験・パネル展示など地域の歴史を学ぶ機会を提供した。

文化財調査・研究の成果を『文化財調査集録』第 54 集、『平成 29・30 年度 川崎市埋蔵文化財年報』、『川崎市埋蔵文化財報告書第 12 集 野川中耕地遺跡』として刊行した。

(6) 地名資料室の活動

地名に関する図書・地図等を収集保存、公開する施設として、平成 8 年に高津区のとくのかわさき 4 階に設置された。地名に関する蔵書数は 6 万点以上、全国郡誌も 300 点を超える。地名散歩や地名塾といった公開講座に加え、小中学生を主な対象に「シールで学ぶ川崎の地名」事業・夏休み宿題相談を実施した。

3. 図書館・図書館分館

(1) 図書館利用

令和元年度の図書館全体の個人貸出冊数合計は、653 万冊（前年度比約 2 % 増）と増加した。11 年連続で 600 万冊を超えている。貸出人数についても 2 % 増の 283 万人となった。登録人数は一定期間利用のない登録を整理したことにより、合計で 1 万 6 千人減少した。また新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市立図書館を利用した実人数についてはやや減少傾向にあり、市立図書館全体では約 2 % 減となった。

予約受付冊数は 189 万冊（同 1.3 % 増）となり、予約・回送冊数も 264 万冊と 1.4 % 増となった。これは、市立図書館全蔵書数の 1.3 倍以上の資料が各館を巡っていることとなり、効率的、合理的に回転して利用されている状況を示している。

団体貸出の状況については前年度とほぼ変わらず、250 団体に、32,696 冊の貸出を行った。

(2) 市民の旺盛な資料・情報利用の意欲と関心の広さ

市立図書館のホームページはよりアクセシビリティに対応できるように、平成 31 年 3 月にリニューアルを行った。令和元年度のホームページのアクセス件数は 958 万件であり、資料検索ページへのアクセスは、212 万件となった。リニューアル前からアクセス数は減少したものの、予約・リクエスト件数が微増となっていることから、新しい機能としてお気に入り登録された本からの予約等も増えたものと考えられる。また、資料検索以外でのホームページからの情報利用の割合が顕著となり、図書館イベント情報など幅広く活用されていることが読み取れる。

現在はインターネットを通じて情報を得る状況が定着しつつあり、図書館ホームページからの情報提供は重要となっている。各館で実施している特集コーナーの情報などは、市民生活における調べものや調査研究的な用途・ニーズに対応できる図書館の特性を生かした情報提供となっている。個人の読書だけでなく、市民や地域の課題解決に役立つという役割が増え、それに見合った図書館のあり方がより一層求められている。

(3) ICT 化・デジタル化によるサービスの向上と図書館管理運営の効率化

川崎市立図書館では ICT 推進を重要施策の一つとして取り組んでおり、中原図書館では、平成 25 年 4 月の移転に伴い自動書庫、自動貸出機、自動予約棚、BDS（無断持ち出し防止装置）等を設置した。同年 9 月には、地区図書館全館にも自動貸出機や BDS を導入してサービス向上を図った。

自動貸出機の利用率は、自動予約棚のある中原図書館では 80 % 以上の利用となっているほか、川崎・幸図書館においても 35 % 以上の利用率があった。その他の館でも概ね 25 % 前後の利用があり昨年度より利用率は高くなっている。今後も ICT 化の推進により図書館運営の効率化を図っていく。

平成 30 年 9 月には、全館のシステム機器の更新を行い、中原図書館は 3 週間、他館は 2 週間休館した。

また、平成 30 年 3 月のスマートフォン専用ホームページの開設に続き、平成 31 年 3 月には図書館ホームページの全面リニューアルを行い、求める情報によりアクセスしやすい環境整備を行った。

この他、図書館資料のデジタルアーカイブ化などにも取り組んでおり、郷土関係資料を中心に一部の資料についてはホームページに掲載し広く利用に供している。

今後も資料デジタル化を推進するとともに、さらなる活用を図っていく。

(4) 「読書のまち・かわさき」の積極的な展開

平成 20 年度から「読書のまち・かわさき」事業の取組が一層広範になり、市立小中学校、大学、議会図書室、J 1 川崎フロンターレ、区役所、県立川崎図書館、商工会議所等との連携業務、図書のリユース、各種市民団体・機関等との連携等を積極的に展開している。

平成 30 年 3 月には「第 3 次読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」が策定され、計画に基づく取組を推進している。

市立小中学校との連携については、小中学校全校及び特別支援学校図書館が図書館総合システムにより運用されているほか、授業支援（関係資料の収集・提供）、調べもの学習、図書館見学、職業体験等の受入も積極的に実施している。さらに学校から要望の多いテーマに沿った資料をあらかじめ選書し、テーマご

とにセットにした「授業支援図書セット」の学校への団体貸出も行っている。

また総括学校司書、ボランティア研修への協力など、「読書のまち・かわさき」事業の推進のため、学校と市立図書館の連携を深めている。毎年各区で実施する学社連携会議においても、区内学校図書館への市立図書館の参画、連携強化が求められており、学校との協働をさらに深めていく必要がある。

川崎フロンターレとの連携事業は、今年度も「川崎フロンターレと本を読もう！」事業を関係団体、関係部署と協力して実施した。読書啓発リーフレット『キックオフ！“読書のまち かわさき” vol.11』や特製しおりの発行・配布、各館でのフロンターレコーナーの設置等を引き続き行った。さらに、子ども夢パークにおいて、「フロンターレ選手と本を楽しもう！」を開催し、絵本の読み聞かせやリフティングの披露など、川崎フロンターレと図書館による読書普及の連携事業を積極的に展開した。

令和元年度の読書普及講演会は、10月に中原市民館において、「案外知られていない翻訳の話」と題し、法政大学教授で翻訳家の金原瑞人氏による講演会を開催した。

大学連携については、これまでに協定を結んだ専修大学図書館、明治大学図書館、和光大学附属梅根記念図書・情報館、日本女子大学西生田図書館、日本映画大学と連携事業を推進した。その他、昭和音楽大学とは図書館イベント等を実施した。

他都市との利用協定については、稲城市、狛江市、町田市に続き平成29年2月から横浜市も利用できるようになった。利用協定締結後の実績としては、令和元年度に2,678人の川崎市民が横浜市民に登録し、約1万7千冊の利用があった（横浜市調べ）。今後も川崎市立図書館における横浜市民の利用状況の増などにも注視しつつ横浜市立図書館を含む利用協定自治体との円滑な連携を推進していく。

(5) 施設整備等

各図書館の長寿命化対策を計画的に進めているが、令和元年度においては、高津図書館でエレベーターや空調設備、受変電設備の改修工事等を実施し、麻生図書館においてはエレベーター改修を行うなど、各館において必要な長寿命化に係る整備を進めた。

宮前区役所・市民館とともに鷺沼駅前に移転・整備される新しい宮前図書館については、平成31年3月に策定された「鷺沼駅周辺再整備に伴う公共機能に関する基本方針」に基づき、機能検討等について関係者等との協働を進め、令和2年2月には「新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方」が公表された。

「市民の力で成長し続ける、宮前区らしいスタイルの市民館・図書館 ～ 多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ・生活・文化・教養を創発し、地域への愛着を育む場づくりをめざして～」を基本理念として、新しい宮前図書館は令和7年度または令和8年度の供用開始を目指すことになった。

(6) その他

- ・新刊図書資料の購入については、引き続き中原図書館で集中選定を実施した。割引率入札による有利な価格での資料購入や市全体での複本購入冊数の調整などを行い、限られた予算の中でタイトル数の確保など効率的な執行に努めた。
- ・ボランティアグループとの協働でおはなし会等、各館で特色のあるイベントを開催した。
- ・川崎市立図書館ホームページ、図書館だより、新着図書案内、市政だよりなどで積極的に広報を行った。
- ・各種ブックリストの発行等を行った。
- ・寄贈図書や図書館の除籍図書等のリユース、リサイクルを全館で継続して実施した。
- ・職員の専門性向上に向け、図書館職員研修を主催するとともに、関係機関等の研修への職員派遣を実施した。
- ・令和元年度から「今後の市立図書館のあり方」についての検討が開始され、市民ニーズ等を的確に捉えるため、8月～9月に各館において利用者アンケート、12月にはアイデアミーティング（意見交換会）を実施した。
- ・令和2年2月に「今後の市民館・図書館のあり方に関する基本的な考え方」が公表され、「行きたくなる」「まちに飛び出す」「地域のチカラを育む」市民館・図書館を目指す方向性が示された。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月末から各館でお話し会等のイベントを順次自粛するとともに、3月2日からは閲覧席利用や新聞・雑誌の最新号の閲覧を停止するなど、図書館サービスの一部を制限した（貸出・返却・予約等の利用は可能）。なお、令和2年4月11日から5月26日までは、緊急事態宣言に基づく臨時休館を行った。

4. 教育文化会館・市民館（幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）・

分館（大師・田島・日吉・橘・菅生・岡上）

本市における社会教育振興事業は、生涯学習推進課と社会教育施設の役割分担を明確にしながら、教育文化会館・市民館・分館等の社会教育施設を中心に展開している。

教育文化会館・市民館・分館では平成 15 年度から新たな事業体系の構築に取り組み、社会や地域の課題の解決に向けた「学びの場づくり」に市民が直接参加していく仕組みを強化することにより、市民と市民、市民と職員との協働によって各種事業を展開し、新たな公共性の創出に寄与することをめざしてきた。このことに伴い開始した市民自主学級、市民自主企画事業は、今日では市民と行政が協働で行う市民館事業として定着し、幅広い展開を見せている。

また、平成 19 年度には「教育文化会館・市民館・分館 社会教育振興事業検証・検討委員会」を設置し、これまでの課題を整理すると共に、時代の要請に柔軟に対応できる事業体系のあり方について検討を進め、平成 20 年度から、3 つの基本方針と 6 つの事業の柱に基いて、事業展開を図っているところである。

今日では、自然災害や社会経済の様々な変化を受け、地域での絆づくりと市民が主体的に地域社会の創造に寄与していくための社会教育事業を展開していくことが求められている。

(1) 令和元年度の事業実施状況

事業名		実施館	事業数
推進学習事業 社会参加・共生	識字学習活動	教文・6 市民館	13 事業
	識字ボランティア研修	教文・6 市民館	15 事業
	社会人学級	生涯学習プラザ	1 事業
	障がい者社会参加学習活動	教文・6 市民館	7 事業
	障がい者ボランティア研修	全市	1 事業
市民自治基礎学習事業	平和・人権学習	教文・6 市民館	13 事業
	男女平等推進学習	教文・6 市民館・菅生分館	12 事業
	家庭・地域教育学級	全館	23 事業
	市民館保育活動	全館	47 事業
	保育ボランティア研修	5 市民館	6 事業
	家庭教育推進事業 （PTA 家庭教育学級、子育て支援啓発事業、家庭教育支援講座）	教文・6 市民館	
市民学習・市民活動 活性化学習事業	市民自主学級	全館	19 事業
	市民自主企画事業	全館	24 事業
	市民エンパワーメント研修	全館	14 事業
	PTA 活動研修	教文・6 市民館	7 事業
	生涯学習交流集会	5 市民館・3 分館	8 事業
	表現・舞台活動支援事業	2 市民館	2 事業
	学習情報提供・学習相談事業	全館	
市民・行政協働・ネットワーク学習事業	地域教育会議	教文・6 市民館	
	課題別連携事業	教文・6 市民館・4 分館	30 事業
	地域学習・文化団体連携推進事業	全館	
	生涯学習推進会議	教文・5 市民館	
現代的課題対応学習事業	シニアの社会参加支援事業（入門コース）	全館	18 事業
	シニアの社会参加支援事業（活動コース）	教文・6 市民館	7 事業
	地域コミュニティ交流・学習事業	2 市民館・1 分館	6 事業

教育文化会館・市民館学習環境整備事業	社会教育委員会議専門部会	教文・6 市民館
	刊行・広報活動	全館
	視聴覚ライブラリー事業	教文・6 市民館

(2) 評価と課題

ア 「社会参加」の機会の拡充と共生社会の創造

教育文化会館・市民館・分館では識字学習活動や障がい者社会参加学習活動などを通じて社会参加の機会を得にくい外国人市民や障がい者等の参加や学習の機会を提供してきた。事業の実施に当たってはボランティア研修などを開設しながら、地域のボランティアとの協働を推進し、あらゆる市民が地域で共に生きる社会の創造を目指してきたところである。

一方で、地域におけるシニア世代（団塊の世代等）の活用という課題が、社会的・行政的に大きくなっている中で、教育文化会館・市民館・分館では、シニア世代の地域参加を支援する事業を行ってきた。

市民自治の推進を目指して、今後も、年齢や性別、人種に関わらず、様々な市民が市民生活を営む上で必要な力を養う機会を提供し、社会参加を促進していく必要がある。

イ 「市民参画」「市民協働」の機会の拡充

市民自主学級や市民自主企画事業などを中心に社会や地域の課題解決をめざした学びの場づくりに、市民が直接参画していく仕組みを強化し、市民主体の社会教育・生涯学習の振興を図ってきた。また、市民館主催の事業においても、企画委員やボランティアといった形で市民の参画を進めてきた。さらに、一つ一つの学級講座についても、参加者同士の話し合いの場面や、参加者に講座運営に協力いただく場面などを積極的に仕掛け、参加者がより主体的に参加・参画できるよう運営していくことについて、職員研修等を行ってきた。今後も、市民が担い手となり市民同士の学び合いの場を創ることを通して、新しい公共性の確立や自主的な市民学習グループの力量形成を図るとともに、関係機関と連携して学んだ成果を地域で活かしていく仕組みづくりを進めていく必要がある。

ウ 市民の学習を支援する学習情報提供・学習相談事業の充実

地域から公共性のある「学びの市民提案」が常に生まれてくるためには、市民の気付きや思いを学習活動につなげていくための支援が求められている。また、行政区の生涯学習をコーディネートし、市民のネットワークをつくりあげていくためには、生涯学習に関する情報を収集し、提供する環境の整備が必要である。

このような考えのもと、教育文化会館・市民館における学習情報提供・学習相談事業の充実に向けて、「情報・相談コーナー」等の整備や、相談員（ナビゲーター）の養成などの取り組みを進めてきた。

今後も、全市的な生涯学習情報提供のあり方と、生涯学習財団等他の施設との連携による効果的な事業展開について引き続き検討を進めていく必要がある。

エ 家庭教育の充実

子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関連した家庭や地域の課題を学習する機会を身近な地域の中で提供し、親として市民としての学びや、保護者同士の交流、学校・家庭・地域の連携を推進してきた。

子どもや保護者を取り巻く地域社会の環境は大きく変化し続けており、家庭教育の重要性を広く啓発することがますます必要である。引き続き、様々な事業を通して、家庭教育を充実させると同時に、家庭と地域との係わりを深めることができる学びの場を提供していく必要がある。

5. ふれあい館（社会教育関連施設）

ふれあい館は、地域に暮らす外国人と日本人が、市民として子どもからお年寄りまで相互のふれあいをすすめることを目的として設置された施設である。

基本的人権尊重の精神に基づき、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していくことを目的として各社会教育事業を実施した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を全部又は一部中止したものについては、期日欄に当初予定されていた日程を（ ）で表記している。

令和元年度事業報告

事業名		主題・テーマ	期 日		参加者数
社会参加・共生推進事業	識字学習活動	識字学級 外国人市民等と日常生活に必要な会話、読み書きを学びながら、共同学習者と交流を図る。	4/9～（3/17） 毎週火・金	76 回	2, 213 人
	多文化交流学級	多文化料理講座	7/11～（3/17）	4 回	35 人
		外国人市民とともに考える防災フォーラム	11/29	1 回	34 人
		ブンムルノリ（韓国・朝鮮の伝統舞踊行列）で交流	11/17	1 回	85 人
		多文化ワークショップ ダンス×ラップ	12/15	1 回	25 人
	家庭教育学級	こどもと楽しむ、こどもから学ぶ	1/25～（3/7）	4 回	70 人
		外国につながる家族のための入学サポート	2/21、25、28	3 回	28 人
	世代間交流学級	「想い」を作品にして発表しよう	1/15～2/26	6 回	101 人
	母国語学級	こどもたちの文化的背景を尊重し、母文化を学ぶことを通じ、仲間作りを行う	4/3～（3/4） 隔週水曜日	41 回	468 人
	ハングル基礎講座	初めて学ぶ人のためのハングル講座Ⅰ	5/13～7/22	10 回	130 人
		初めて学ぶ人のためのハングル講座Ⅱ	9/30～12/16	10 回	90 人
		初めて学ぶ人のためのハングル講座Ⅲ	1/20～（3/30）	5 回	60 人
	民族文化講座	チャンゴ（太鼓）講座Ⅰ	10/27～11/10	5 回	25 人
		チャンゴ（太鼓）講座Ⅱ	1/24～2/21	5 回	29 人
		カヤグム講座Ⅰ	10/16～11/13	5 回	15 人
		カヤグム講座Ⅱ	1/22～2/19	5 回	13 人
市民自治基礎学習事業	人権尊重学級	誰もが力いっぱい生きるために	12/13～1/24	4 回	221 人
		誰もが暮らしやすい社会のために	（3/6～3/28）	-回	-人
	ボランティア養成講座	識字日本語ボランティア入門研修	5/9～6/6	5 回	93 人
		識字日本語ボランティアブラッシュアップ研修	（3/24、27）	-回	-人
	社会教育研究集会	ふれあいフェスタ（講座受講者の発表交流会）	2/23		150 人
	啓発活動・講演会	在日朝鮮人集落ウトロの事例から誰もが安心して暮らせ街づくりを考える	9/21		28 人
		「共生」を求めて－在日とともに歩んだ半世紀	（3/14）		-人
	広報紙の発行	館だよりとして毎月発行			
	運営協議会の開催	地域団体、町内、学校、行政関係者、学識者により館運営について協議	6/28、11/29		2 回

6. 視聴覚センター（総合教育センター内）

総合教育センター内にある「視聴覚センター」は教育文化会館・各市民館にある「視聴覚ライブラリー」と連携しながら、市民の学習活動・市民活動の支援のため、視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオテープ、DVD等）や視聴覚機材（16ミリ映写機、プロジェクター等）を貸出している。

また、教材購入については、平和・人権・環境等を主題とした平和教育視聴覚教材の整備に努めている。市民の視聴覚（映像）活用を促進するため、わが町かわさき映像創作展を開催している。

(1) 視聴覚教材・機材の貸出し

視聴覚センターは主に視聴覚教材を保有し、視聴覚ライブラリーは主に機材を保有している。教材については視聴覚センターで予約を受け付け、毎週水・金曜日の午前中に集配便を運行し、教育文化会館及び各市民館の視聴覚ライブラリーを貸出しと返却の窓口になっている。また機材については、視聴覚ライブラリーで、受付・貸出し業務を行なっている。

ア 貸出用視聴覚教材・機材保有数

教材・教材名	保有数
DVD	337 本
ビデオテープ	3,755 本
16ミリフィルム	968 本
8ミリフィルム	14 本
スライドフィルム	142 本
レーザーディスク	8 枚
TP シート	8 枚
展示用パネル	36 枚
CD-ROM	15 枚

(令和元年度末)

イ 機材・教材貸出し状況（センターからの発送件数）

施設名	貸出件数
教育文化会館	67 件
幸市民館	35 件
中原市民館	70 件
高津市民館	77 件
宮前市民館	42 件
多摩市民館	28 件
麻生市民館	9 件
合計	328 件

(2) 平和教育推進事業

教育基本法の理念に基づき、平和・環境・人権教育等に関する映像教材の整備収集を行い、広く市民の利用に供した。

(3) 第37回わが町かわさき映像創作展

市民及び児童・生徒の創造的な映像創作活動を通して、日常生活のなかに映像文化を位置づけることを目的とし、川崎を様々な視野から記録したり、自由なテーマで制作した作品を募り、審査の上で入賞作品を決定した。入賞した作品は、視聴覚センターで貸出しをしている。

第 37 回わが町かわさき映像創作展 受賞作品一覧

賞	作 品 名	制 作 者
グランプリ	見えない魔法使い	野川中学校 映像制作部 3 年生 B
金 賞	なんでいじめが起きるのかな？	下布田小学校 ふだっこ放送局
銀 賞	「さいわい」の秘密	幸高等学校 放送委員会
〃	聾学校について	野川中学校 映像制作部 2 年生
優秀賞	私たちをつくる掃除	野川中学校 映像制作部 3 年生 A
〃	大島わくわくアニマル	大島小学校 令和元年度飼育委員会
〃	くまくんとうさぎちゃんの久末小探検	久末小学校 放送委員会チーム「ちーあい」
〃	令有ニュース～有馬小の裏側を見せちゃいました スペシャル～	有馬小学校 放送委員会
奨励賞	学校紹介ビデオ	高津高等学校 視聴覚委員会
〃	みんなのテレビ特別編～災害に負けない～	井田中学校 放送情報部
〃	校内テレビ放送「西テレ」	西御幸小学校 放送委員会
〃	放送委員会紹介	久末小学校 放送委員会 5 組グループ

7. 博物館・文化施設

日本民家園、青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）、市民ミュージアム、岡本太郎美術館は、平成 18 年度から財団法人川崎市生涯学習財団への管理運営の委託を廃止し直営とした。大山街道ふるさと館は、平成 18 年度から指定管理者制度を導入した。各博物館は、それぞれに特色ある博物館活動を実践し、施設の魅力向上に向けた取組を続けている。平成 22 年度に市民ミュージアムと岡本太郎美術館は市民・こども局（平成 28 年度より市民文化局）へ、大山街道ふるさと館は高津区役所へ移管されたが引き続き連携体制を組んでいる。生田緑地の 3 施設については、学芸業務を直営とする一方で、緑地全体の効率的運営を図るため、平成 25 年度から管理運営業務について指定管理者制度を導入しており、市民ミュージアムでは平成 29 年度から指定管理者制度を導入した。

(1) 日本民家園

日本民家園では、前期企画展「おこさまのくらし-岡上の養蚕信仰-」として、川崎市地域文化財顕彰制度に民家園で収蔵する蚕影山祠堂関係資料一式が決定されたことを記念し、岡上地区で伝承されてきた養蚕にまつわる信仰を紹介するとともに、古民家の中で蚕の飼育を行い、より具体的に昔の暮らしに触れる展示を行った。後期企画展「うんことくらし-便所から肥やしまで-」では、暮らしに欠かすことのできない便所に焦点をあて、肥やしの利用方法などについて紹介した。展示のなかでは「おしりふきの道具」など、子どもにも親しみやすいハンズオンコーナーを設置した。

年中行事展示は月替わりで節句・盆行事・収穫祝い・雪囲い等を行った。また、民家園講座・体験講座の開催、古民家等を活用した人形浄瑠璃・農村歌舞伎の上演や「夜の民家園」などの催しの他、古民家の旧所在地交流事業を実施した。

保存修理では、旧山下家住宅の耐震補強工事・屋根補修工事の着手、旧広瀬家住宅屋根補修工事、その他補修工事等を行った。

また、施設整備としては、老朽化の著しい部分の園路整備工事を実施するとともに、古民家のより良い保全にむけ、排水計画や園内樹木の毎木調査を行い、樹木の管理計画の策定を行った。

今後も引き続き、日本民家園部会から指導助言を得ながら文化財建造物維持管理、耐震補強、収蔵資料整理、展示や教育普及活動の充実、炉端の会による床上公開・園内案内・諸活動の充実、学校との連携、広報活動の拡充等、指定管理者との密接な連携を図り、来園者サービスの向上や施設整備等に努めていく。

また、長期の運営基本計画の策定に向け、骨子を作成する。

(2) 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）

当館においては、平成 24 年 4 月のリニューアルオープン以降、一新された施設・設備、プラネタリウム、常設展示等を活用しながら、自然・天文・科学に関する取組の充実を図っている。

館の運営については、青少年科学館運営基本計画及び年度間計画により、市直営で博物館事業を実施するとともに、指定管理者による管理運営・広報業務と連携して円滑な運営を図った。

博物館事業については、自然、天文、科学の各分野において、次のとおり実施した。

展示事業では、企画展として「かわさき生き物マップ～みんなで見つけた生き物たち」「かわさきの野鳥たち」を川崎市環境局やかわさき自然調査団と連携して開催した。天文では最新鋭の投影システムを活かし、一般投影のほか子ども向け、シニア向け等多彩な番組によるプラネタリウム投影を実施し、約 9 万 5 千人の観覧者を迎えた。また、教育普及事業では、自然では「生田緑地観察会」、「バックヤードツアー」、「生きもの教室」、天文では夜間天体観測会「星を見る夕べ」、「プラネタリウムワークショップ」、科学では「サイエンスワークショップ」、「わくわく！科学実験教室」等の観察会、体験学習事業を幅広い年代向けに実施し、多くの参加者を迎えた。ネットワーク事業では、指定管理者及び地域関係団体との連携による「生田緑地サマーミュージアム」、「多摩区民祭」等に参加するとともに、日本民家園との連携による「七夕体験」「お月見デー」を実施した。調査研究事業では、川崎市環境局、川崎市公園緑地協会と協働で市内に生息するセミの抜け殻、鳴き声調査を実施した。また、市民を対象とした生物多様性に対する意識調査等を実施した。収集保存事業では、昆虫や植物を中心に自然史資料（標本）の登録や配架、電子台帳の整備を行うとともに、情報機関へのデータ提供・公開を行った。学校との連携・学習支援として、プラネタリウムの学習投影、地層観察等のほか、「21 世紀子ども

サイエンス事業」による出前科学実験教室等を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館では2月末から教育普及事業を中止、触れる展示を休止するとともに、3月7日からプラネタリウム投影を休止した。

今後に向けては、指定管理者との連携強化による運営体制のさらなる円滑化、広報活動の充実を図るとともに、引き続き職員の専門性確保等に配慮しながら取組を推進する。また、令和3年度の開館50周年に伴う記念事業の実施に向けた準備を進める。

(3) 市民ミュージアム

令和元年度は、企画展示室で「ZooとArt ^{ずーつ あーと} 色とカタチのどうぶつ展」、「岩合光昭写真展 ねこづくし」、「なばたとしたか こびとづかんの世界」展、「妖怪／ヒト ファンタジーからリアルへ」展、「のらくろであります！

田河水泡と子供マンガのZooとArt ^{ずーつ あーと}」を開催し、また「MOA美術館 川崎市児童作品展」を行い、東日本台風による被災のため開催場所をミュゼ川崎シンフォニーホールに変更し「第53回 かわさき市美術展」を開催した。

アートギャラリーでは、「コレクション展 田名網敬一の楽園 空中回廊」、「昔のくらしと家庭の道具 2019」などを開催した。

映像ホールでは、「ポーランド映画祭 in Kawasaki」、「こどもシネマ（春）」、企画展「岩合光昭写真展 ねこづくし」関連上映、「岩波映画製作所出身の監督たち」、「世界映画紀行 東南アジア編」、「独立プロが描く平和への願い」、「こどもシネマ（夏）」、「現代音楽と日本映画の交差点 1950s-70s」を開催した。

ミニホールでは、「日本映画傑作選」（テーマ「日本映画で観る昭和の文芸佳作」）を8月まで毎月1回開催した。教育普及事業としては、「社会科教育推進事業」や、「博物館・美術館・総合学習プログラム」、学芸員が学校に出向いて授業を行う「出張プログラム」、「職業体験」などのスクールプログラムを実施したほか、子育て支援として「ママカフェ&わいわい読み聞かせ」や「ベビーカーツアー」を実施した。

また、逍遥展示空間では「糸の森の音楽会」、「動物の謝肉祭 ピアノデュオ・パリ・プラハ(PPP)」、「なつやすみ こどもおんがくかい」などのコンサート、「星たまごープラネタリウムでお星さまを見てみようー」などのイベントを行い、映像ホールでは「木原浩勝 怪談トークショー」、「のらくろ・アニメーション・マニアックス講座」、東日本台風により浸水被災を受けた収蔵品の応急処置、施設の復旧等を行った。

令和元年度の入館者数は、177,284人であった。

(4) 岡本太郎美術館

開館20周年を迎えた岡本太郎美術館の平成31(令和元)年度の展覧会事業は、企画展では、「岡本太郎と日本の伝統」展、「岡本太郎美術館20周年記念展 これまでの企画展みんな見せます！ 前期「岡本太郎 縄文から現代へ」展、「岡本太郎美術館20周年記念展 これまでの企画展みんな見せます！ 後期「芸術と社会 現代の作家たち」展、「第23回岡本太郎現代芸術賞」展など、さまざまな視点で岡本太郎、ならびに関連する作家や作品を紹介する展覧会を開催した。

「岡本太郎と日本の伝統」展では、岡本太郎の著書『日本の伝統』を中心に、岡本による写真作品を通して、「伝統」とは何かを再考する機会となることを願って開催した。

また、「岡本太郎美術館20周年記念展 これまでの企画展みんな見せます！ 前期「岡本太郎 縄文から現代へ」・後期「芸術と社会 現代の作家たち」展では、平成11年の開館以来約60回開催してきた企画展を振り返り展覧会を象徴する代表的な作品や資料を抽出し前期と後期に分けて開催した。

「第23回岡本太郎現代芸術賞」展では、応募総数452点の中から、23名(組)の入選作品が決定し、21世紀における芸術の新しい可能性を探る意欲的な作品を展示した。

次に、常設展では、「開運 岡本“福”太郎」展、「岡本太郎“聖家族”」展の2つの展覧会を開催し、さまざまな角度から多様な岡本太郎の芸術を紹介した。

企画展、常設展ともに来館者の立場に立ち、解説パネルや映像を使ってわかりやすく作品を展示し、年齢を超えて広く岡本太郎芸術を伝えるように努めた。

普及事業としては、学校団体の鑑賞教育や、職業体験プログラム、ワークショップの開催など、幅広い普及事業を展開した。

また、企画展にあわせギャラリートークやイベント等を、年間を通じて開催し、岡本太郎と岡本太郎美術館の魅力を発信した。

令和元年度の入館者数は、69,137 人であった。

(5) 大山街道ふるさと館

博物館事業では、「大山街道―二子・溝口宿―ふるさとの歴史・民俗・生活展」を常設展示するとともに、企画展を4回、第1回：市民参加の作品展「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」第2回：「上田文書から見たふるさと高津の幕末・明治維新」第3回：「昭和初期の二子・溝口～岡本かの子・濱田庄司とふるさと高津」第4回：「地域が創出するカルチャー展～趣味が創り出す美と感動の世界～」を開催し、第2回第3回の企画展では企画展記念講演会を開催した。さらに、ミニ企画展として7回(大山街道の宿場めぐり展2回、切り絵展を3回、公募によるミニ市民ギャラリーを2回)開催した。

歴史文化探究事業では、ふるさと探究講座を3回「溝口・上田家の醤油製造」「東京の大山街道」「横浜の大山街道」を、また、街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」を6回開催(鷺沼～海老名)、ふるさとまち歩き講座「高津のまちを歩きませんか」を年2回(「子母口・千年を歩く」、「久本・新作を歩く」)開催した。こども大山街道探検クラブは18名の会員で、大山街道沿いの歴史的史跡を歩いて調べたり、二ヶ領用水の清掃活動や昔遊び、あゆの絵付けなどの体験活動、川崎信用金庫高津支店訪問など年間に渡る学習体験活動を実施した。また、ふるさと館近隣の5つの小学校3年生対象に「ふるさと子ども出前授業」を行い、郷土の学習を支援した。

地域活性化事業では、「春のふるさと館まつり」を5月に開催、「秋のふるさと館まつり」を大山街道ふるさと館サポーターズクラブと連携し11月に開催し、それぞれ地域の方々が多数来館し賑わった。また、高津区民祭では、当館を本部会場として、ピロティ、イベントホール、会議室等を提供、2月の「冬のふるさと館まつり」は、大山街道アクションフォーラム等のご協力により、ダンスや食、ワークショップ、こども縁日など多彩な内容で実施し、3,980名もの参加者があり、盛況であった。まちのマイスター体験講座は2回開催(写真・日本酒)し、地域の特色ある商店の方から、プロの知識や技術を学んだ。また、ぶらり散歩「二子散策と老舗料亭「やよい」でお茶を飲みませんか」を開催した。今年度新規事業として、川崎ウォーキング協会と連携し本市唯一のウォーキングステーションを開設し、参加者は、年間で1,756名となった。

なお、令和元年度の総利用者数は、69,222人で前年度を3,567人上回った。3月に新型コロナウイルスの影響で大幅減となったが、年間を通じて利用者が伸びた結果となった。また、貸館の各室の稼働率はいずれも前年度を上回った。

8. 公益財団法人川崎市生涯学習財団

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民のライフステージに対応した生涯学習を推進するため、関連施設との連携を図りつつ、市民の主体的な学習文化活動を側面から支援することを目的として、平成2年5月に設立認可を受け、麻生区新百合ヶ丘のトウエンティワンビルに本部事務所を設置し、各種学習文化事業及びトウエンティワンビル内の多目的ホール等の施設提供事業を開始した。また、平成10年10月に中原区の川崎市生涯学習プラザへ本部事務所を移し、同年12月より各種学習文化事業及び生涯学習プラザの施設提供事業を開始した。

平成23年度からは「かわさき市民アカデミー」の運営をNPO法人かわさき市民アカデミーに移管したが、当財団は広報と会場確保の役割を担い、引き続き協働事業として推進している。また、夏休みには、青少年の校外活動の場としての青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ）や、小学生を対象とした体験学習等を取り入れた目的としたキッズセミナーを開催するなど多様な事業を実施している。情報誌「ステージアップ」を発行しているほか、ホームページでも生涯学習情報を提供している。また、指定管理2施設の管理運営を行った。

令和元事業報告

事業名	内 容
学習機会提供事業	1 かわさき市民アカデミー協働事業 【開催時期】 4月～7月、10月～2月 【対象】 18歳以上 【講座】 講座・ワークショップ109講座（NPO法人かわさき市民アカデミーが運営） 受講者数延べ7,217人 かわさき市民アカデミーフェスタ受講者数延べ1,113人 【会場確保】 ・生涯学習プラザ施設提供 944件 ・生涯学習関係施設確保 92件 ・新百合トウエンティワンホール施設確保 120件
	2 青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ） 【時期】 夏季休業期間 【対象者】 市内在住・在学の小学校5年生～中学生2年生 【参加者数】 ・北海道中標津町 3泊4日 12人 ・岩手県花巻市 3泊4日 16人 ・長野県富士見町 3泊4日 32人 ・和歌山県古座川町・太地町 3泊4日 26人 ・島根県益田市 3泊4日 20人 ・宮城県涌谷町 2泊3日 11人 計117人 ・友好自治体の青少年受入 和歌山県古座川町受入 2泊3日 3人
	3 キッズセミナー 【時期】 夏季休業期間 【内容】 基礎的、復習的な学習、科学的思考を働かせて学ぶ学習、創意工夫しながら学ぶ 23講座 【対象者】 市内在住の小学校3～6年生 【受講者数（延べ）】 813人
	4 子ども陶芸教室 【時期】 夏季休業期間 【対象者】 市内在住の小学校5年生から中学校2年生 【参加者数】 23人
	5 施設提供事業 生涯学習プラザ施設 利用件数7,158件

生涯学習活動支援事業	1 シニア活動支援事業 ・シニア活動支援講座（市民アカデミー地域協働講座） 10 講座 受講者数延べ 453 人 2 生涯学習ボランティアの養成・派遣 ・生涯学習ボランティア養成 2 講座 修了者 25 人 ・生涯学習ボランティア派遣（小学校 P C 活用授業、特別支援教育、保育、環境学習、陶芸） 派遣延べ人数 2, 131 人 3 シニア活動講演会 参加者 117 人
生涯学習情報事業	1 生涯学習情報の収集並びに学習相談の実施 2 ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信 ・ホームページ更新回数 1, 178 回 web 閲覧回数 年間 58, 993 回 ・「ステージアップ」年 6 回 各 9, 500 部 ・「メールマガジン」年 12 回 241 件（発信件数） 3 情報提供 指導者人材、団体・グループ情報の収集と活用
施設運営管理受託事業	1 指定管理施設 子ども夢パーク、大山街道ふるさと館 2 受託事業 ・生涯学習情報収集・提供事業業務 入力件数 2, 432 件 ・寺子屋先生養成講座 8 期 延べ参加人数 461 人 ・社会人学級業務 2 教科各 15 回 受講者数（国語）26 人（数学）17 人
体験講座・研修事業	1 生涯スポーツ関連講座 ・スポーツ教室 エアロビクス、ヨーガ、気功太極拳、ストレッチ健康体操 他 全 16 教室 受講者数延べ 13, 608 人 2 文化・生活関連講座 ・文化教室 落語入門、切り絵教室、写真教室 他 全 19 教室 受講者数延べ 1, 377 人 ・陶芸教室 陶芸教室 受講者数延べ 1, 776 人 陶芸「一般開放」教室 参加者数延べ 2, 052 人 初心者陶芸教室 参加者数延べ 185 人 3 その他 子ども向け P C 教室「はじめてのスクラッチ」 参加者数 17 人 4 こども文化センター・わくわくプラザ職員研修業務（受託事業） ・「地域とのマネジメント」他 ・講座数 15 回 受講者数延べ 2, 032 人

9. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）

生涯学習支援施設として、幼年者から高齢者の各世代が「集い、学ぶ、楽しむ」をキーワードに利用する施設として定着している。

事業目的は、貸室運営、図書業務、市民活動支援等を通じて地域を活性化することである。3年目を迎えた「こども食堂」は、月2回の開催で902人の利用があり、地域の親子の居場所として、またボランティア育成事業として定着している。一方今年度は高齢者の参加も可能とし、多世代交流の推進を行った。今後は、地域社会の変化に対応した、新鮮味のある事業を実施する。

地域図書室については、クラウド型図書システムを導入し、利用者のサービスの充実を図った。

生涯学習支援事業の実績（合計67事業、コロナウイルス感染拡大防止の観点より3事業の設定を中止）

- ・特別イベント（開設10周年記念事業）
- ・イベント（音楽コンサート4回、子どもフェスタ、作品展示等）
- ・主催事業（健康関係、子育て支援、教養・趣味の拡大、料理教室関係等）
- ・市民活動育成事業（こども食堂、お喋りサロン、アリーノ土曜学校、レコードを聴く会等）
- ・市民活動支援事業（朗読サロン、歌と遊びのおはなし会、お茶の間会、シニアリトミック等）

10. 市民スポーツ室

日常生活における運動不足と健康志向の増大、都市化によるコミュニケーションの欠如と地域における人間性の回復など、現代社会に生きる私たちには様々な課題があり、これらの要求に応えてくれるものとしてスポーツ・レクリエーション活動が有効かつ重要であると認識されている。

市民が日常生活の中で、自主的、自発的、継続的にスポーツ・レクリエーション活動を実践できるよう、諸条件の整備を図るとともに、健康で明るい市民生活を営めるよう、施策の整備を図ることが必要である。

(1) スポーツ活動の普及・推進

地域におけるスポーツ活動の推進として、スポーツ推進委員、公益財団法人川崎市スポーツ協会、川崎市レクリエーション連盟等の協力を得ながら、各種スポーツ教室、スポーツ・レクリエーション事業を開催し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の実践に努めた。

また、市民を対象とした各種スポーツ大会を開催し、競技力の向上と市民スポーツの推進を図った。

(2) 障害者スポーツの推進

障害のあるなしに関わらずスポーツができる社会の実現を目指し、川崎市障害者スポーツ協会や関係団体と連携し、スポーツ教室や体験講座、総合スポーツ大会等を開催し、障害者スポーツの推進に努めた。併せて、障害者が利用しやすいスポーツ環境の整備や障害者スポーツ活動を支える指導員の育成と資質向上を図った。

(3) ホームタウンスポーツの推進

かわさきスポーツパートナー等と連携し、小中学生への実技指導やホームゲームへの市民招待等の実施により、選手等とふれあうことによるスポーツを身近に感じることへのきっかけづくり、スポーツの機会の拡充や、スポーツを通じた市の魅力発信につながる取組を進めた。

(4) 総合型地域スポーツクラブの設立・育成

「誰もが、いつでもスポーツを楽しめる環境の整備」を目的とし、生涯スポーツ推進の観点からスポーツ活動の機会充実を図るため、「健康づくり」「人づくり」「仲間づくり」「地域づくり」を理念とした総合型地域スポーツクラブの育成支援するとともに、クラブ間のネットワークを形成し、連携体制の強化を行った。

令和元年度においては、既存クラブが11クラブとなっている。クラブに対しては、日常的な情報交換の橋渡しの他、必要に応じて役員会や総会に参加するとともに、運営や広報に関わる支援を行った。

今後においても、川崎市総合型地域スポーツクラブ育成連絡協議会と連携しながら、クラブ間のネットワーク化等を進め、クラブの活動活性化に向けた支援を行う必要がある。

11. スポーツ施設

(1) とどろきアリーナ

平成7年8月にオープンしたとどろきアリーナは、メインアリーナにおいて国際大会・全国大会等の会場を提供するとともに、サブアリーナでは気軽にスポーツに親しめる場所として地域のスポーツセンター機能を果たしている。

各種スポーツ教室や、「競技スポーツ」「健康体操」「未就学児と保護者を対象としたプログラム」などの各ジャンルによるスポーツデーを実施し、幅広いニーズ・年齢層に対応したスポーツの機会を提供したほか、利用者満足度調査等を実施し、利用者の意見を分析・反映させながら事業を展開した。多くの市民が来館するアリーナまつりでは、ニュースポーツの紹介普及にも心がけている。

また、かわさきスポーツパートナーである川崎ブレイブサンダース、NECレッドロケッツ、富士通レッドウェーブのホームアリーナであり、国内トップリーグの公式戦を観戦することができる。

年間利用者は100万人を超えており、今後ともビッグイベント実施可能施設として、また身近なスポーツ施設としてとどろきアリーナの役割と機能を十分に生かし、多様化する市民ニーズに積極的に応えていく。

(2) カルッツかわさき

カルッツかわさきは、スポーツや文化、レクリエーションの諸活動に加えて、市民や来訪者が相互に交流するコンベンションなどの多目的な市民活動に対応できる施設として、平成29年10月に開館した。スポーツ施設では、「川崎でスポーツを、スポーツで川崎を、もっと楽しく」を意識した運営に努め、「市民のための体育館運営」を推進している。幅広いニーズ・年齢層に対応したスポーツの場を提供するために、数多くのスポーツ教室やスポーツデーを開催。川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースなど、かわさきスポーツパートナーと連携した教室も実施している。大体育室では、プロレスを中心とした格闘技やVリーグ、Wリーグ等の公式戦会場としても利用され、トップアスリートの試合を「見て」楽しんでもいただくこともできる。また、令和元年度は、川崎にゆかりのある原口選手（ビーチサッカー日本代表）や川崎新田ボクシングジムの三好喜美佳選手といったアスリートとともに、障害者スポーツの普及や地域との連携を目的とした市民祭りイベントに取り組んだ。これらの結果、開館以降、利用者は着実に増加している。

今後も、利用者のニーズを把握し、川崎にゆかりのあるアスリートや富士見公園周辺施設（富士通スタジアム、川崎競輪場等）と協力した事業・広報を行うことで、区民や地域との結びつきを強め、利用者が楽しく、安全、快適にスポーツと携われる場を提供していく。

(3) 川崎市幸スポーツセンター

幸スポーツセンターは、昭和60年の開館以来、地域住民が気軽に楽しくスポーツへ親しむことのできる施設運営を推進するため、各種事業を行っている。平成18年に指定管理へ移行し、老朽化した施設の維持・改善に努め、利用者の利便性の向上を図ってきた。

スポーツ教室や個人開放事業の実施にあたっては民間事業者のノウハウを活用して様々なプログラムを用意するとともに、施設の公益性も考慮に入れた高齢者向けプログラムや、親子体操教室などの拡充を図ることで、普段スポーツセンターを利用することが少ない住民に対する利用促進にも取り組み、着実に利用者を伸ばしてきた。

また、川崎フロンターレと連携したこどもフットサル大会への運営協力をはじめ、各種地域イベントへ積極的に参加・協力することにより、地域の一員としてスポーツ振興活動を通じた地域貢献にも意欲的に取り組んでいる。

令和元年度はかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づき、ボッチャなど障害者スポーツの普及・推進に取り組んだ。今後も利用者のニーズを的確に把握し、効果的な広報を実施して、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。

(4) 川崎市高津スポーツセンター

高齢者世代、子供世代、障害者の方々まで、誰もが公平にスポーツを親しむことのできるプログラムを年間通して実施。タカスポ祭りを始めとするイベントの開催も行い、コミュニティ拠点としての相応しい場の提供ができたが、令和元年度は、新型コロナウイルスの影響が令和2年2月末からあり、全館利用中止となる事態が起こった。その影響もあり利用者は前年度を下回る（前年度比 93.5%、34.6 万人⇒32.3 万人）結果となったが、令和元年度3月期に前年度と同様の利用人数を見込めば、前年度比は上回っていたことが想定できる。

本年度は、新しい試みとしてパブリックビューイングをエントランスにて開催。「FIBA バスケットボール 日本 VS チェコ」戦を観戦し大きな盛り上がりを見せた。また、トレーニング室においては、生涯スポーツを楽しんでいただくためのきっかけづくりとして「健トレプログラム」を実施。有資格者（健康運動指導士）による指導は、募集した両日とも大盛況で今後も継続が期待できた。

ユニーク性を求めて始めた「たかすぽギャラリー」は、4月に写真展、12月にはスポーツ川柳と題し、スポーツにまつわる川柳を企画した。昨年に引き続き好評でお客様からも多数の応募を募ることができ盛況に終わった。

次年度も、「より広く、より深く、よりやさしい地域のための高津スポーツセンター」を目指した事業展開を実施していく。

(5) 川崎市宮前スポーツセンター

宮前区民の待望の施設として地域住民が気軽にスポーツを楽しめる施設として平成18年4月に開館した。開館当初より生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康維持・増進の支援ができるよう事業に取り組んでいる。地域スポーツセンターの基本的な役割であるスポーツ施設設備の提供、スポーツ教室・研修会の開催・個人開放事業（スポーツデー）を通してスポーツの普及推進に努めてきた。

スポーツ教室は、利用者からの意見や要望を考慮し、子どもから高齢者まで参加できる事業を36教室実施し、受講者数は35,000人を超えた。スポーツデーにおいては、卓球、リフレッシュ体操、バドミントン、エアロビクス等、利用者のニーズ等に配慮した運営によって26,000人を超えた。総利用者数について、令和元年度は約28万人であった。

次年度も、利用者ニーズを見極め、運動を始めるきっかけづくりや、継続が可能となるような事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を実施していく。

(6) 川崎市多摩スポーツセンター

平成22年12月に運営を開始していた軟式野球場・ナイター照明付テニスコート2面（セパレート型）に加え、平成23年3月に屋内施設が開館し、本格的な運営が開始された。屋内施設として温水プール（可動床）やアーチェリー練習場（和弓利用可）が設置されているなどの特色がある。

生涯スポーツ振興を図ることを目的に、スポーツデーやスポーツ教室などの事業を実施している。令和2年度スポーツ教室（短期含）については、「スポーツ・テニス・プール」各種目合わせて113コマの教室を開催予定。小・中学生を対象にした剣道、テニス教室、幼児・高齢者を対象とした、キッズスイミング・キッズチアリーディング教室・シニアスイミング教室・ちょきん運動を開催するなど、利用者のニーズを考慮しながら、より多くの方を対象に、スポーツ・運動機会の場の提供ができるよう努めている。2歳児から高齢者までと更に幅広い年齢層に対応して行く。令和元年度の教室受講者数は67,000人を超えた。

令和元年度においても近隣小・中学校の「職場体験授業」協力、高校・大学におけるインターンシップ生の受け入れを積極的に行った。また、近隣小学校の水泳授業（6月～9月）に協力し、プールの提供、指導補助、監視業務を行うなど、公の施設として施設の有効利用にも配慮している。また、スポーツセンターへ足を運ばない方々に対し、運動指導員の派遣事業も積極的に行っている。

25年度より主催事業として多摩区と共同で「多摩区スポーツフェスタ」（平成30年度で6回目、7回目となる令和元年度は中止。）を開催。体育の日記念事業とはひと味違った事業展開を行い、家族連れの方々を中心に数多くの皆様に参加いただいている。

屋内・外施設において、令和元年度の年間利用者数は約46.5万人であった。次年度も「安全・安心・快適に利用できる施設の提供」はもとより、幅広い年齢層の方々がスポーツ・レクリエーションに参加できる

機会、環境を更に増やしてもらうために、利用者からの声を活かしサービス及び質の向上に努め、あらゆるニーズにあった新たな事業展開を実施していく。

(7) 川崎市麻生スポーツセンター

麻生スポーツセンターは、市民へのスポーツの普及・振興に寄与することを目的に昭和 61 年開館した。周辺地域に多くの民間スポーツ施設がある中で、公共スポーツ施設として多くの市民に利用されており、麻生スポーツセンターに対する市民の期待の高さをみることができる。

利用者の内訳は、社会人・学生等のサークル団体での利用も盛んであるが、個人で参加できるスポーツデー（個人利用）は人気が高く、低料金で気軽に利用できると好評で参加者も多い。初心者でも参加できるエアロビクス、健康体操、ヨガなどは特に利用者が多く人気が高い種目になっている。

年間利用者の団体利用・個人利用の割合は約半々であり、スポーツデー〔個人利用〕が市民のニーズにかなったものになってきている。スポーツ教室は、子供から高齢者まで幅広い参加があり、特に教室の講師には地区のスポーツ指導者を迎えて行い、地域の力で教室を盛り上げることで、地域交流に貢献している。また、ニュースポーツ、バウンドテニスを取り上げ普及・振興をはかっており、教室の卒業生を中心にバウンドテニス協会を立ち上げ、大会を開催する等盛り上がりを見せている。

スポーツ教室に参加する方はスポーツセンターの利用が初めての方が多く、教室終了後にサークルをつくる、既存のサークルに入る、個人利用に参加する等してスポーツ活動を始めることが多い。

麻生スポーツセンターの情報発信として、ホームページや SNS 等での情報発信や「あさスポ通信」を毎月発行している他、「あさおスポーツだより」を年 3 回発行し、区内のスポーツ情報の広報にも努めた。

今後も、スポーツ・レクリエーション活動を通じて心身の健康づくりに関わり、スポーツによって感動や絆を深めることができる事業展開を進めていく。

(8) 石川記念武道館

川崎市唯一の武道施設として、昭和 52 年の開館以来、武道の普及・振興を通して青少年の健全育成に寄与してきた。毎週月（夜間）・月・火・木・土曜日を個人利用日として指導員を配置し実技指導を行っている。

武道教室は従来、合気道を除き、春と秋の 2 期制で行っている。また、幼児を対象とした親子スポーツ教室や、体力づくりヨガ教室を実施することで、より多くの市民が武道館に接することができる取組みを進め、施設の有効活用を図っている。

12. 青少年教育施設

青少年教育施設ではそれぞれの施設の設置目的、利用形態、提供プログラム及び立地に応じて、地域、青少年団体、社会教育団体及び学校との連携と協力を図り、青少年の心の豊かさや生きる力を伸ばし、育んでいくために、様々な生活体験の場を提供し、異年齢集団による活動や宿泊体験、共同生活、創作活動、自然との触れ合いなど、あらゆるものに挑戦し体験する学習活動を展開している。それぞれの施設の利用形態に応じて利用主体である子ども達に対して「川崎市子どもの権利に関する条例」に則った運営を実施している。

また、青少年団体等の施設利用の促進と充実のために、各種プログラムの相談や開発、夏期利用団体には指導者講習会の開催、活動施設・設備の整備等をすすめている。

(1) 青少年の家

施設の目的に沿って事業展開を行っており、豊かな自然を活かした体験活動や宿泊体験を通して、青少年の健全育成を行っている。特色のある事業として、「かわさき森のようちえん」、「週末チャレンジクラブ」、「週末ビキナークラブ」、「サーキットエアロ」などといった年齢や教育課題に対応した新規事業を実施した。

その他、夏期に施設を利用する団体の指導者向けの火おこし体験等を実施する「プログラム体験会」や幅広い年齢層で手軽に楽しめる「音楽コンサート」等、独自事業も積極的に実施した。

(2) 八ヶ岳少年自然の家

概ね計画通り、事業が実施されていた。施設全体の安全衛生管理にきめ細かく注意を払い、特に野外炊飯やキャンプファイヤー等、火の取扱いの必要なプログラムでは、利用者としっかり打合せをしており丁寧に対応している。また、「ふじみ星空観察会」では、アストロハウスにおいて、季節ごとに星の観察に関する学習するプログラムを行っている。

(3) 黒川青少年野外活動センター

施設の目的に沿って、野外活動に関する専門性を活かし、概ね計画どおりに事業を実施している。

「いちにちのあそびくらぶ（森のようちえん）」、「黒川サマーキャンプ」、「バーベキューインストラクター講習会」など、幼児からシニアまでの幅広い年齢層へのプログラムを実施している。また、アウトドアに親しむきっかけづくりを目的とした「アウトドアクッキング講習会」については利用の少ない主婦層の利用拡大につなげることができた。

(4) 子ども夢パーク

「川崎市子どもの権利に関する条例」第27条に定められた「子どもの居場所」の実現を図った。

生活に困窮する親や精神疾患を抱えたひとり親の家庭などで育ち、ネグレクト状態にあたり、DVの被害を受けてきたなど愛着形成ができていないと思われる子どもたちや、大人にかまって欲しく、夢パーク内の遊具を壊したり、スタッフに対して暴言・暴力などのためし行動をとったりして、注意を引こうとする子どもたちに粘り強く寄り添い、安心して失敗できる環境を作り出すことを心がけた。

また、失敗を恐れ、より完璧を目指し、正しい子育てを頑張ろうとする親や社会の状況のもとで、ストレスを抱え、自分がやってみたいことは何なのか、自ら考えて判断し、行動する力の低下している子どもたちに対して、ストレスを発散し、自己肯定感を育み、自分たちで自分が過ごしたい場をつくっていけるようにするために、5つの基本方針のもと、さらに一歩進んだ「子どもの居場所」の実現を目指した。

ア 居場所機能の充実・強化

問題行動が見受けられる子ども・若者たちへのアプローチ、要保護及び要養護児童生徒の抱える「問題」の発見と関係機関との連携、若年出産や虐待リスクを抱える保護者への支援、孤立した子育て環境にいる乳幼児親子の居場所づくり、子どもたちのコミュニケーション能力を育む外遊び環境の充実など、プレーパークチームとフリースペースえんスタッフ間の連携を強化した組織構成と職員配置を行い、居場所機能の充実・強化を図った。

イ 「子ども参画」の推進

子どもの自主的および自発的な参加活動拠点づくりを積極的に行った「KUJI ROCK」では、ライブハウスとして使用する部屋の準備や広報などから、当日の進行・演奏・後片付けまで、すべての運営を中高生の若者たちが担って実施した。また、「子どもゆめ横丁」は、主に小学生が自分の「思い」を手作りの商品と店づくりにこめ、現金で商売をする、子どもたちの「本気の機会」を創出するイベントとして実施した。

ウ スタッフの質の向上、養成を目指した研修の充実

プレーワーク研修やソーシャルワーク研修を充実させることで、日常的な子どもとの関わり方や居場所・遊び環境の質の向上や子どもの思いをキャッチするために、スタッフ自身が子どものSOSに気づく感性を磨く研修に努めた。また、スタッフ自身の感情特に「怒り」のコントロールが重要と考え、それらの要因によるバーンアウト（燃え尽き）の防止を図るためにスタッフのメンタル面をケアする研修も充実させた。

エ 関係機関及び地域との連携強化

各々のスタッフが手に入れた情報を整理して、その中に埋もれている「問題」を早期に発見して、関係諸機関や地域にある社会資源と繋げるよう努めた。

オ 夢パークの先駆的な取組の発信

川崎発の先駆的な取組が全国に広がり、子どもの「遊び場・居場所」環境が充実するように全国へ広く発信するため、支援委員会や市民団体と連携し、子どもを見守る大人への啓発を目的とした子育て講演会などを開催した。また、全国の自治体や民生委員児童委員、子どもの活動にかかわる団体などの視察・研修の受け入れ、教育・福祉系の大学生等の実習などの受け入れも行った。

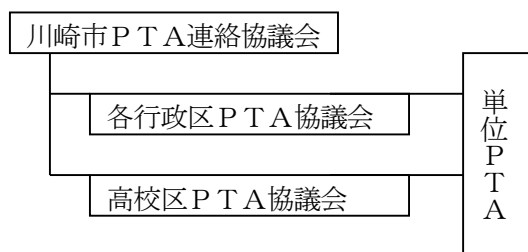
Ⅲ 社会教育関係団体

1. PTA（川崎市PTA連絡協議会）

本市におけるPTA活動は、市内公立学校PTAで組織された川崎市PTA連絡協議会が中心となり、PTAの健全な発展、民主的な運営とその普及、よりよい教育環境をつくるために活動が行われている。主な活動として、広報紙の発行、各種研修会の実施、各種研究大会への参加、親と子のつどい等の交流事業に取り組んでいる。PTA活動中に発生した事故等に対しての見舞金給付制度も設けられている。

(1) 組織・運営

市内公立学校PTA171（小112、中50、小中1、高5、特別支援3）、会員数 約17,000人、8区（7行政区及び高校区）PTA協議会が置かれ、各区P協等から推薦された理事43名（校長会含む）をもって組織されている。会の運営は、総会により選出された役員及び理事により行われている。



(2) 予算

一般会計

小・中・高・特別支援学校の児童生徒1名につき、110円を各区PTA協議会分担金として徴収し運営している。（うち日本PTA全国協議会へ児童生徒数×10円納入）

(3) 事業

ア 会議等

- ・総会 6月14日 多摩市民館
- ・役員会・理事会 月1回
- ・教育予算要望書提出
令和元年5月19日 市長・議長・教育長

イ 広報活動

広報紙「市P協かわさき」
年3回発行 各103,000部

ウ 諸活動

- ・新年度役員研修会
平成31年5月17日 高津市民館
- ・市制記念2019市P協親と子のつどい
7月1日 よみうりランド

- ・第47回市P協ママさんバレーボール大会

11月9日 とどろきアリーナ

- ・事例研修

12月7日 そなエリア東京

- ・食育推進コンテスト

表彰式・講演 1月11日 高津市民館

- ・会員研修会

1月16日 高津市民館

- ・ICT学習会

7月9日 エポックなかはら

- ・第51回PTAコーラス大会

2月22日 高津市民館

- ・第40回PTA広報紙コンクール

作品展示 3月20日～25日(中止)

高津市民館ウォールギャラリー

表彰式 3月25日(中止) 高津市民館

エ 研究大会参加

- ・第67回日本PTA全国研究大会

8月23日～24日 兵庫県

- ・第75回指定都市PTA情報交換会

9月12日～13日 新潟市

(4) 表彰

ア 優良PTA文部科学大臣表彰

川崎市立宮前小学校PTA

川崎市立菅古市場小学校PTA

イ 優良PTA日本PTA全国協議会会長表彰

川崎市立岡上小学校PTA

川崎市立東生田小学校PTA

ウ 優良PTA神奈川県教育委員会表彰

川崎市立向小学校PTA

川崎市立新城小学校PTA（父母と教職員の会）

川崎市立南野川小学校PTA

川崎市立生田小学校PTA

川崎市立御幸中学校PTA

2. 女性団体（川崎市地域女性連絡協議会）

昭和 22 年に女性の地位向上や社会参加の促進をめざして設立されて以来、男女平等の推進、環境問題に関する学習・実践活動、平和問題への取り組み、少子高齢社会への対応など、地域が抱える様々な課題に対し、「学習・親睦・奉仕」を柱に活動を展開している。

(1) 組織・運営

市内 11 の婦人会及び団体が所属し、各単位での地域活動を行うと共に、全市的な女性団体である川崎市地域女性連絡協議会としての学習・実践活動を行っている。会員数約 1,500 人。

会長、副会長、会計、事務局長、書記、理事等、各団体から選出された 23 名の役員を中心に、会の運営が行われている。

(2) 予算

令和元年度予算額 2,352,686 円

会費・分担金（1 団体 5,000 円、個人会員 3,000 円）、事業補助金（429,000 円）、及び事業益金（1,450,000 円）等で運営している。

(3) 主な事業（平成 30 年度）

ア 会議・催事等

- ・定例会 月 1 回
- ・三役会 随時
- ・総会 4 月 26 日 教育文化会館
- ・新春のつどい
令和 2 年 1 月 24 日 中華料理 煌蘭

イ 研修会等

- ・県知事と語ろう

ウ 諸大会

- ・全国地域婦人団体連絡協議会年次理事会
5 月 24 日 全国婦人会館
- ・第 67 回全国地域婦人団体 研究大会
10 月 1 日、2 日 ホテル青森
- ・全国地域婦人団体連絡協議会関東ブロック会議
11 月 5 日、6 日 御殿場高原ホテル
- ・全国地域婦人団体連絡協議会 幹部研修会
11 月 19 日 青少年総合センター
- ・神奈川県地域婦人団体連絡協議会
2021 年全国大会神奈川県開催について
2 月 27 日 神奈川県婦人会館
- ・北方領土返還要求県理事会
10 月 20 日 横浜情報文化センター
- ・北方領土返還要求全国大会
令和 2 年 2 月 7 日 国立劇場

エ 広報活動

- ・「女性かわさき」の発行（109、110 号）

オ 諸活動

○平和・男女平等への取り組み

- ・川崎市平和館事業への参加
- ・男女平等かわさきフォーラム
令和 2 年 2 月 15 日 エポック中原
- ・第 36 回平和のつどい「やさしく生きる」
令和 2 年 3 月 24 日 教育文化会館
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

○地域文化振興

- ・第 21 回芸能大会
10 月 30 日 サンピアンかわさき
- ・第 33 回チャリティー芸能のつどい
令和 2 年 3 月 1 日 川崎市幸文化センター
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

○子育て支援

- ・第 15 回すくらむまつり 折り紙講習会
6 月 23 日 男女共同参画センター
- ・もったいないパーティー
11 月 12 日 教育文化会館 調理室
- ・食品表示セミナー
11 月 26 日 川崎商工会議所

○環境・消費者問題への取り組み

- ・講演会「安全ですか？あなたの食卓」
8 月 6 日 教育文化会館
- ・生ごみリサイクル交流会
11 月 17 日 高津市民館
- ・ライトダウンキャンペーン
- ・廃食油回収
- ・ダンボールコンポスト普及活動
- ・その他、環境に関する啓発活動・研究調査

○その他

- ・29 機関の審議委員会等に参加
- ・市民まつり、その他イベントへの協力・出展

3. 青少年団体

(1) 川崎市青少年育成連盟

昭和 21 年 10 月、戦後の混乱期の中で、青少年の社会生活向上と家庭・学校・地域等の連携を目指し、青少年補導連盟の名称で発足し、昭和 40 年、今の名称に改められた。

加盟団体は、(一社) 川崎市子ども会連盟、日本ボーイスカウト川崎地区協議会、ガールスカウト川崎市連絡会、川崎海洋少年団の 4 団体である。

育成連盟は、次の事業方針により活動している。

◎ 事業方針

ア 青少年の健全な育成を図るため、加盟団体相互の交流及び関係団体・機関との連携を密にして育成連盟事業の効果的推進を図る。

イ 育成連盟及び加盟団体の組織基盤の整備を進めるとともに、少年団体に関する市民の理解を深め、その活動への参加の促進を図る。

ウ 少年団体活動の今日的あり方を研究し、若手リーダー養成を積極的に進め、ジュニアやシニアリーダーが活躍できる環境整備を行う。

エ 地域において、青少年の非行防止活動に積極的に取り組む。

オ 国際化社会への対応のため、青少年の国際交流を推進する。

(2) (一社) 川崎市子ども会連盟

昭和 27 年に、165 団体で発足。現在は、単位子ども会 277 団体、会員約 24,000 名で構成されている。

子ども会は、地域社会において子ども達が遊びやその他の集団活動を通して、社会性、自発性を養い健全な青少年を育成することを目的として活動している。

◎ 主な活動

ア 子どもリーダー (小学生)、ジュニアリーダー (中・高生) 研修会等の研修事業

イ 子ども会野球大会、羽根つき大会、作品展等の諸大会

ウ 多摩川美化運動、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル等の奉仕活動

(3) 日本ボーイスカウト川崎地区協議会

昭和 25 年に川崎第 1 隊・2 隊が発足。昭和 26 年、8 コ隊になったのを契機に日本ボーイスカウト川崎地区協議会が結成された。現在では 11 コ団＋スカウトクラブ 1 団、52 隊、加盟員約 970 名で構成されている。

ボーイスカウトの活動は、キャンプやハイキングなど野外を教場としている。その目的は、青少年の自発的活動により自らの健康と人生に役立つ技能を体得し、世界に通用する人間として育成することである。

◎ 主な活動

ア ジャンボリー、地区ラリー、訓練キャンプ、移動野外訓練等のスカウト活動

イ 日赤救急法、指導者講習会等の各種講習会

ウ 市民まつり、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル、歳末募金等の奉仕活動

エ ボルチモア市スカウト交流派遣等の国際交流事業

(4) ガールスカウト川崎市連絡会

昭和 36 年に神奈川県第 14 団と 17 団が発足し、ガールスカウト川崎市連絡会を結成、現在は 7 コ団、会員約 230 名で構成されている。

活動は、就学前 1 年の少女から高校生年代までの少女がグループを作り、資格を持ったリーダーが見守る中で行っている。

ガールスカウトの活動の目的は、少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動することである。

◎ 主な活動

ア プロジェクト、アウトドア活動、ギャザリング、海外派遣・研修、社会貢献活動、バッジプログラム

イ リーダー研修、野外活動等の成人研修

ウ 区民祭、市民まつり、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル、多摩川美化運動、ユニセフや歳末募金等の奉仕活動

エ 姉妹都市やガールスカウト世界連盟加盟国との国際交流事業

(5) 川崎海洋少年団

昭和 40 年に、横浜海洋少年団から川崎隊が独立し発足した。団員約 10 名で構成されており、関東地区連盟、神奈川県連盟及び関連他団体等と連携して活動している。

その目的は、団体生活の規律を学ぶとともに、青少年の健全な育成を図ることである。

◎ 主な活動

ア リーダー研修会、ヨット・カヌー研修会

イ 多摩川美化運動、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル等の奉仕活動

4. 文化団体

(1) 川崎市総合文化団体連絡会

川崎市総合文化団体連絡会は、多分野にわたる単一的文化団体を包括した総合文化団体 10 団体の連絡組織体で、昭和 49 年 1 月 19 日に設立された。

ア 構成団体

- 川崎市文化協会 (団体 31)
- 川崎文化会議 (団体 9・個人 12)
- 川崎市児童文化団体連絡会 (団体 7)
- 川崎区文化協会 (団体 51・個人 82)
- 幸区文化協会 (団体 31・個人 11)
- 中原区文化協会 (団体 51・個人 38)
- 高津区文化協会 (団体 52・個人 36)
- 宮前区文化協会 (団体 35・個人 8)
- 多摩区文化協会 (団体 54・個人 8)
- 麻生区文化協会 (団体 36・個人 104)

イ 主な事業

(ア) 第 35 回かわさき市民芸術祭の開催

○舞台部門 平成 31 年 3 月 3 日

会場 カルッツかわさき

邦楽・邦舞

○美術部門 平成 31 年 2 月 19 日～24 日

会場 アートガーデンかわさき

絵画、手工芸、詩歌、華道、写真、書、茶道、
フラワーデザイン等創作作品の展示

○こども芸術祭

(ホール発表他) 令和元年 12 月 15 日

(展示) 令和元年 12 月 13 日～12 月 18 日

会場 麻生市民館

(イ) 「文化かわさき」年 1 回発行

(2) 川崎市文化協会 昭和 28 年 2 月設立

かわさき市文化祭の毎年開催

機関紙「文化の友」発行

かわさき市民芸術祭参加

(3) 川崎文化会議 昭和 39 年 8 月設立

「平和をきずく市民のつどい」、「平和コンサート」、

「平和美術展」(休止)、機関紙「川崎文化」の発行、

第 7 回川崎郷土・市民劇「日本民家園ものがたり」

上演に参加、かわさき市民芸術祭参加

(4) 川崎市児童文化団体連絡会 昭和 52 年 4 月設立
かわさき市民芸術祭こども芸術祭の開催、かわさき
青年交流会の開催、機関紙年 4 回発行、かわさき
市民芸術祭参加

(5) 川崎区文化協会 平成 4 年 4 月設立
文化芸能祭、美術展、ふれあい講座、遍響コンサ
ート、酔花忌俳句大会、機関紙「川崎評論」発行、
地域イベントへの参画、かわさき市民芸術祭参加

(6) 幸区文化協会 昭和 54 年 4 月設立
文化祭(展示・芸能・洋楽部門)、文化講演会、夏
休み親子体験会、機関紙「文化さいわい」発行、
かわさき市民芸術祭参加

(7) 中原区文化協会 昭和 44 年 5 月設立
文化祭(芸能の部・展示の部・お茶会・菊花展)、
文化講座(子ども生け花教室・子ども日本舞踊)、
機関紙「文化なかはら」発行、ふれあい教室、か
わさき市民芸術祭参加

(8) 高津区文化協会 昭和 43 年 9 月 14 日設立
平成 18 年 1 月 NPO 法人化
文化祭、文化講座、うたごえ広場、親子リトミッ
ク講座、子ども将棋教室、機関紙「高津の文化」
発行、かわさき市民芸術祭参加

(9) 宮前区文化協会 昭和 58 年 4 月設立
文化祭、文化講演会、文化講座、研究発表会、夏
休み親子講座、クリスマス会、響けみやまえ太鼓
ミーティング、機関紙「文化みやまえ」発行、か
わさき市民芸術祭参加

(10) 多摩区文化協会 昭和 45 年 6 月設立
文化祭、文化サロン、文化講演会、文化教室、ち
びっこシアター、機関紙「多摩の文化」発行、か
わさき市民芸術祭参加

(11) 麻生区文化協会 昭和 59 年 11 月設立
文化祭(邦舞・邦楽、吟舞・吟詠、洋舞・洋楽、
俳句大会、美術工芸、文化サロン)、夏休み親子教
室、俳句講座、七草粥の会、デッサン会、雑学教
室、機関紙「からむし」発行、かわさき市民芸術
祭参加

5. スポーツ団体

(1) 公益財団法人川崎市スポーツ協会

昭和 22 年 2 月、戦後の荒廃した市民の心身を体育、スポーツによって救済することを目的に、川崎市体育会が発足したが、翌年 11 月に現在の基となった川崎市体育協会が設立された。平成 4 年 7 月に県の認可を受け、平成 23 年 11 月には公益財団法人となり、次の 41 の協会・連盟・連合で構成され、その傘下の会員数は約 100,000 名となっている。

スポーツ協会の目的は、アマチュアのスポーツ競技団体の緊密な連絡調整を図り、スポーツの普及・振興と市民の健康体力づくりを図るところにある。

また、主要事業としては、春季市民体育大会、秋季市民体育大会、市制記念体育大会などの川崎市の委託による事業、その他各種体育大会、各種目別スポーツ教室、各種目別指導者養成講習会、指導者派遣事業及びその他の事業を実施している。

加盟団体は、陸上競技協会、野球協会、バレーボール協会、バスケットボール協会、バドミントン協会、卓球協会、テニス協会、ソフトテニス協会、柔道協会、剣道連盟、弓道連盟、相撲連盟、山岳協会、水泳協会、スキー協会、スケート協会、ラグビーフットボール協会、サッカー協会、体操協会、少林寺拳法協会、空手道連盟、ハンドボール協会、なぎなた連盟、ソフトボール協会、クレール射撃協会、合気道連盟、ボウリング協会、ゴルフ協会、ゲートボール連合、ダンススポーツ連盟、フロアボール協会、アメリカンフットボール協会、一輪車協会、綱引連盟、チアリーディング協会、かわさきスポーツドリーマーズ、トライアスロン協会、スカッシュ協会、障害者スポーツ協会、高等学校体育連盟、中学校体育連盟の 41 団体

(2) 川崎市レクリエーション連盟

昭和 44 年 6 月、市内で活動しているレクリエーション関係団体を統合し、相互の連絡調整を図り、市民レクリエーション運動の高揚を目的として川崎市レクリエーション関係団体協議会が発足した。その後、さらに発展して昭和 50 年 4 月に川崎市レクリエーション連盟が設立され現在に至っている。

本連盟の目的は、市民レクリエーション運動を通して、市民の心身の健康増進を図り、レクリエーション関係団体相互の連絡を密にし、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努めることである。

平成 30 年度は、全国一斉「あそびの日」かわさき広場、スポーツ・レクリエーション大会などを実施した。

加盟団体は、レクリエーション指導者クラブ、フォークダンス協会、レクリエーション卓球連盟、釣連合会、レジャー&レクリエーション研究会、工都みんなの舞踊連盟、ファミリーカラテ連盟、バドミントン友の会、スポーツチャンバラ協会、ウォーキング協会、かわさきネイチャーゲームの会、ターゲットバードゴルフ協会、スクエアダンス協会、グラウンドゴルフ協会、ペタンク・ブール、ナプア ナカマエ、武術太極拳協会、日本サーチウォーク協会の 18 団体が加盟している。

Ⅳ 社会教育関係資料

1. 図書館利用状況及び蔵書冊数

図書館名	登録人数 一般・学生 児童・生徒	利用者人数 一般・学生 児童・生徒	貸出人数 一般・学生 児童・生徒	貸出冊数 一般書 児童書 視聴覚資料	蔵書冊数 一般書 児童書 視聴覚資料	団体貸出冊数 団体数
川崎図書館	43,161	17,750	272,752	590,875	183,434	1,640
内 訳	39,420 3,741	15,962 1,788	247,877 24,875	388,564 173,339 28,972	137,964 40,500 4,970	27
幸図書館	21,900	10,156	150,711	394,594	144,750	3,762
内 訳	17,871 4,029	8,069 2,087	120,500 30,211	195,807 196,590 2,197	103,490 41,222 38	35
中原図書館	134,402	49,861	825,140	1,730,139	406,252	7,574
内 訳	121,669 12,773	43,113 6,748	713,007 112,133	1,034,707 648,945 46,487	331,972 66,644 7,636	42
高津図書館	35,617	15,589	236,450	574,163	249,549	4,396
内 訳	30,188 5,429	12,789 2,800	198,213 38,237	323,626 246,930 3,607	159,247 90,279 23	37
宮前図書館	49,557	21,943	381,514	897,543	244,043	4,502
内 訳	40,964 8,593	17,637 4,306	315,528 65,986	509,342 380,308 7,893	163,696 80,290 57	28
多摩図書館	41,789	18,233	263,961	663,880	271,527	4,591
内 訳	36,946 4,843	15,694 2,539	229,712 34,249	394,656 246,079 23,145	208,267 58,927 4,333	31
麻生図書館	49,166	22,306	376,643	861,057	208,645	2,255
内 訳	42,874 6,292	18,997 3,309	329,117 47,526	557,305 296,799 6,953	148,160 60,467 18	25
大師分館	6,406	2,745	44,788	119,573	48,741	902
内 訳	5,038 1,348	2,096 649	36,624 8,164	61,358 57,671 544	31,308 17,429 4	7
田島分館	5,566	2,225	31,832	88,957	47,135	355
内 訳	4,180 1,386	1,660 565	27,350 4,482	52,085 36,099 773	26,753 20,378 4	3
日吉分館	8,557	3,876	77,766	206,667	40,879	401
内 訳	6,697 1,860	2,934 942	62,593 15,173	93,764 111,945 958	21,913 18,888 78	5
橘分館	7,465	3,259	59,838	152,064	37,893	1,041
内 訳	5,926 1,539	2,538 721	49,049 10,789	79,145 71,755 1,164	21,705 16,184 4	3
柿生分館	3,356	1,527	41,732	100,695	42,225	1,007
内 訳	2,131 1,225	905 622	32,398 9,334	52,239 47,700 756	22,353 19,897 5	6
菅閲覧所	6,636	2,976	61,123	144,147	29,184	270
内 訳	5,655 981	2,511 465	55,383 5,740	87,276 55,476 1,395	17,492 11,691 1	1
合計	413,578	172,446	2,824,250	6,524,354	1,954,287	32,696
内 訳	359,579 53,999	144,905 27,541	2,417,351 406,899	3,829,874 2,569,636 124,844	1,394,320 542,796 17,171	250

※「登録人数」とは自動車文庫を含む登録期限3年以内の個人登録者人数である。

児童・生徒とは15歳以下の利用者である。

※「利用者人数」とは、令和元年度中に貸出をした自動車文庫を含む個人利用者の実人数である。

※「貸出人数」とは、令和元年度中の延べ個人利用者人数である。（自動車文庫：右表は含まない）

※貸出冊数には自動車文庫を含まない。また、雑誌は一般書に含めて計上している。

※アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）での受取は宮前図書館の貸出冊数に含めている。

※蔵書冊数は、雑誌を除いて計上している。

※視聴覚資料にはCD・カセットテープを含む。

自動車文庫

担当館 宮前図書館	
貸出ポイント (巡回場所)	21 箇所
貸出人数	2,579
貸出冊数	12,808

2. 社会教育施設利用状況

(1) 教育文化会館

(室別・月別利用状況)

室名\月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大会議室		47	53	46	54	47	55	59	68	43	45	53	15	585
		40	41	40	40	36	38	42	52	31	34	42	12	448
第1会議室		27	31	29	35	22	32	58	42	42	32	35	16	401
		18	24	23	22	18	22	33	31	21	24	27	13	276
第2会議室		17	18	21	27	10	31	45	40	37	17	20	15	298
		11	11	14	16	6	17	21	27	17	13	14	9	176
第3会議室		36	37	43	40	23	42	53	43	50	34	36	27	464
		31	30	33	33	21	33	33	36	29	28	28	18	353
第4会議室		24	19	37	42	27	49	29	50	38	19	34	11	379
		13	14	23	24	18	26	18	27	17	10	17	5	212
第5会議室		22	14	26	42	25	39	22	45	40	28	31	13	347
		12	10	18	24	17	19	16	24	19	14	16	6	195
第6会議室		27	19	9	34	22	28	33	45	38	26	21	19	321
		15	8	6	21	12	13	19	22	16	13	11	10	166
第7会議室		29	17	7	33	14	29	32	38	45	38	17	17	316
		15	7	5	19	8	14	18	20	19	19	9	9	162
談話室		7	8	4	5	3	10	32	18	23	9	9	3	131
		5	5	3	5	3	5	15	9	8	6	6	2	72
第1学習室		29	30	35	29	29	43	38	50	44	24	37	15	403
		22	25	22	21	20	29	30	32	26	17	26	11	281
第2学習室		26	32	26	30	25	38	42	43	41	31	26	9	369
		19	24	20	21	16	24	30	28	22	20	20	6	250
第3学習室		16	18	28	28	24	33	38	37	34	28	25	8	317
		10	13	20	18	16	23	24	28	22	18	19	5	216
第4学習室		24	24	29	30	18	35	30	37	24	24	28	8	311
		24	22	28	23	16	29	27	31	23	22	26	8	279
第5学習室		12	10	20	27	16	26	29	42	29	24	23	7	265
		11	9	15	17	13	18	26	28	20	19	16	4	196
第6学習室		13	16	15	20	17	24	20	29	25	17	8	9	213
		11	13	10	15	10	14	16	19	18	13	5	4	148
美術工芸室		6	12	10	6	2	14	10	14	8	7	11	0	100
		6	10	9	6	2	10	9	11	7	7	10	0	87
視聴覚教室		24	20	26	25	26	27	30	33	28	28	32	7	306
		22	18	25	21	22	20	27	25	25	25	27	7	264
料理教室		8	5	9	17	6	15	25	17	18	12	23	1	156
		7	5	8	10	4	10	15	10	10	8	16	1	104
実習室		9	9	9	15	7	14	18	14	12	9	9	7	132
		6	6	6	9	4	8	9	8	9	6	5	4	80
茶華道教室		6	9	9	13	4	15	12	15	14	10	12	1	120
		6	7	9	9	4	11	9	11	9	8	9	1	93
イベントホール	A	5	5	7	11	22	22	15	32	15	47	16	4	201
		4	3	6	8	9	10	7	14	9	20	8	2	100
	B	5	5	7	11	22	22	15	32	15	47	16	4	201
		4	3	6	8	9	10	7	14	9	20	8	2	100
	C	6	5	7	11	22	22	15	32	15	47	16	4	202
		5	3	6	8	9	10	7	14	9	20	8	2	101
合計		425	416	459	585	433	665	700	816	678	603	538	220	6,538
		317	311	355	398	293	413	458	521	395	384	373	141	4,359
市民ギャラリー		0	0	1	1	0	1	0	1	1	4	2	2	13
		0	0	1	1	0	1	0	1	1	4	2	2	13

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(2) 幸市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大ホール	48 21	34 15	58 26	63 29	65 27	56 28	54 28	51 24	62 27	51 22	43 17	37 17	622 281
リハーサル室	15 5	6 4	19 8	21 8	36 14	22 9	30 13	18 7	40 15	26 10	25 9	17 8	275 110
大会議室	38 32	32 29	34 26	41 25	43 26	45 31	49 36	48 34	44 22	40 23	47 28	39 21	500 333
第1会議室	16 15	37 33	36 25	28 22	28 21	45 31	41 26	47 29	39 25	39 26	56 31	26 18	438 302
第2会議室	29 25	34 29	42 35	37 29	30 24	44 33	48 34	52 37	33 23	42 31	48 34	29 20	468 354
第3会議室	30 25	34 29	35 31	35 32	32 26	42 30	46 33	39 30	33 24	37 29	41 27	31 23	435 339
第4会議室	25 21	18 15	26 20	23 14	24 14	25 17	28 20	23 15	23 15	28 18	29 20	24 16	296 205
音楽室	35 29	31 29	40 39	41 34	38 33	46 35	47 31	56 40	38 27	44 31	42 33	27 18	485 379
和室	16 12	11 11	16 14	22 16	12 10	26 19	34 21	31 20	16 11	22 16	20 16	15 9	241 175
料理室	8 6	6 4	25 12	16 10	10 6	12 7	19 10	19 10	29 14	19 10	14 8	18 9	195 106
実習室	13 13	12 12	17 15	18 17	10 8	22 17	25 19	24 16	18 12	23 16	22 18	18 12	222 175
体育室	76 76	78 78	75 75	71 70	77 74	77 74	73 67	75 69	64 60	67 63	58 54	61 57	852 817
合 計	349 280	333 288	423 326	416 306	405 283	462 331	494 338	483 331	439 275	438 295	445 295	342 228	5,029 3,576
市民ギャラリー	1 1	0 0	0 0	4 4	5 5	2 2	3 3	2 2	3 3	3 3	2 2	0 0	25 25

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(3) 中原市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホ ー ル	76 63	73 52	72 57	79 56	76 61	77 58	71 50	74 50	50 44	61 47	62 52	24 18	795 608
第1会議室	70 62	72 63	66 63	77 66	59 54	71 63	79 67	69 62	60 53	66 60	67 61	28 26	784 700
第2会議室	67 62	74 61	73 65	68 53	65 55	78 66	72 56	77 67	65 56	64 56	67 57	33 27	803 681
第3会議室	73 61	75 60	78 66	78 64	70 60	73 58	81 67	77 62	54 51	66 59	68 63	45 39	838 710
第4会議室	74 61	69 57	62 52	68 54	67 53	74 59	73 59	68 53	59 55	60 53	67 61	34 29	775 646
第5会議室	77 72	82 66	80 73	79 63	73 57	75 64	77 61	79 65	63 59	68 58	70 64	38 35	861 737
第6会議室	55 43	62 46	63 57	68 49	51 39	71 54	67 45	64 52	50 41	57 43	59 49	29 22	696 540
視聴覚室	78 73	79 68	80 75	76 62	74 64	77 67	79 63	74 66	61 56	58 51	58 55	44 38	838 738
音楽室	77 72	78 72	79 77	78 64	73 71	78 72	76 64	80 75	64 62	62 58	70 66	47 46	862 799
和室	63 60	67 58	53 47	59 50	46 45	60 50	66 50	59 51	53 45	54 50	54 47	24 23	658 576
料理室	31 19	38 21	46 27	54 33	43 25	44 28	50 29	45 30	35 25	40 25	48 29	11 6	485 297
実習室	53 51	56 49	53 50	61 54	49 45	60 54	60 51	53 51	53 52	52 47	52 48	32 29	634 581
体育室	85 85	88 81	85 82	87 77	88 88	87 80	87 75	87 82	78 76	73 70	84 83	75 75	1,004 954
合 計	879 784	913 754	890 791	932 745	834 717	925 773	938 737	906 766	745 675	781 677	826 735	464 413	10,033 8,567
市民ギャラリー	4 4	5 5	3 3	4 4	5 5	4 4	4 4	5 5	3 3	4 4	4 4	3 3	48 48

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(4) 高津市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	53	54	57	69	69	62	67	76	45	53	52	15	672
	27	25	31	41	29	29	32	37	22	26	24	10	333
大会議室	74	67	78	75	72	73	73	78	63	65	67	13	798
	60	63	64	61	60	61	60	59	51	57	54	12	662
第1会議室	75	74	82	82	62	72	87	93	69	67	73	34	870
	64	62	67	65	48	66	66	75	53	56	63	30	715
第2会議室	69	74	80	90	62	76	88	84	60	62	69	46	860
	61	68	69	67	56	68	70	72	46	54	60	42	733
第3会議室	56	52	72	72	56	67	62	72	53	59	61	33	715
	50	48	64	63	52	59	56	56	44	50	50	30	622
第4会議室	71	69	75	72	66	73	72	77	61	68	70	32	806
	62	58	61	60	54	61	64	55	49	54	62	27	667
第5会議室	62	70	73	75	64	68	72	70	54	60	67	27	762
	52	62	58	60	52	52	51	58	40	49	54	26	614
第6会議室	61	59	73	67	49	66	71	71	55	55	60	33	720
	51	55	53	54	41	54	57	61	43	43	54	27	593
第1音楽室	71	74	77	80	80	79	78	84	69	72	69	34	867
	69	69	69	75	76	76	67	79	60	68	66	33	807
第2音楽室	72	73	73	76	77	73	81	79	62	64	68	32	830
	72	72	68	73	74	72	74	76	55	60	65	31	792
和室	63	59	70	72	68	68	70	73	63	52	58	41	757
	62	58	63	67	60	64	65	65	57	51	54	39	705
視聴覚室	61	69	74	76	66	78	74	76	62	63	64	27	790
	55	66	67	71	62	65	68	58	51	55	56	25	699
料理室	30	23	40	48	20	31	35	50	37	23	33	5	375
	22	16	27	33	13	23	22	31	26	18	23	3	257
実習室	45	53	61	58	50	52	58	58	51	50	51	26	613
	45	49	50	50	46	47	50	51	39	49	47	22	545
体育室	84	88	84	87	88	86	85	85	75	77	83	80	1,002
	83	86	78	87	88	86	81	76	71	76	80	80	972
合 計	947	958	1,069	1,099	949	1,024	1,073	1,126	879	890	945	478	11,437
	835	857	889	927	811	883	883	909	707	766	812	437	9,716
市民ギャラリー	4	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	52
	3	5	4	4	5	4	5	4	4	3	3	3	47

※ 上段の件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(5) 宮前市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	67	52	58	67	79	56	64	61	59	48	65	22	698
	28	25	21	28	28	26	24	25	28	26	31	11	301
大会議室	64	55	65	65	59	49	59	55	55	54	52	18	650
	54	47	45	48	38	38	39	47	42	48	43	16	505
第1会議室	46	44	45	36	34	42	51	52	39	42	55	23	509
	39	41	43	35	27	38	44	47	37	40	48	20	459
第2会議室	41	32	26	25	23	26	32	26	30	19	28	23	331
	27	26	22	24	15	23	25	22	25	16	22	16	263
第3会議室	54	49	46	44	37	46	40	57	44	41	44	27	529
	45	44	42	38	26	42	33	46	38	37	39	25	455
第4会議室	49	42	52	48	36	46	36	49	42	43	48	41	532
	36	35	42	44	26	36	27	41	35	37	35	21	415
和室	41	42	50	43	47	41	41	44	36	37	38	29	489
	36	39	47	41	39	37	33	39	35	35	36	28	445
料理室	21	20	19	29	19	25	28	37	22	21	30	1	272
	14	13	14	18	11	16	16	24	17	13	20	1	177
実習室	43	29	37	41	33	39	36	40	33	34	44	13	422
	36	28	35	39	25	36	30	38	31	31	39	13	381
視聴覚室	48	44	50	47	35	53	49	46	42	40	48	16	518
	40	40	45	40	28	47	37	42	39	34	42	15	449
体育室	78	80	82	83	74	82	73	65	67	70	75	83	912
	69	74	76	77	51	79	57	62	65	64	71	80	825
児童室	21	14	23	15	31	24	29	30	25	11	21	5	249
	15	11	20	14	18	17	17	21	18	11	16	5	183
合 計	573	503	553	543	507	529	538	562	494	460	548	301	6,111
	439	423	452	446	332	435	382	454	410	392	442	251	4,858
市民ギャラリー	4	3	4	4	5	4	5	4	4	3	4	2	46
	4	3	4	4	5	4	5	4	4	3	4	2	46

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(6) 多摩市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	60	69	66	72	80	74	59	68	66	58	54	25	751
	28	30	26	35	33	37	30	34	31	26	23	11	344
大会議室	52	54	54	61	60	62	62	62	51	49	56	25	648
	46	42	49	51	44	48	50	50	37	37	46	20	520
第1会議室	42	54	61	59	41	59	57	62	36	53	50	32	606
	39	50	53	52	33	51	55	60	33	49	47	24	546
第2会議室	57	52	59	55	51	52	52	62	45	47	47	38	617
	50	51	53	48	42	45	49	54	42	45	46	35	560
第3会議室	64	57	72	60	59	61	56	62	52	49	55	30	677
	58	53	63	56	53	54	52	55	46	48	50	26	614
第4会議室	42	46	57	54	49	56	54	68	49	44	56	26	601
	40	38	45	47	40	48	46	54	40	39	46	20	503
第5会議室	56	52	60	62	47	57	56	56	52	46	54	35	633
	50	46	51	55	42	48	49	50	43	44	48	28	554
第6会議室	57	49	62	58	50	64	59	62	55	48	58	42	664
	47	45	53	49	43	53	52	54	49	42	50	37	574
和 室	50	49	57	41	44	48	45	55	45	42	51	29	556
	48	45	49	40	36	41	43	55	44	39	45	27	512
料 理 室	13	10	28	17	18	21	31	26	24	12	24	8	232
	9	8	18	12	10	15	23	17	15	11	16	7	161
実 習 室	38	40	44	41	31	55	40	39	37	37	43	23	468
	27	29	30	28	20	35	29	28	26	27	29	14	322
視聴覚室	66	62	70	67	67	65	63	74	52	58	55	39	738
	66	59	66	65	64	56	62	61	45	56	53	39	692
第1学習室	32	37	40	42	29	42	38	33	31	30	43	23	420
	30	32	33	35	28	34	37	33	30	28	38	21	379
第2学習室	35	42	41	39	25	42	38	39	29	34	34	23	421
	31	37	34	34	24	35	35	38	28	31	31	19	377
体 育 室	81	87	84	85	89	80	81	86	74	76	80	81	984
	78	87	80	78	83	74	77	75	66	71	74	80	923
合 計	745	760	855	813	740	838	791	854	698	683	760	479	9,016
	647	652	703	685	595	674	689	718	575	593	642	408	7,581
市民ギャラリー	2	2	4	2	4	4	2	4	2	3	2	2	33
	2	2	4	2	4	4	2	4	2	3	2	2	33

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(7) 麻生市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	56	59	56	81	69	47	71	78	57	46	53	19	692
	22	25	25	34	30	27	32	37	27	21	26	10	316
大会議室	59	71	67	72	60	46	66	69	58	44	59	24	695
	46	49	48	57	49	37	45	52	49	40	46	21	539
第1会議室	42	60	65	66	44	60	68	62	48	60	60	21	656
	35	54	58	49	35	53	58	52	39	53	52	19	557
第2会議室	47	60	61	62	34	58	63	66	53	55	51	22	632
	42	58	58	52	33	54	53	55	47	51	47	21	571
第3会議室	59	66	68	68	49	65	65	66	54	59	66	31	716
	55	60	62	59	43	58	54	51	46	52	56	27	623
第4会議室	46	44	44	59	29	41	50	53	47	46	45	25	529
	36	36	37	43	22	32	41	42	35	39	36	18	417
和 室	53	58	62	70	53	63	57	68	65	49	53	26	677
	51	55	57	60	51	61	52	58	56	49	52	22	624
実 習 室	48	51	60	65	36	56	60	64	55	46	54	17	612
	45	49	54	56	36	52	52	56	48	45	47	17	557
視聴覚室	57	58	70	70	59	66	63	70	58	52	65	26	714
	56	54	62	59	55	62	56	60	47	48	61	25	645
料 理 室	17	39	42	48	25	32	41	43	39	36	37	4	403
	12	22	23	27	13	20	24	24	23	20	21	3	232
体 育 室	71	87	80	88	81	81	80	82	73	74	77	85	959
	63	75	67	71	76	74	61	67	54	70	73	72	823
合 計	555	653	675	749	539	615	684	721	607	567	620	300	7,285
	463	537	551	567	443	530	528	554	471	488	517	255	5,904
市民ギャラリー	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50
	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

※ 11月から3月はホール設備の改修工事を実施したため、ホールの利用を休止した。

(8) 教育文化会館大師分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	57	63	76	68	65	73	71	74	59	66	68	52	792
	57	63	75	67	65	73	71	68	59	65	64	51	778
第2学習室	50	53	65	59	54	63	66	63	49	58	55	37	672
	50	53	64	58	54	63	66	57	49	57	51	36	658
実習室	51	50	53	49	43	48	52	59	45	44	51	33	578
	45	45	50	45	41	44	48	49	41	41	46	29	524
和室	32	36	36	33	22	35	37	46	32	29	41	23	402
	31	33	33	33	22	35	35	39	32	29	39	21	382
児童室	9	7	11	15	8	9	11	18	10	13	11	2	124
	9	7	11	14	8	9	11	12	9	11	10	2	113
合計	199	209	241	224	192	228	237	260	195	210	226	147	2,568
	192	201	233	217	190	224	231	225	190	203	210	139	2,455

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(9) 教育文化会館田島分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	67	69	69	71	65	74	64	66	49	68	65	41	768
	67	69	70	72	68	75	65	68	55	69	69	43	790
第2学習室	67	69	67	70	63	73	65	64	48	64	61	38	749
	67	69	68	71	66	74	66	66	54	65	65	40	771
実習室	27	28	26	31	19	28	30	32	27	27	34	21	330
	29	31	28	37	21	28	30	33	37	31	38	23	366
和室	38	39	35	42	29	38	38	40	36	35	34	20	424
	39	39	37	44	30	40	39	42	42	38	37	22	449
児童室	6	7	7	7	4	9	9	5	9	5	6	3	77
	6	7	8	7	4	9	9	5	15	5	6	3	84
合計	205	212	204	221	180	222	206	207	169	199	200	123	2,348
	208	215	211	231	189	226	209	214	203	208	215	131	2,460

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(10) 幸市民館日吉分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	37	35	35	34	34	31	37	36	34	31	28	18	390
	32	32	31	32	30	31	34	34	33	28	26	17	360
第2学習室	37	25	29	40	20	32	34	49	34	37	33	12	382
	29	20	24	29	18	28	29	33	27	30	25	12	304
第3学習室	52	42	62	62	53	58	57	62	55	51	47	28	629
	51	41	58	59	49	55	53	57	47	49	43	27	589
第4学習室	55	45	65	67	55	59	60	63	60	58	54	33	674
	54	44	61	64	51	56	56	58	52	56	50	32	634
実習室	16	16	18	22	14	20	15	25	24	18	23	4	215
	14	14	15	17	10	16	12	20	19	14	18	3	172
和室	16	20	21	19	18	16	18	18	18	16	12	6	198
	16	19	20	16	15	15	17	17	16	15	12	6	184
合計	213	183	230	244	194	216	221	253	225	211	197	101	2,488
	196	170	209	217	173	201	201	219	194	192	174	97	2,243

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(11) 高津市民館橋分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	36	30	37	37	28	33	28	43	31	28	38	27	396
	22	20	26	26	17	23	21	28	17	20	23	17	260
第2学習室	30	14	22	31	17	26	21	26	18	17	19	16	257
	18	13	19	21	16	22	20	20	16	16	18	14	213
第3学習室	1	5	2	4	3	7	4	3	6	7	2	12	56
	1	5	2	4	3	7	4	3	6	7	2	12	56
第4学習室	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
第3・4学習室合併	71	63	65	73	71	67	62	77	62	65	65	40	781
	66	62	62	63	68	64	60	67	58	62	64	40	736
実習室	15	19	20	26	21	20	30	31	27	23	28	12	272
	10	12	13	15	12	14	21	21	18	16	17	9	178
和室	20	23	26	26	17	23	25	43	26	21	25	12	287
	18	23	25	23	15	21	22	32	22	19	23	10	253
児童室	5	13	15	7	10	10	15	18	13	7	7	0	120
	5	12	14	7	9	10	14	13	11	7	7	0	109
合 計	178	167	187	204	167	186	185	243	185	168	184	119	2,173
	140	147	161	159	140	161	162	186	150	147	154	102	1,809

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(12) 宮前市民館菅生分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	58	52	55	53	48	55	50	58	46	52	56	49	632
	56	52	52	53	48	53	50	53	46	50	54	49	616
和室	34	32	41	31	26	31	34	42	33	28	32	22	386
	34	32	37	31	26	31	34	38	33	28	32	22	378
学習室	34	33	38	34	30	33	45	43	30	30	30	11	391
	34	32	35	34	28	32	39	40	30	27	29	11	371
児童室	21	23	39	35	24	28	42	38	30	23	32	15	350
	11	12	20	19	14	15	31	19	16	11	16	8	192
合 計	147	140	173	153	128	147	171	181	139	133	150	97	1,759
	135	128	144	137	116	131	154	150	125	116	131	90	1,557

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(13) 麻生市民館岡上分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	30	31	43	41	33	43	49	43	37	42	44	28	464
	27	30	41	38	27	41	48	40	37	40	40	28	437
学習室	38	35	41	49	31	46	46	50	45	47	51	26	505
	35	32	38	43	27	39	41	47	41	36	45	23	447
和室	14	11	13	18	7	14	10	15	14	11	16	4	147
	14	11	11	18	7	14	10	13	11	11	15	3	138
体育室	79	80	78	84	78	81	86	81	69	74	77	70	937
	79	79	78	84	77	81	86	80	69	74	77	67	931
児童室	19	20	26	26	7	26	29	23	15	21	24	17	253
	16	15	17	17	6	21	20	15	11	15	17	11	181
合 計	180	177	201	218	156	210	220	212	180	195	212	145	2,306
	171	167	185	200	144	196	205	195	169	176	194	132	2,134

(14) 日本民家園

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入園者総数	7,771	12,289	6,528	5,394	5,395	6,341	9,943	14,976	6,322	7,964	7,828	5,486	96,237
一般	2,916	4,486	1,937	1,686	1,955	2,034	1,583	3,143	1,552	1,783	2,196	2,014	27,285
市外65歳以上	924	2,064	882	543	226	643	777	1,398	550	363	540	376	9,286
高校生・大学生	509	806	432	410	221	228	297	380	199	297	279	216	4,274
年間パスポート利用者	278	381	312	194	196	236	190	297	216	275	263	328	3,166
有料入園者数	4,627	7,737	3,563	2,833	2,598	3,141	2,847	5,381	2,517	2,718	3,278	2,934	44,174
無料入園者数	3,144	4,552	2,965	2,561	2,797	3,200	7,096	9,595	3,805	5,246	4,550	2,552	52,063
中学生以下（内数）	912	1,862	958	718	1,101	1,178	2,806	3,881	1,756	3,196	2,372	840	21,580
開園日数	26	26	26	26	27	25	24	26	24	24	24	26	304
1日平均入園者数	299	473	251	208	200	254	414	576	263	332	326	211	3,806
外国人入園者数	838	673	534	707	533	451	838	837	492	334	391	219	6,847
伝統工芸館利用者数（内数）	384	453	414	369	417	294	242	490	264	219	314	386	4,246

(15) 青少年科学館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	24,132	30,591	19,220	19,317	24,887	22,594	20,176	27,652	15,120	14,960	18,995	13,702	251,346
上記のうち	プラネタリウム観覧者	7,138	10,497	9,196	9,879	11,575	9,509	8,901	8,944	6,259	6,395	6,489	95,072
	学習投影	0	1,652	3,543	2,292	455	2,418	2,720	2,595	1,699	1,610	909	19,893
	一般投影	6,839	8,845	5,653	7,587	11,120	7,091	5,103	6,349	4,409	4,785	5,580	73,651
	一般	3,664	4,902	3,277	3,948	5,693	4,069	3,254	3,599	2,389	2,697	3,231	40,896
	65歳以上	567	746	416	468	813	556	474	609	417	381	388	5,845
	高校生・大学生	187	211	312	177	279	187	93	201	154	144	161	2,113
	中学生以下	2,421	2,986	1,648	2,994	4,335	2,279	1,282	1,940	1,449	1,563	1,800	24,797
	特別投影	299	0	0	0	0	0	1,078	0	151	0	0	1,528
	講座等参加者	907	1,388	462	671	1,570	851	552	1,010	794	888	996	10,089
	アストロテラス公開時入場者	1,728	2,855	511	321	599	1,008	542	2,287	1,335	1,185	1,532	13,903
館外活動参加者	199	137	230	533	2,430	1,061	339	2,210	1,724	1,186	628	0	10,677
自然観察会（多摩川）	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	24	0	43
生田緑地観察会	199	69	42	5	88	132	0	99	99	69	51	0	853
かわさき星空ウォッチング	0	16	0	0	342	269	0	244	449	322	162	0	1,804
ワクワクドキドキ玉手箱	0	52	188	404	85	58	167	249	132	20	166	0	1,521
かわさきサイエンスチャレンジ	0	0	0	0	1,905	0	0	0	0	0	0	0	1,905
地層観察（学校支援）	0	0	0	0	0	423	136	1,510	1,035	775	225	0	4,104
林の観察（学校支援）	0	0	0	0	0	0	36	75	0	0	0	0	111
その他	0	0	0	124	10	160	0	33	9	0	0	0	336
合 計	24,331	30,728	19,450	19,850	27,317	23,655	20,515	29,862	16,844	16,146	19,623	13,702	262,023

(16) 市民ミュージアム

※1は台風19号による被害後の館外イベントの人数 ※2は上半期の1日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
常 設 展	10,459	11,996	8,697	5,919	4,081	9,890	2,983	0	0	0	0	0	54,025
企 画 展	有 料	4,860	10,234	8,722	3,694	5,176	2,810	285	0	0	0	0	35,781
	無 料	3,430	10,251	9,058	10,726	15,709	8,736	3,406	0	0	0	0	61,316
映像ホール	有 料	585	665	332	450	535	417	212	0	0	0	0	3,196
	無 料	160	530	245	241	450	218	78	0	0	0	0	1,922
ミニホール	58	59	63	224	65	238	18	0	0	0	0	0	725
館内イベント・講座等	791	1,138	256	856	1,408	221	56	0	0	0	0	0	4,726
ミュージアムライブラリー(図書)	833	946	985	3,016	2,802	1,203	319	0	0	0	0	0	10,104
ミュージアムライブラリー(映像)	190	220	210	219	280	240	78	0	0	0	0	0	1,437
ミュージアムライブラリー(閲覧)	7	5	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	19
研修室等利用者	46	222	26	76	133	90	12	0	0	0	0	0	605
ミュージアムギャラリー1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等	7	0	14	0	0	0	40※1	23※1	0※1	1,280※1	1,753※1	311※1	3,428
合 計	21,426	36,266	28,610	25,423	30,640	24,065	7,487	23	0	1,280	1,753	311	177,284
利用者累計		57,692	86,302	111,725	142,365	166,430	173,917	173,940	173,940	175,220	176,973	177,284	
開館日数	26	27	26	26	27	25	10	0	0	0	0	0	167
1日平均利用者数	824	1,343	1,100	978	1,135	963	749	-	-	-	-	-	1,060※2

展示室別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
企 画 展 示 室 1	有 料	4,632	10,037	8,546	2,851	3,920	1,698	285	0	0	0	0	31,969
	一 般	3,650	7,377	5,713	2,638	3,566	1,519	214	0	0	0	0	24,677
	シニア	421	1,229	951	123	175	114	47	0	0	0	0	3,060
	高校・大学生	120	203	196	53	144	52	13	0	0	0	0	781
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般(団体)	391	1,062	1,410	35	33	12	11	0	0	0	0	2,954
	シニア(団体)	37	138	230	2	1	1	0	0	0	0	0	409
	高・大生(団体)	13	28	46	0	1	0	0	0	0	0	0	88
	その他(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無 料	1,288	3,568	2,947	3,342	4,749	1,780	190	0	0	0	0	17,864
	招待券	419	620	1,218	265	459	336	70	0	0	0	0	3,387
	障害者等	405	871	785	407	476	283	69	0	0	0	0	3,296
	中学生以下	457	1,133	922	2,642	3,775	1,118	46	0	0	0	0	10,093
企 画 展 示 室 2	取 材	4	10	0	6	1	4	1	0	0	0	0	26
	その他	3	934	22	22	38	39	4	0	0	0	0	1,062
	有 料	228	197	176	843	1,256	1,112	0	0	0	0	0	3,812
	一 般	203	162	157	690	1,064	954	0	0	0	0	0	3,230
	シニア	22	25	15	99	120	102	0	0	0	0	0	383
	高校・大学生	3	10	4	50	69	52	0	0	0	0	0	188
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般(団体)	0	0	0	3	3	4	0	0	0	0	0	10
	シニア(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生(団体)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無 料	2,142	6,683	6,111	5,206	7,583	2,347	1,486	0	0	0	0	31,558
	招待券	1,683	5,417	5,380	2,737	3,885	1,162	0	0	0	0	0	20,264
ア ー ト ギ ャ ラ リ ー	障害者等	119	242	242	335	390	199	0	0	0	0	0	1,527
	中学生以下	337	614	454	2,112	3,282	984	596	0	0	0	0	8,379
	取 材	0	2	0	6	2	0	0	0	0	0	0	10
	その他	3	408	35	16	24	2	890	0	0	0	0	1,378
	有 料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映 像 ホ ー ル	無 料	0	0	0	2,178	3,377	4,609	1,730	0	0	0	0	11,894
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	1,597	769	0	0	0	0	2,366
	取 材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2,178	3,377	3,012	961	0	0	0	0	9,528
	有 料	585	665	332	450	535	417	212	0	0	0	0	3,196
	一 般	309	469	162	235	276	207	135	0	0	0	0	1,793
	シニア	228	152	154	185	225	197	65	0	0	0	0	1,206
	高・大生	11	11	9	7	5	9	11	0	0	0	0	63
	小・中	35	24	0	17	23	1	0	0	0	0	0	100
	優待割引	1	7	1	1	0	2	1	0	0	0	0	13
	スカラチケット	1	2	6	5	6	1	0	0	0	0	0	21
	無 料	160	530	245	241	450	218	78	0	0	0	0	1,922
映 像 ホ ー ル	招待券	0	3	0	2	0	24	2	0	0	0	0	31
	障害者等	97	132	72	71	105	73	26	0	0	0	0	576
	幼 児	63	4	1	14	32	0	0	0	0	0	0	114
	その他	0	391	172	154	313	121	50	0	0	0	0	1,201

(17) 岡本太郎美術館

内訳				月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設	有	一般	個人	582	-	-	-	-	-	-	654	-	-	706	952	-	2,894
			団体	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	0	
	料	大学生・高校生	個人	40	-	-	-	-	-	31	-	-	99	79	-	249	
			団体	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	0	
	設	65歳以上	個人	138	-	-	-	-	-	-	60	-	-	67	75	-	340
			団体	0	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	0
展覧	無	一般	個人	238	-	-	-	-	-	-	924	-	-	530	473	-	2,165
			団体	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	0	
	料	※学生	個人	81	-	-	-	-	-	395	-	-	196	317	-	989	
			団体	197	-	-	-	-	-	9	-	-	762	170	-	1,138	
		65歳以上	個人	23	-	-	-	-	-	28	-	-	19	30	-	100	
			団体	8	-	-	-	-	-	0	-	-	0	0	-	8	
企画展	有	一般	個人	2,149	2,565	1,685	1,547	3,111	2,282	1,315	3,075	1,631	1,210	1,636	2,413	24,619	
			団体	0	0	8	13	25	21	24	147	0	0	0	0	238	
		大学生・高校生	個人	199	175	149	127	389	191	113	265	182	106	179	366	2,441	
			団体	0	0	117	18	0	0	0	70	0	0	0	0	205	
	画	料	65歳以上	個人	357	673	314	179	261	304	312	590	243	130	200	251	3,814
				団体	0	0	0	21	0	56	0	56	0	0	0	0	133
展覧	無	一般	個人	1,308	1,947	1,257	1,036	2,345	1,380	1,216	2,122	1,252	880	864	1,130	16,737	
			団体	0	0	0	40	35	0	17	0	0	0	0	0	92	
	料	※学生	個人	619	639	296	782	1,837	499	296	799	374	373	367	695	7,576	
			団体	0	446	315	241	91	697	971	1,105	945	375	69	0	5,255	
		65歳以上	個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			団体	0	0	0	0	5	0	76	52	0	0	11	0	144	
その他イベント参加者				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利用者合計				5,939	6,445	4,141	4,004	8,099	5,430	6,441	8,281	4,627	5,453	5,422	4,855	69,137	
開館日数(内常設展のみ)				26(12)	26	26	16	27	25	19(7)	26	24	22(15)	24(13)	26	289(47)	
一日平均利用者数				228	248	159	250	300	217	339	319	193	248	226	187	243	

※個人：中学生以下

団体：学校等（高校以下）

(18) 大山街道ふるさと館

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
イベントホール	1,067	1,176	1,463	1,441	1,092	1,736	1,787	1,687	1,432	1,377	1,014	580	15,852
	38	38	49	46	35	48	50	47	39	45	39	23	497
和室	208	260	322	196	198	183	198	238	182	242	217	127	2,571
	37	46	51	36	37	32	31	38	29	36	33	23	429
第1会議室	429	357	386	343	348	323	441	459	402	381	404	359	4,632
	45	41	48	38	37	39	51	49	45	41	46	40	520
第2会議室	709	545	597	636	437	644	811	632	793	637	644	486	7,571
	48	45	42	47	34	47	57	45	47	44	44	33	533
第1会議室 第2会議室 合併使用	40	244	259	45	115	217	69	231	50	194	196	25	1,685
	1	7	7	2	7	8	3	7	2	8	6	1	59
貸館利用者数合計	2,453	2,582	3,027	2,661	2,190	3,103	3,306	3,247	2,859	2,831	2,475	1,577	32,311
※展示室	597	848	1,335	1,042	814	486	308	771	527	704	1,269	441	9,142
	30	31	25	31	30	30	24	30	26	27	27	31	342
総入館者数	4,892	5,368	6,884	8,517	5,147	5,482	5,616	5,693	4,267	4,738	8,882	3,736	69,222

各室の上段は利用者数 下段は件数（午前・午後・夜間） ※展示室の下段は開室日数

(19) 東海道かわさき宿交流館

室別／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館者数	3,713	3,547	4,294	2,806	2,774	3,817	4,200	3,628	3,393	3,819	3,763	1,963	41,717
集会室1／回	48	58	56	59	50	53	57	67	53	49	61	32	643
集会室2／回	35	49	53	41	37	49	49	47	42	41	53	23	519
談話室／回	19	31	31	25	26	29	28	24	30	27	32	12	314

※来館者数は、集会室1・2及び談話室の人数を含めます。

(20) とどろきアリーナ

内 容 別 / 月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人 利用 状況	スポーツデー	2,524	2,718	3,255	3,230	2,035	2,811	3,239	3,257	2,993	3,340	2,607	0	32,009
	スポーツ教室	2,132	3,059	3,364	3,043	2,305	2,735	2,845	2,475	2,026	2,012	1,799	0	27,795
	トレーニング室	7,673	8,329	7,937	8,138	8,876	7,657	6,607	7,284	6,835	7,153	7,870	0	84,359
	体力測定	53	63	57	57	58	70	52	64	41	44	107	0	666
	スポーツサウナ	2,568	2,836	2,694	2,399	2,720	2,586	2,300	2,638	2,455	2,618	2,470	0	28,284
	小 計	14,950	17,005	17,307	16,867	15,994	15,859	15,043	15,718	14,350	15,167	14,853	0	173,113
団体 利用 状況	メインアリーナ	76,441	83,112	81,105	35,107	61,985	73,138	53,627	67,398	67,794	75,069	67,300	1,038	743,114
		90	92	112	108	117	115	82	63	70	50	63	17	979
	メインアリーナ 諸室	1,960	1,470	2,700	2,070	2,860	1,860	1,340	1,600	2,070	1,790	2,200	80	22,000
		196	147	270	207	286	186	134	160	207	179	220	8	2,200
	サブアリーナ	4,507	8,813	4,748	6,120	10,565	9,352	5,335	5,518	3,651	7,011	8,231	1,627	75,478
		220	223	225	211	234	223	192	223	207	195	200	72	2,425
	体育室 1	1,727	1,855	1,655	1,825	1,854	1,832	1,195	1,951	1,535	2,083	2,050	672	20,234
		89	90	94	110	97	100	84	99	88	89	93	30	1,063
	体育室 2	2,236	1,842	1,819	1,745	1,448	1,699	1,038	1,667	1,604	2,064	2,087	911	20,160
		102	104	97	108	95	100	89	108	95	97	94	37	1,126
	研修室 1	768	1,359	1,434	1,274	1,246	1,613	1,276	1,566	1,012	1,263	1,549	301	14,661
		70	82	90	96	84	88	78	102	80	79	84	16	949
	研修室 2	482	441	660	773	1,001	755	560	709	780	1,305	1,270	93	8,829
		78	78	80	96	82	81	85	92	86	78	88	6	930
	小 計	88,121	98,892	94,121	48,914	80,959	90,249	64,371	80,409	78,446	90,585	84,687	4,722	904,476
		845	816	968	936	995	893	744	847	833	767	842	186	9,672
合計利用者数		103,071	115,897	111,428	65,781	96,953	106,108	79,414	96,127	92,796	105,752	99,540	4,722	1,077,589

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。

ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

※ 団体利用人数・件数には、館主催事業であるスポーツデー及びスポーツ教室等も含まれる。

(21) カルッツかわさき

			第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合計
			4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計	
個人利用	スポーツデー		1,405	1,022	1,406	3,833	1,656	1,024	1,607	4,287	1,685	1,281	1,548	4,514	1,584	1,411	0	2,995	15,629
	スポーツ教室		2,916	2,890	2,137	7,943	3,616	1,909	2,258	7,783	3,530	2,437	2,344	8,311	3,263	2,688	0	5,951	29,988
	トレ室		6,484	7,015	6,841	20,340	7,399	6,852	6,349	20,600	5,923	5,941	5,176	17,040	5,876	5,861	0	11,737	69,717
	弓道場		726	1,054	974	2,754	873	789	816	2,478	743	697	668	2,108	668	690	0	1,358	8,698
	小計		11,531	11,981	11,358	34,870	13,544	10,574	11,030	35,148	11,881	10,356	9,736	31,973	11,391	10,650	0	22,041	124,032
団体利用	大体育室	人	4,766	3,848	6,248	14,862	4,253	8,010	10,567	22,830	6,283	28,370	7,213	41,866	5,036	12,055	1,624	18,715	98,273
		件	118	78	145	341	127	163	156	446	139	186	134	459	130	148	87	365	1,611
	小体育室	人	1,905	1,911	7,123	10,939	2,341	2,574	2,495	7,410	2,087	10,932	2,014	15,033	1,726	1,353	1,069	4,148	37,530
		件	64	72	69	205	65	76	67	208	64	88	61	213	56	72	58	186	812
	武道室畳	人	526	651	512	1,689	732	787	643	2,162	582	786	541	1,909	553	709	384	1,646	7,406
		件	45	54	56	155	57	71	48	176	49	65	39	153	37	60	38	135	619
	武道室床	人	652	637	604	1,893	884	798	625	2,307	712	766	458	1,936	702	759	572	2,033	8,169
		件	49	57	59	165	64	63	48	175	61	71	43	175	47	68	51	166	681
	研修室1	人	376	361	525	1,262	362	406	285	1,053	294	355	337	986	189	324	198	711	4,012
		件	35	43	53	131	44	72	54	170	44	63	37	144	40	44	16	100	545
	研修室2	人	346	274	378	998	302	365	258	925	322	322	320	964	189	273	132	594	3,481
		件	38	44	49	131	40	68	44	152	42	64	38	144	42	37	14	93	520
	選手控1	人	179	113	277	569	196	227	140	563	168	138	209	515	275	104	94	473	2,120
		件	15	12	17	44	14	16	12	42	17	25	15	57	16	12	9	37	180
	選手控2	人	117	48	273	438	110	213	295	618	159	191	228	578	165	186	0	351	1,985
		件	12	19	22	53	11	47	43	101	28	54	29	111	21	31	0	52	317
	役員室	人	117	57	273	447	114	211	326	651	169	286	256	711	165	186	0	351	2,160
		件	12	20	22	54	11	47	43	101	24	56	29	109	21	31	0	52	316
	弓道場	人	68	78	205	351	86	122	272	480	134	289	109	532	117	140	0	257	1,620
		件	18	20	38	76	18	44	46	108	32	56	33	121	31	43	0	74	379
	小計	人	9,052	7,978	16,418	33,448	9,380	13,713	15,906	38,999	10,910	42,435	11,685	65,030	9,117	16,089	4,073	29,279	166,756
		件	406	419	530	1,355	451	667	561	1,679	500	728	458	1,686	441	546	273	1,260	5,980
利用者合計			20,583	19,959	27,776	68,318	22,924	24,287	26,936	74,147	22,791	52,791	21,421	97,003	20,508	26,739	4,073	51,320	290,788

※団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。
ただし、半面利用可能施設は、半面を1件、全面利用を2件とする。

(22) 川崎市幸スポーツセンター

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
個人利用	スポーツデー		2,997	2,556	3,001	3,118	2,758	2,667	5,962	2,896	2,610	2,722	2,474	0	33,761
	スポーツ教室		1,710	1,692	1,581	1,965	1,256	1,380	1,987	1,811	1,118	1,711	1,615	0	17,826
	トレーニング室		6,541	7,128	6,997	7,233	7,441	7,077	6,586	6,357	5,755	6,134	6,340	0	73,589
	小 計		11,248	11,376	11,579	12,316	11,455	11,124	14,535	11,064	9,483	10,567	10,429	0	125,176
団体利用	大体育室	人数	4,396	6,890	4,550	3,406	4,863	7,416	5,775	4,270	5,070	8,411	4,989	1,621	61,657
		件数	119	142	125	115	139	139	108	141	125	126	145	62	1,486
	小体育室	人数	603	562	595	751	700	1,070	613	909	1,069	552	656	780	8,860
		件数	30	35	36	36	36	39	34	32	25	29	37	32	401
	研修室	人数	694	882	1,303	1,115	1,313	4,017	816	1,248	1,411	6,283	1,601	159	20,842
		件数	88	92	113	90	99	122	98	111	110	114	102	38	1,177
	小 計	人数	5,693	8,334	6,448	5,272	6,876	12,503	7,204	6,427	7,550	15,246	7,246	2,560	91,359
		件数	237	269	274	241	274	300	240	284	260	269	284	132	3,064
利用者数合計			16,941	19,710	18,027	17,588	18,331	23,627	21,739	17,491	17,033	25,813	17,675	2,560	216,535

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後・夜間を各1件とする。ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(23) 川崎市高津スポーツセンター

		第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合 計	
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計		
個人利用	スポーツデー	3,538	3,161	3,761	10,460	4,145	3,227	3,120	10,492	3,721	3,453	3,586	10,760	3,122	2,862	0	5,984	37,696	
	スポーツ教室	3,400	4,301	4,427	12,128	3,923	3,105	4,294	11,322	4,736	4,647	3,667	13,050	4,045	3,516	0	7,561	44,061	
	トレーニング室	5,697	6,177	6,476	18,350	6,583	6,766	6,399	19,748	5,900	5,483	4,898	16,281	5,554	5,592	0	11,146	65,525	
	小 計	12,635	13,639	14,664	40,938	14,651	13,098	13,813	41,562	14,357	13,583	12,151	40,091	12,721	11,970	0	24,691	147,282	
団体利用	大体育室	人数	6,305	10,634	8,286	25,225	7,442	6,847	11,416	25,705	9,132	8,499	10,306	27,937	5,373	7,775	3,863	17,011	95,878
		件数	114	148	120	382	121	149	140	410	124	129	111	364	120	133	182	435	1,591
	小体育室	人数	1,825	2,700	2,308	6,833	20,707	1,146	2,350	24,203	2,556	3,137	3,125	8,818	2,050	4,644	966	7,660	47,514
		件数	60	64	60	184	52	53	62	167	52	61	54	167	54	59	45	158	676
	第1武道室	人数	664	656	735	2,055	1,419	719	739	2,877	634	972	658	2,264	1,069	884	489	2,442	9,638
		件数	64	67	66	197	66	73	72	211	64	70	63	197	71	66	53	190	795
	第2武道室	人数	799	863	1,036	2,698	1,659	844	1,033	3,536	895	1,167	746	2,808	1,330	1,097	573	3,000	12,042
		件数	68	70	78	216	73	67	77	217	74	79	62	215	71	70	54	195	843
	研修室	人数	422	604	366	1,392	924	604	419	1,947	423	962	1,192	2,577	583	796	302	1,681	7,597
		件数	42	33	38	113	37	34	38	109	46	69	58	173	51	60	47	158	553
	ユニバーサル 広場	人数	24	27	7	58	27	0	13	40	32	23	32	87	22	13	16	51	236
		件数	4	6	1	11	3	0	3	6	6	5	5	16	4	3	2	9	42
	幼児体育室	人数	277	350	324	951	406	265	346	1,017	279	422	251	952	260	277	20	557	3,477
		件数	39	57	60	156	45	42	47	134	40	43	37	120	40	41	3	84	494
	小 計	人数	10,316	15,834	13,062	39,212	32,584	10,425	16,316	59,325	13,951	15,182	16,310	45,443	10,687	15,486	6,229	32,402	176,382
		件数	391	445	423	1,259	397	418	439	1,254	406	456	390	1,252	411	432	386	1,229	4,994
利用者数合計		22,951	29,473	27,726	80,150	47,235	23,523	30,129	100,887	28,308	28,765	28,461	85,534	23,408	27,456	6,229	57,093	323,664	

(24) 川崎市宮前スポーツセンター

令和元年度宮前スポーツセンター 利用者数等 一覧

			第 1 四半期				第 2 四半期				第 3 四半期				第 4 四半期				合 計	
			4 月	5 月	6 月	小計	7 月	8 月	9 月	小計	1 0 月	1 1 月	1 2 月	小計	1 月	2 月	3 月	小計		
個人利用	スポーツデー		2,640	2,195	2,425	7,260	2,851	2,075	2,245	7,171	2,605	2,255	2,412	7,272	2,292	2,078	0	4,370	26,073	
	スポーツ教室		3,443	3,331	3,257	10,031	3,670	2,391	3,030	9,091	3,643	3,336	3,045	10,024	3,215	2,896	0	6,111	35,257	
	トレーニング室		5,157	5,509	5,932	16,598	5,636	5,585	5,344	16,565	4,989	4,850	4,413	14,252	4,578	4,574	0	9,152	56,567	
	小 計		11,240	11,035	11,614	33,889	12,157	10,051	10,619	32,827	11,237	10,441	9,870	31,548	10,085	9,548	0	19,633	117,897	
団体利用	大体育室	人数	8,018	7,806	11,425	27,249	13,776	10,985	13,882	38,643	9,776	8,904	4,596	23,276	9,377	8,040	2,048	19,465	108,633	
		件数	222	221	224	667	231	222	229	682	221	221	210	652	205	206	80	491	2,492	
	小体育室	人数	2,485	2,224	3,075	7,784	3,075	2,843	4,227	10,145	3,187	2,065	1,237	6,489	2,696	2,000	1,110	5,806	30,224	
		件数	101	100	108	309	108	98	106	312	106	106	98	310	97	103	71	271	1,202	
	研修室1	人数	651	1,289	955	2,895	1,373	1,712	3,097	6,182	837	678	407	1,922	1,424	797	194	2,415	13,414	
		件数	76	75	85	236	86	73	87	246	83	80	71	234	67	72	29	168	884	
	研修室2	人数	440	819	886	2,145	1,127	460	741	2,328	560	633	737	1,930	460	585	367	1,412	7,815	
		件数	64	66	67	197	77	57	76	210	76	72	74	222	66	70	34	170	799	
		人数				0				0				0				0	0	
		件数				0				0				0				0	0	
		人数				0				0				0				0	0	
		件数				0				0				0				0	0	
	小 計	人数	11,594	12,138	16,341	40,073	19,351	16,000	21,947	57,298	14,360	12,280	6,977	33,617	13,957	11,422	3,719	29,098	160,086	
		件数	463	462	484	1,409	502	450	498	1,450	486	479	453	1,418	435	451	214	1,100	5,377	
利用者数合計		22,834	23,173	27,955	73,962	31,508	26,051	32,566	90,125	25,597	22,721	16,847	65,165	24,042	20,970	3,719	48,731	277,983		

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後・夜間を各1件とする。ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(25) 川崎市多摩スポーツセンター

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
スポーツデー	大体育室	1,935	1,593	1,686	1,653	1,417	1,526	2,242	1,643	1,871	1,691	1,517	0
	小体育室	346	366	385	356	360	382	370	374	305	317	295	0
	第1武道室	111	76	101	119	66	97	127	107	96	132	108	0
	第2武道室	23	51	21	23	23	27	22	34	14	24	15	0
	研修室	52	52	42	36	35	38	83	44	44	42	45	0
	温水プール	281	276	250	301	244	277	270	310	223	239	208	0
	合計	2,748	2,414	2,485	2,488	2,145	2,347	3,114	2,512	2,553	2,445	2,188	0
スポーツ教室	大体育室	578	733	718	1,345	486	800	925	469	723	1,036	786	0
	小体育室	1,348	1,611	1,742	1,263	1,216	1,759	1,885	1,174	1,671	1,556	1,561	0
	第1武道室	79	97	101	74	102	135	310	62	158	166	157	0
	第2武道室	158	195	208	151	151	161	259	147	366	365	259	0
	研修室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アーチェリー練習場	64	60	98	54	39	71	67	86	0	0	0	0
	テニスコート	759	1,134	1,208	994	695	1,051	1,024	792	1,116	947	1,136	0
	温水プール	1,977	2,621	1,999	2,963	1,899	2,615	2,144	3,101	2,140	2,612	2,423	0
個人利用	合計	4,963	6,451	6,074	6,844	4,588	6,592	6,614	5,831	6,174	6,682	6,322	0
	テニスコート	1,168	1,186	954	1,022	1,176	1,072	951	1,018	961	661	1,054	1,048
	温水プール	3,713	4,106	4,750	5,323	7,218	5,332	4,089	3,229	2,769	3,274	3,771	0
	トレーニング室	5,570	5,716	5,800	5,803	6,211	5,662	5,205	5,124	4,676	5,325	5,422	0
団体利用	合計	10,451	11,008	11,504	12,148	14,605	12,066	10,245	9,371	8,406	9,260	10,247	1,048
	大体育室	6,380	15,060	12,694	18,586	10,349	15,995	10,460	13,002	12,954	6,031	10,492	3,712
		118	126	129	107	138	129	100	119	111	98	117	83
	小体育室	1,503	5,875	806	1,759	843	815	3,587	2,006	918	1,180	1,044	578
		77	63	60	77	69	62	60	68	58	64	63	53
	第1武道室	1,121	1,127	1,258	1,866	1,146	3,191	1,591	1,464	1,062	1,838	1,021	668
		74	80	81	87	89	86	81	84	71	81	80	61
	第2武道室	1,110	1,087	991	1,157	735	1,100	1,319	1,197	1,040	835	984	502
		66	61	66	67	52	67	69	69	60	51	62	46
	研修室	412	1,341	1,638	1,821	707	2,930	510	1,784	385	301	1,789	34
		25	26	29	26	25	38	14	31	26	9	26	4
	アーチェリー練習場	916	1,180	1,026	1,095	1,117	1,012	888	883	1,169	1,092	1,228	884
		83	100	81	90	94	79	76	78	83	82	89	81
	野球場	2,663	1,789	2,976	814	3,831	5,758	976	1,306	2,478	470	4,502	732
		56	33	38	35	73	71	32	37	39	25	58	51
	温水プール	234	1,359	702	676	186	351	4,270	1,300	18	18	0	0
		2	3	11	12	6	6	7	1	2	2	0	0
	上段利用者数合計	14,339	28,818	22,091	27,774	18,914	31,152	23,601	22,942	20,024	11,765	21,060	7,110
	利用数合計	32,501	48,691	42,154	49,254	40,252	52,157	43,574	40,656	37,157	30,152	39,817	8,158

(26) 川崎市麻生スポーツセンター

個人 利用 状況	内容別／月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	スポーツデー①		2,975	2,848	3,093	3,397	2,425	2,862	3,267	3,029	2,364	2,561	2,555	0	31,376
	スポーツ教室②		2,282	2,798	3,052	3,024	723	2,640	2,816	2,813	2,251	2,572	2,636	0	27,607
	トレーニング室		5,127	5,728	6,387	5,779	5,934	5,751	5,587	5,179	5,007	5,699	5,941	0	62,119
	その他		349	392	465	707	412	460	966	792	399	725	421	0	6,088
団体 利用 状況	小計③		10,733	11,766	12,997	12,907	9,494	11,713	12,636	11,813	10,021	11,557	11,553	0	127,190
	部屋別／月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	大体育室	人数	8,965	5,418	5,030	5,150	4,363	7,145	7,907	7,153	5,647	2,658	5,895	4,509	69,840
		件数	131	147	151	131	123	156	138	141	108	75	140	146	1,587
	小体育室	人数	1,009	1,699	1,040	1,317	1,000	882	1,077	1,210	1,217	1,018	1,002	888	13,359
		件数	51	55	51	51	59	50	56	59	55	53	59	65	664
	第一武道室	人数	1,146	1,160	1,287	1,392	1,124	989	1,244	1,550	1,180	1,347	1,373	628	14,420
		件数	71	77	84	91	71	69	83	90	79	81	86	52	934
	第二武道室	人数	1,467	1,525	1,668	1,483	1,377	1,426	1,549	1,660	1,548	1,489	1,450	414	17,056
		件数	72	83	89	82	78	74	82	89	85	81	89	39	943
	研修室他	人数	924	676	452	357	391	631	487	388	329	195	584	139	5,553
		件数	35	30	41	37	35	41	33	31	25	25	34	16	383
	小計④	人数	13,511	10,478	9,477	9,699	8,255	11,073	12,264	11,961	9,921	6,707	10,304	6,578	120,228
		件数	360	392	416	392	366	390	392	410	352	315	408	318	4,511
	合計利用者数③+④- (①+②)		24,244	22,244	22,474	22,606	17,749	22,786	24,900	23,774	19,942	18,264	21,857	6,578	247,418

※ 団体利用状況の下段は利用件数。件数は、午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。ただし、大体育室は半面利用可能であるため半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(27) 石川記念武道館

ア. 月別 団体利用人数

内容別／月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
柔道場	人数	742	773	800	952	691	970	672	807	644	526	822	496	8,895	
	件数	34	39	32	35	32	37	31	38	32	33	39	33	415	
柔 道	人数	92	132	58	172	232	211	94	165	130	111	95	31	1,523	
	件数	2	3	2	4	5	4	3	3	4	3	3	4	40	
	人数	149	62	151	46	89	97	239	168	33	111	94	20	1,259	
	件数	9	8	10	7	10	8	10	13	4	8	9	5	101	
	人数	302	417	393	562	164	489	122	261	336	88	422	378	3,934	
	件数	10	16	9	13	8	13	6	8	12	6	10	16	127	
	人数	19	—	31	—	—	—	56	—	—	—	—	—	106	
	件数	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	
	人数	180	162	167	172	206	173	161	213	145	216	211	67	2,073	
	件数	12	12	10	11	9	12	11	14	12	16	17	8	144	
	人数	1,105	1,312	1,073	1,399	1,055	1,249	1,116	1,208	937	863	825	508	12,650	
	件数	38	47	40	43	38	43	40	45	36	28	33	42	473	
	剣 道	人数	580	638	554	463	519	601	630	625	447	504	468	361	6,390
		件数	13	18	14	12	15	15	17	16	13	13	17	32	195
人数		157	276	74	523	105	174	71	174	174	88	75	98	1,989	
件数		10	12	7	13	8	8	6	14	8	6	7	8	107	
人数		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
件数		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人数		9	28	15	20	24	29	10	20	20	25	8	22	230	
件数		1	2	2	2	2	3	1	2	2	2	1	2	22	
人数		—	4	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	12	
件数		—	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	3	
人数		359	366	430	393	407	445	405	389	288	246	274	27	4,029	
件数		14	14	17	16	13	17	16	13	11	7	8	—	146	
人数		1,847	2,085	1,873	2,351	1,746	2,219	1,788	2,015	1,581	1,389	1,647	1,004	21,545	
件数		72	86	72	78	70	80	71	83	68	61	72	75	888	

件数は、午前・午後・夜間を各1件とする。

イ. 月別 個人利用人数

内容別／月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柔道場	847	696	952	964	779	747	779	794	684	839	836	-	8,917
柔 道	264	229	294	296	191	202	284	243	174	236	187	-	2,600
合気道	384	285	447	451	375	345	283	348	321	328	281	-	3,848
空手道	140	102	137	147	117	102	84	98	108	89	122	-	1,246
少林寺拳法	56	66	73	68	96	97	127	104	81	92	120	-	980
その他	3	14	1	2	-	1	1	1	-	94	126	-	243
自主事業	543	645	575	462	375	341	621	574	278	502	427	-	5,343
剣道場	798	505	699	747	727	666	640	682	606	668	660	-	7,398
剣 道	537	329	450	474	503	449	446	465	425	465	450	-	4,993
空手道	72	50	80	64	63	56	50	48	47	62	63	-	655
少林寺拳法	80	48	88	124	73	93	67	99	56	68	73	-	869
なぎなた	97	66	73	78	77	62	72	62	64	64	72	-	787
合気道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	12	12	8	7	11	6	5	8	14	9	2	-	94
自主事業	190	206	215	161	105	220	222	136	173	97	137	-	1,862
個人利用日計	1,645	1,201	1,651	1,711	1,506	1,413	1,419	1,476	1,290	1,507	1,496	-	16,315
自主事業計	733	851	790	623	480	561	843	710	451	599	564	-	7,205
合 計	2,378	2,052	2,441	2,334	1,986	1,974	2,262	2,186	1,741	2,106	2,060	-	23,520

ウ. 月別利用人数

内容別／月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体利用	1,847	2,085	1,873	2,351	1,746	2,219	1,788	2,015	1,581	1,389	1,647	1,004	21,545
個人利用	2,378	2,052	2,441	2,334	1,986	1,974	2,262	2,186	1,741	2,106	2,060	-	23,520
合 計	4,225	4,137	4,314	4,685	3,732	4,193	4,050	4,201	3,322	3,495	3,707	1,004	45,065

(28) 視聴覚センター

(視聴覚教材利用状況)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育文化会館	貸出本数	4	1	7	14	5	9	4	5	4	11	2	1	67
	利用人数	67	0	98	1,063	375	103	45	66	398	203	0	0	2,418
幸市民館	貸出本数	1	1	10	8	3	2	2	1	2	1	1	3	35
	利用人数	3	7	72	598	109	8	14	8	54	1	6	0	880
中原市民館	貸出本数	0	0	6	12	5	0	14	0	0	14	7	12	70
	利用人数	0	0	48	843	292	0	854	0	0	360	55	30	2,482
高津市民館	貸出本数	1	6	0	22	9	10	15	8	3	1	1	1	77
	利用人数	0	160	0	4,345	112	319	1,247	118	373	6	8	0	6,688
宮前市民館	貸出本数	11	7	1	14	0	0	0	0	6	1	0	2	42
	利用人数	0	2,800	420	0	0	0	0	0	180	420	0	80	3,900
多摩市民館	貸出本数	4	0	1	7	2	3	0	3	0	1	2	5	28
	利用人数	800	0	0	0	130	12	0	27	0	20	38	190	1,217
麻生市民館	貸出本数	0	0	5	0	0	0	0	0	0	3	1	0	9
	利用人数	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150
総合教育センター	貸出本数	10	5	7	0	6	0	3	0	0	2	0	0	33
	利用人数	100	0	690	0	560	0	0	0	0	300	0	0	1,650
合 計	貸出本数	31	20	37	77	30	24	38	17	15	34	14	24	361
	利用人数	970	2,967	1,478	6,849	1,578	442	2,160	219	1,005	1,310	107	300	19,385

(29) 生涯学習プラザ

生涯学習プラザ

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
401会議室	37	31	48	46	19	29	45	53	34	29	37	14	422
303研修室	40	34	35	48	23	39	30	35	25	24	47	16	396
301会議室	40	31	42	51	28	40	50	48	39	37	40	26	472
201会議室	26	31	55	51	19	20	41	48	37	33	28	24	413
202会議室	27	26	34	39	19	15	30	39	29	19	45	17	339
101活動室	28	28	40	46	26	36	39	46	31	32	49	18	419
B1実習室	31	34	35	38	28	34	28	24	29	30	28	14	353
203活動室	122	115	129	116	102	139	128	119	112	118	122	96	1,418
402フィットネス	114	119	128	127	107	128	116	123	112	110	113	87	1,384
302多目的ルーム	131	132	143	136	129	133	138	132	126	125	132	85	1,542
合 計	596	581	689	698	500	613	645	667	574	557	641	397	7,158

会議室は午前・午後・夜間を各1件とする。

活動室、多目的ルーム、フィットネスルームは2時間単位を1件とする。

(30) 地名資料室

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入室者	86	110	127	189	283	119	119	129	71	126	198	80	1,637
図書利用	67	95	71	174	248	84	106	93	53	93	174	69	1,327
レファレンス	19	45	29	76	132	39	43	71	22	21	47	38	582

(31) 有馬・野川生涯学習支援施設
(室別・月別利用状況)

室名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	74	75	77	81	74	69	75	76	65	75	74	50	865
	73	73	76	79	71	69	75	75	64	71	73	49	848
和室	51	53	60	61	42	56	58	58	53	39	58	27	616
	51	50	57	58	38	53	54	56	53	39	56	26	591
調理室	16	19	15	21	17	17	17	17	16	14	18	3	190
	11	14	11	16	14	13	13	14	14	11	14	3	148
実習室	37	40	40	38	28	32	37	33	34	32	30	20	401
	31	32	34	33	22	27	32	29	29	28	27	17	341
和室・調理室合併	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理室・実習室合併	10	8	7	5	6	5	6	7	11	6	7	1	79
	10	8	7	5	5	5	6	7	9	5	7	1	75
和室・調理室・実習室合併	2	2	3	2	2	3	3	2	2	2	2	0	25
	2	2	3	2	2	3	3	2	2	2	2	0	25
第1学習室	29	38	34	37	34	34	31	37	29	34	32	20	389
	27	36	32	34	29	32	29	34	25	29	29	17	353
第2学習室	23	24	26	25	27	31	25	25	28	23	25	18	300
	22	20	23	22	20	27	22	22	24	20	22	18	262
第3学習室	46	39	48	47	47	46	46	43	43	40	42	34	521
	39	32	41	38	37	39	39	37	36	33	35	28	434
第1・2学習室合併	19	9	15	10	10	13	13	12	12	12	15	9	149
	18	9	15	10	10	13	13	12	12	12	14	7	145
第2・3学習室合併	3	7	4	4	3	2	3	6	6	3	4	5	50
	3	7	4	4	3	2	3	5	6	3	4	5	49
第1・2・3学習室合併	1	3	1	2	2	2	0	0	2	2	0	0	15
	1	2	1	1	1	1	0	0	1	2	0	0	10
合 計	311	317	330	333	292	310	314	316	301	282	307	187	3,600
	288	285	304	302	252	284	289	293	275	255	283	171	3,281

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。上段利用コマ数

※ 下段は、利用団体数。

(32) 青少年の家

室名等	利用数	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				年計
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計	
プレイホール	延人数	1,683	1,240	2,432	5,355	2,500	3,292	2,224	8,016	1,509	820	412	2,741	878	1,195	433	2,506	18,618
	延件数	50	37	46	133	62	59	55	176	48	19	10	77	31	40	20	91	477
音楽室	延人数	1,479	473	1,394	3,346	928	2,848	655	4,431	504	183	533	1,220	790	258	23	1,071	10,068
	延件数	38	23	30	91	39	55	25	119	23	12	24	59	30	19	3	52	321
研修室1	延人数	1,892	1,088	1,184	4,164	1,068	2,683	2,128	5,879	661	213	404	1,278	629	663	70	1,362	12,683
	延件数	60	32	23	115	33	39	51	123	25	7	9	41	22	17	3	42	321
研修室2	延人数	1,747	1,063	1,184	3,994	1,047	2,556	2,030	5,633	656	213	388	1,257	557	731	30	1,318	12,202
	延件数	59	29	23	111	30	31	49	110	25	6	8	39	16	23	2	41	301
特別研修室	延人数	855	514	872	2,241	316	2,218	926	3,460	564	33	0	597	194	490	233	917	7,215
	延件数	46	23	12	81	15	24	30	69	23	3	0	26	10	23	8	41	217
談話室	延人数	511	532	361	1,404	117	2,118	516	2,751	504	108	227	839	483	479	0	962	5,956
	延件数	9	10	12	31	6	17	15	38	20	9	7	36	9	11	0	20	125
創作活動室	延人数	531	768	979	2,278	1,597	2,752	1,707	6,056	1,239	141	326	1,706	717	235	50	1,002	11,042
	延件数	10	15	27	52	51	51	38	140	37	7	10	54	20	11	6	37	283
園庭	延人数	287	859	1,161	2,307	1,813	3,107	1,561	6,481	1,262	150	200	1,612	312	360	201	873	11,273
	延件数	9	18	31	58	58	70	34	162	39	4	6	49	9	14	12	35	304
プール	延人数				0	801	1,354		2,155				0				0	2,155
	延件数				0	26	50		76				0				0	76
計	延人数	8,985	6,537	9,567	25,089	10,187	22,928	11,747	44,862	6,899	1,861	2,490	11,250	4,560	4,411	1,040	10,011	91,212
	延件数	281	187	204	672	320	396	297	1,013	240	67	74	381	147	158	54	359	2,425
来所利用者実数		1,958	1,873	2,027	5,858	2,646	2,423	2,391	7,460	1,746	963	772	3,481	1,473	1,575	702	3,750	20,549

(33) ハケ岳少年自然の家

団体種別	実利用人数	延べ利用人数	団体数
学校団体	24, 205	72, 552	172
青少年団体	5, 003	13, 858	111
その他団体（主催、その他）	733	2, 232	6
グループ・家族	1, 419	3, 673	240
日帰り	506	506	73
総合計	31, 866	92, 821	602

(34) 黒川青少年野外活動センター

令和元年度月別利用団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青少年団体	16	17	21	20	16	24	13	16	22	13	13	8	199
日帰り	7	10	14	9	4	18	10	11	15	8	8	5	119
宿 泊	9	7	7	11	12	6	3	5	7	5	5	3	80
学 校	4	4	6	0	0	0	2	2	2	3	4	2	29
日帰り	2	4	5	0	0	0	2	2	2	3	4	0	24
宿 泊	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
官 公 庁	1	1	1	4	0	2	5	2	5	1	5	0	27
日帰り	1	1	1	4	0	2	5	2	4	1	5	0	26
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
そ の 他	55	53	57	50	47	48	54	68	45	45	43	37	602
日帰り	53	46	54	47	42	45	48	60	42	42	38	31	548
宿 泊	2	7	3	3	5	3	6	8	3	3	5	6	54
合 計	76	75	85	74	63	74	74	88	74	62	65	47	857
日帰り	63	61	74	60	46	65	65	75	63	54	55	36	717
宿 泊	13	14	11	14	17	9	9	13	11	8	10	11	140

令和元年度月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青少年団体	1028	1014	734	1214	1646	1109	605	837	1001	761	754	260	10963
日帰り	295	701	418	366	169	661	403	541	685	223	344	108	4914
宿 泊	733	313	316	848	1477	448	202	296	316	538	410	152	6049
学 校	394	296	580	0	0	0	74	47	286	136	338	82	2233
日帰り	164	296	424	0	0	0	74	47	286	136	338	0	1765
宿 泊	230	0	156	0	0	0	0	0	0	0	0	82	468
官 公 庁	9	15	30	151	0	45	179	110	241	20	103	0	903
日帰り	9	15	30	151	0	45	179	110	91	20	103	0	753
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	150
そ の 他	856	1119	1102	789	1067	829	873	1538	1467	991	1109	793	12533
日帰り	806	921	960	651	897	708	735	1111	1339	861	993	686	10668
宿 泊	50	198	142	138	170	121	138	427	128	130	116	107	1865
合 計	2287	2444	2446	2154	2713	1983	1731	2532	2995	1908	2304	1135	26632
日帰り	1274	1933	1832	1168	1066	1414	1391	1809	2401	1240	1778	794	18100
宿 泊	1013	511	614	986	1647	569	340	723	594	668	526	341	8532

(35) 子ども夢パーク

			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用報告	利用者数	乳幼児	1,375	1,900	1,898	2,029	1,538	2,239	1,505	1,814	798	1,133	1,470	1,734	19,433
		小学生	2,083	1,854	1,824	2,317	2,555	2,063	2,040	2,531	1,338	1,312	1,478	2,004	23,399
		中学生	720	665	711	719	706	698	791	917	664	650	707	1,178	9,126
		高校生	602	735	672	892	689	803	784	847	602	793	727	943	9,089
		おとな	2,142	2,804	2,069	2,844	2,317	2,724	2,215	2,908	1,563	2,000	2,021	2,309	27,916
	合計(人)		6,922	7,958	7,174	8,801	7,805	8,527	7,335	9,017	4,965	5,888	6,403	8,168	88,963
	団体利用(件)	乳幼児	11	23	32	25	6	25	18	29	14	6	12	15	216
		小学校	10	7	12	17	37	13	10	7	5	3	3	1	125
		その他	11	9	8	7	6	6	12	8	8	8	8	0	91
	視察・見学取材等	団体	13	25	17	27	13	15	20	14	10	11	13	1	179
		個人	5	11	5	6	10	14	8	15	9	1	23	13	120
	合計(団体)		50	75	74	82	72	73	68	73	46	29	59	30	731
スタジオ	スタジオ登録	講習会回／月	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	0	23
		受講者数／月	18	11	16	14	19	12	9	14	15	15	12	0	155
		登録者(のべ)	3,426	3,437	3,453	3,467	3,486	3,498	3,507	3,521	3,536	3,551	3,563	3,563	3,563
	スタジオ利用	利用可能コマ数／月	284	294	284	258	292	278	274	264	244	224	274	30	3,000
		利用コマ数／月	109	109	75	117	143	164	134	109	125	143	138	18	1,384
		稼働率	38.4%	37.1%	26.4%	45.3%	49.0%	59.0%	48.9%	41.3%	51.2%	63.8%	50.4%	60.0%	46.1%
		利用者計	148	195	152	230	270	362	228	168	243	343	303	38	2,680

3. 学校施設開放校一覧表

体育館開放 166校

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
小 学 校	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 浅田小 東大島小 向小 田島小 新町小 旭町小 宮前小 川崎小 京町小 20	幸町小 南河原小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 日吉小 小倉小 南加瀬小 夢見ヶ崎小 13	下河原小 平間小 玉川小 下沼部小 荻宿小 木月小 東住吉小 住吉小 井田小 今井小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中 新城小 大谷戸小 小杉小 19	子母口小 橘小 末長小 新作小 東高津小 坂戸小 久本小 下作延小 高津小 梶ヶ谷小 西梶ヶ谷小 久末小 上作延小 南原小 久地小 15	野川小 西野川小 南野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 平小 白幡台小 菅生小 稗原小 犬蔵小 土橋小 17	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 東菅小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小 14	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 王禅寺中央小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小 15 (計 1 1 3)
中 学 校	大師中 南大師中 川中島中 桜本中 臨港中 田島中 京町中 渡田中 富士見中 川崎中 10	南河原中 御幸中 塚越中 日吉中 南加瀬中 5	平間中 玉川中 住吉中 井田中 今井中 中原中 宮内中 西中原中 8	東橘中 橘中 高津中 東高津中 西高津中 5	宮崎中 野川中 有馬中 向丘中 平中 菅生中 犬蔵中 7	稲田中 枅形中 中野島中 南菅中 菅中 生田中 南生田中 7	西生田中 金程中 長沢中 麻生中 王禅寺中央中 白鳥中 はるひ野中 7 (計 4 9)
特別 支援 学校	田島支援 田島支援桜校 2		ろう学校 1	中央支援 1			(計 4)
計	3 2校	1 8校	2 8校	2 1校	2 4校	2 1校	2 2校

校庭開放 144校

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
小 学 校	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 浅田小 東大島小 向小 田島小 新町小 旭町小 宮前小 川崎小 京町小 20	幸町小 南河原小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 日吉小 小倉小 南加瀬小 夢見ヶ崎小 13	下河原小 平間小 玉川小 下沼部小 荏宿小 木月小 東住吉小 住吉小 井田小 今井小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中小 新城小 大谷戸小 小杉小 19	子母口小 橘小 末長小 新作小 東高津小 坂戸小 久本小 下作延小 高津小 梶ヶ谷小 西梶ヶ谷小 久末小 上作延小 南原小 久地小 15	野川小 西野川小 南野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 平小 白幡台小 菅生小 稗原小 犬蔵小 16	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 東菅小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小 14	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 王禅寺中央小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小 15 (計112)
中 学 校	南大師中 桜本中 田島中 京町中 渡田中 川崎中 6	塚越中 日吉中 2	平間中 玉川中 住吉中 井田中 中原中 西中原中 6	東橘中 橘中 高津中 東高津中 4	野川中 平中 犬蔵中 3	稲田中 枳形中 南菅中 菅中 4	金程中 長沢中 麻生中 白鳥中 4 (計29)
特別 支援 学校	田島支援桜校 1		ろう学校 1	中央支援 1			(計3)
計	27校	15校	26校	20校	19校	18校	19校

夜間校庭開放 7校

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
臨港中	塚越中	東住吉小	久本小	菅生中	南生田中	麻生小

特別教室

1 3 6 校

小 学 校	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 浅田小 東大島小 向小 田島小 新町小 宮前小 川崎小 京町小 19	幸町小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 小倉小 夢見ヶ崎小 10	下河原小 平間小 木月小 東住吉小 井田小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中 新城小 大谷戸小 小杉小 14	橘小 末長小 新作小 東高津小 久本小 下作延小 高津小 西梶ヶ谷小 久末小 久地小 10	野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 稗原小 犬蔵小 土橋小 12	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小 13	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小 14 (計 9 2 校)
中 学 校	大師中 南大師中 川中島中 桜本中 田島中 京町中 渡田中 富士見中 川崎中 9	南河原中 御幸中 塚越中 南加瀬中 4	平間中 玉川中 住吉中 井田中 今井中 中原中 宮内中 西中原中 8	橘中 高津中 東高津中 西高津中 4	宮崎中 野川中 有馬中 宮前平中 向丘中 菅生中 犬蔵中 7	枅形中 中野島中 南菅中 菅中 生田中 南生田中 6	西生田中 金程中 長沢中 麻生中 王禅寺中央中 白鳥中 6 (計 4 4 校)

4. 市内所在指定文化財一覧

(令和2年4月1日現在)

国指定文化財 16件 (建造物7、絵画1、彫刻1、工芸2、古文書1、考古資料2、有形民俗文化財1、史跡1)

	種 別	件 名	員数	指定年月日	所 在 地	所 有 者	備 考
1	重要文化財	木造薬師如来両脇侍像	3軀	M33. 4. 7	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
2	重要文化財	清原良枝遺誠	2巻	S34. 9. 1	中原区	個人	古文書
3	重要文化財	鬼瓦	1箇	S35. 6. 9	麻生区	個人	考古資料
4	重要文化財	銅錫杖頭	1柄	S35. 6. 9	麻生区	個人	工芸
5	重要文化財	片口土器	1口	S35. 6. 9	宮前区	個人	考古資料
6	重要文化財	旧伊藤家住宅	1棟	S39. 5. 29	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
7	重要文化財	旧北村家住宅	1棟	S41. 12. 5	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
8	重要文化財	旧佐々木家住宅 附 寛保三亥年家普請 人足諸入用帳1冊 延享四年座敷普請 入用寛帳1冊	1棟	S42. 11. 12	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
9	重要文化財	旧太田家住宅	2棟	S43. 4. 25	多摩区枳形7-1-1	川崎市	建造物
10	重要文化財	旧江向家住宅	1棟	S44. 6. 20	多摩区枳形7-1-1	川崎市	建造物
11	重要文化財	旧工藤家住宅	1棟	S44. 12. 18	多摩区枳形7-1-1	川崎市	建造物
12	重要文化財	旧作田家住宅	2棟	S45. 6. 17	多摩区枳形7-1-1	川崎市	建造物
13	重要文化財	葵梶葉文染分辻が花染小袖	1領	S46. 6. 22	川崎区大師本町10-22	明長寺	工芸
14	重要文化財	紙本著色花鳥人物図	1双	S63. 6. 6	高津区	個人	絵画
15	重要有形民俗文化財	旧船越の舞台	1棟	S51. 8. 23	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	有形民俗
16	史跡	橘樹官衙遺跡群	16, 525. 08㎡	H27. 3. 10	高津区千年・宮前区野川本町	川崎市他	史跡

県指定文化財 27件 (建造物11、絵画1、彫刻3、工芸2、無形民俗文化財4、史跡4、天然記念物2)

	種 別	件 名	員数	指定年月日	所 在 地	所 有 者	備 考
1	重要文化財	木造地藏菩薩立像	1軀	S41. 7. 19	多摩区枳形6-7-1	広福寺	彫刻
2	重要文化財	木造聖観音立像	1軀	S41. 7. 19	多摩区枳形6-7-1	広福寺	彫刻
3	重要文化財	鰐口	1口	S44. 12. 2	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	春日神社	工芸
4	重要文化財	太刀 銘国宗	1口	S29. 3. 31	幸区	個人	工芸
5	重要文化財	旧清宮家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
6	重要文化財	旧野原家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
7	重要文化財	旧広瀬家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
8	重要文化財	旧鈴木家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
9	重要文化財	旧三澤家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
10	重要文化財	旧山下家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
11	重要文化財	影向寺薬師堂 附 厨子1基 古瓦15個 石燈籠1基 塔心礎1個 屋根替銘札2枚	1棟	S52. 8. 19	宮前区野川419	影向寺	建造物
12	重要文化財	紙本金地著色鳥合わせ図屏風	六曲一双	S59. 11. 22	多摩区登戸1416	長念寺	絵画
13	重要文化財	旧井岡家住宅 附 旧柱等部材11丁	1棟	S61. 11. 28	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
14	重要文化財	旧岩澤家住宅	1棟	S61. 11. 28	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
15	重要文化財	旧菅原家住宅 附 祈禱札1枚	1棟	H1. 2. 10	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
16	重要文化財	木造虚空蔵菩薩立像	1軀	H4. 11. 20	高津区千年354	能満寺	彫刻
17	重要文化財	旧山田家住宅	1棟	H9. 2. 10	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物

18	無形民俗文化財	沖縄民俗芸能		S51. 10. 19	川崎区大島	川崎沖縄芸能研究会	無形民俗
19	無形民俗文化財	小向の獅子舞		H13. 2. 13	幸区小向（八幡大神）	小向獅子舞保存委員会	無形民俗
20	無形民俗文化財	菅の獅子舞		H13. 2. 13	多摩区菅（薬師堂）	菅獅子舞保存会	無形民俗
21	無形民俗文化財	初山の獅子舞		H13. 2. 13	宮前区菅生（菅生神社）	初山獅子舞保存会	無形民俗
22	史跡	子母口貝塚	898㎡	S32. 2. 19	高津区子母口54-148	川崎市	史跡
23	史跡	東高根遺跡	12,965㎡	S46. 12. 21	宮前区神木本町2丁目	川崎市	史跡
24	史跡	馬絹古墳	1基	S46. 12. 21	宮前区馬絹5-994-8	川崎市	史跡
25	史跡	西福寺古墳	1基	S55. 9. 16	高津区梶ヶ谷3-17	川崎市	史跡
26	天然記念物	東高根のシラカシ林	28,748㎡	S46. 12. 21	宮前区神木本町2丁目	神奈川県	天然記念物
27	天然記念物	春日神社、常楽寺及びその周辺の樹叢	7,148.45㎡	H4. 2. 14	中原区宮内字白田耕地614-1他	常楽寺・春日神社他	天然記念物

市指定文化財115件（建造物19、絵画32、彫刻19、工芸1、書跡2、典籍1、古文書11、考古資料16、史跡1
無形民俗文化財3、民俗資料9、天然記念物1）

	種 別	件 名	員数	指定年月日	所 在 地	所 有 者	備 考
1	歴史記念物	絹本着色秀月禅尼画像	1幅	S36. 9. 18	多摩区登戸1416	長念寺	絵画
2	歴史記念物	板碑	1基	S39. 10. 20	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
3	歴史記念物	泉澤寺文書	一括13点	S39. 10. 20	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	古文書
4	歴史記念物	絹本着色愛染明王像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
5	歴史記念物	紙本着色菅公像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
6	歴史記念物	絹本着色弘法大師像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
7	歴史記念物	絹本着色聖童子会図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
8	歴史記念物	絹本着色仙遊図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
9	歴史記念物	絹本着色日輪大師像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
10	歴史記念物	絹本着色毘沙門天像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
11	歴史記念物	絹本着色不動明王像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
12	歴史記念物	絹本着色文殊菩薩像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
13	歴史記念物	絹本墨画梵字両界曼荼羅図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
14	歴史記念物	紙本着色両界曼荼羅図	2幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
15	歴史記念物	紙本墨書愛蓮説	1幅	S41. 11. 15	川崎区大師町4-48	平間寺	書跡
16	歴史記念物	木造聖観世音菩薩立像	1軀	S41. 11. 15	高津区千年354	能満寺	彫刻
17	歴史記念物	木造釈迦如来坐像	1軀	S43. 2. 10	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
18	歴史記念物	木造聖観世音菩薩立像	1軀	S43. 2. 10	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
19	歴史記念物	木造十二神将立像	12軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
20	歴史記念物	木造聖徳太子立像	1軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
21	歴史記念物	木造二天立像	2軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
22	歴史記念物	木造薬師如来両脇侍像	3軀	S43. 2. 10	多摩区長尾3-9-3	妙楽寺	彫刻
23	歴史記念物	青銅製鰐口	1口	S48. 3. 14	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	工芸
24	歴史記念物	木造国一禅師坐像 附 胎内納入銘札2枚	1軀	S49. 2. 19	多摩区菅仙谷1-14-1	寿福寺	彫刻
25	歴史記念物	木造十二神将立像 附 胎内納入銘札101枚	12軀	S49. 2. 19	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
26	歴史記念物	木造兜跋毘沙門天立像	1軀	S49. 2. 19	麻生区岡上217	東光院	彫刻
27	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書
28	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書

29	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	古文書
30	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	古文書
31	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	古文書
32	歴史記念物	徳川氏奉行人連署奉書	1通	S57. 9. 28	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書
33	歴史記念物	絹本着色地藏菩薩・二童子図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
34	歴史記念物	絹本着色地藏菩薩図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
35	歴史記念物	絹本着色仏涅槃図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
36	歴史記念物	絹本着色両界曼荼羅図	2幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
37	歴史記念物	絹本墨画文殊大士像	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
38	歴史記念物	紙本一部金箔地着色柳・白鷺 図屏風	六曲一双	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
39	歴史記念物	紙本金地着色秋草図屏風	二曲一隻	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
40	歴史記念物	絹本墨画着色盤珪永琢画像	1幅	S60. 12. 24	高津区新作3-27-1	薬師院	絵画
41	歴史記念物	紙本着色四十七士像	1幅	S60. 12. 24	幸区下平間183	称名寺	絵画
42	歴史記念物	紙本着色仏涅槃図	1幅	S60. 12. 24	多摩区菅馬場2-20-1	玉林寺	絵画
43	歴史記念物	紙本墨画着色松寿弁才天図	1幅	S60. 12. 24	多摩区宿河原3-11-3	常照寺	絵画
44	歴史記念物	石造小林正利坐像	1軀	S60. 12. 24	中原区下小田中5-3-15	全龍寺	彫刻
45	歴史記念物	板面着色絵馬泉福寺境内相撲図	1面	S60. 12. 24	宮前区馬絹2-9-1	泉福寺	絵画
46	歴史記念物	板面着色絵馬泉福寺薬師会図	1面	S60. 12. 24	宮前区馬絹2-9-1	泉福寺	絵画
47	歴史記念物	木造阿弥陀如来坐像	1軀	S60. 12. 24	麻生区高石2-6-1	法雲寺	彫刻
48	歴史記念物	木造阿弥陀如来立像	1軀	S60. 12. 24	多摩区登戸1416	長念寺	彫刻
49	歴史記念物	木造釈迦如来坐像	1軀	S60. 12. 24	中原区上丸子八幡町2522	大楽院	彫刻
50	歴史記念物	木造不動明王及び二童子像	3軀	S60. 12. 24	多摩区登戸1253	光明院	彫刻
51	歴史記念物	木造増田孝清坐像 附 胎内納入銘札 1 枚	1軀	S60. 12. 24	高津区千年354	能満寺	彫刻
52	歴史記念物	木造薬師如来坐像	1軀	S60. 12. 24	宮前区神木本町1-8-1	等覚院	彫刻
53	歴史記念物	絹本着色聖徳太子像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
54	歴史記念物	絹本着色浄土七高祖連座像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
55	歴史記念物	絹本着色親鸞聖人像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
56	歴史記念物	銅造阿弥陀如来立像	1軀	S61. 8. 28	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	彫刻
57	歴史記念物	木造四天立像	4軀	S61. 8. 28	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	彫刻
58	歴史記念物	豊臣秀吉の禁制	1通	S63. 2. 19	麻生区	個人	古文書
59	歴史記念物	板碑	1基	S63. 11. 29	高津区久末375	妙法寺	考古資料
60	歴史記念物	弘法大師道標	1基	S63. 11. 29	川崎区大師町4-48	平間寺	建造物
61	歴史記念物	手洗石	1基	S63. 11. 29	川崎区宮本町7-7	稲毛神社	建造物
62	歴史記念物	長弘寺本堂 附 木銘札 1枚 本堂向拝中備龍彫刻 1具	1棟	H2. 1. 23	幸区南加瀬3-24-16	長弘寺	建造物
63	歴史記念物	長念寺庫裏	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
64	歴史記念物	長念寺山門 附 棟札1枚	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
65	歴史記念物	長念寺本堂 附 棟札 1枚 木銘札 1枚	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
66	歴史記念物	日枝神社本殿 附 棟札1枚 山王社境内絵図1枚	1棟	H2. 1. 23	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	建造物
67	歴史記念物	沖永良部の高倉	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物
68	歴史記念物	蚕影山祠堂 附 棟札 1枚 手洗石 1基	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物

69	歴史記念物	水車小屋	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物
70	歴史記念物	菅の船頭小屋 附 道標 2基	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物
71	歴史記念物	棟持柱の木小屋	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物
72	歴史記念物	紙本墨画淡彩仙女図	2幅	H7. 1. 24	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	絵画
73	歴史記念物	紙本着色閻魔府之図	1幅	H8. 1. 25	幸区塚越2-118	東明寺	絵画
74	歴史記念物	紙本着色五趣生死輪図	1幅	H8. 1. 25	多摩区長尾3-9-3	妙楽寺	絵画
75	歴史記念物	紙本着色地藏菩薩及び十王図	11幅1組	H8. 1. 25	川崎区大師本町10-22	明長寺	絵画
76	歴史記念物	泉澤寺本堂 附 造営文書 2点	1棟	H8. 1. 25	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	建造物
77	歴史記念物	子之神社本殿	1棟	H8. 1. 25	多摩区菅北浦5-4-1	子之神社	建造物
78	歴史記念物	白山神社本殿	1棟	H8. 1. 25	麻生区白山4-3-1	白山神社	建造物
79	歴史記念物	有馬古墓群後谷戸グループ古 墓出土火葬骨蔵器 附 坏 19箇	3組3箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
80	歴史記念物	有馬古墓群台坂上グループ古 墓出土火葬骨蔵器 附 簪状骨製品 1本	3組7箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
81	歴史記念物	生田古墓群生田8601番地古墓 出土火葬骨蔵器 附 鹿角製刀子柄 1本	2組4箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
82	歴史記念物	生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火 葬骨蔵器 附 鉄板状製品 1枚	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
83	歴史記念物	菅生古墓群長沢1822番地古墓 出土火葬骨蔵器	2組4箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
84	歴史記念物	野川古墓群野川南耕地A地点 古墓出土火葬骨蔵器 附 鉄板状製品 1枚 鉄釘 13本	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
85	歴史記念物	稗原古墓群A地点古墓出土火 葬骨蔵器 附 和銅開寶 1枚	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
86	歴史記念物	旧佐地家門・供待・塀	1棟	H9. 4. 22	多摩区枳形7-1-1（日本民家園）	川崎市	建造物
87	歴史記念物	細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵 器 附 鉄板状製品 1枚 簪状骨製品 2本	4組9箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
88	歴史記念物	平川家文書	一括	H10. 2. 24	川崎区	個人	古文書
89	歴史記念物	旧原家住宅…① 附 棟札 1枚…② 居宅新築諸職人控・居宅 上棟式諸事控 1冊…③	1棟	H13. 1. 23	①②多摩区枳形7-1-1（日本民家園） ③中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	建造物
90	歴史記念物	古筆手鑑「披香殿」	1帖	H14. 3. 19	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	書跡
91	歴史記念物	无射志国荏原評銘文字瓦	1点	H15. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
92	歴史記念物	寿福寺大般若経	600巻	H16. 12. 14	多摩区菅仙谷1-14-1	寿福寺	典籍
93	歴史記念物	万福寺遺跡群縄文時代草創期 出土品	一括	H20. 4. 22	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
94	歴史記念物	関東下知状 附 極札 1枚	1通	H21. 4. 28	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	古文書
95	歴史記念物	宿河原縄文時代低地遺跡出土 品	一括	H21. 4. 28	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
96	歴史記念物	下原遺縄文時代後・晩期出土 品	一括	H22. 4. 27	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
97	歴史記念物	梶ヶ谷神明社上遺跡出土品	一括	H23. 6. 14	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料

98	歴史記念物	安藤家長屋門	1棟	H24. 11. 27	中原区	個人	建造物
99	歴史記念物	鷲ヶ峰遺跡旧石器時代出土品	一括	H28. 6. 23	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資
100	歴史記念物	深瀬家長屋門	1棟	H29. 6. 30	幸区	個人	建造物
101	歴史記念物	北条家虎朱印状	2通	H30. 4. 24	麻生区	個人	古文書
102	習俗技芸	囃子曲持		S53. 7. 7	中原区新城中町4-14 （新城神社）	新城郷土芸能囃子曲持保存会	無形民
103	習俗技芸	禰宜舞		S59. 10. 30	宮前区平4-6-1 （白幡八幡大神）	禰宜舞保存会	無形民
104	習俗技芸	川崎大師引声念仏・双盤念仏		H31. 2. 8	川崎区大師町4-48（平間寺）	川崎大師双盤講	無形民
105	郷土資料	獅子頭 附 仲立面 1面	3頭	S36. 9. 18	宮前区初山	初山獅子舞保存会	有形民
106	郷土資料	獅子頭	3頭	S48. 3. 14	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	有形民
107	郷土資料	南河原雨乞獅子頭 附 附属用具一式	3頭	S58. 12. 21	幸区都町4-2	延命寺	有形民
108	郷土資料	庚申塔	1基	S63. 11. 29	多摩区長沢1-29-6	盛源寺	有形民
109	郷土資料	庚申塔 附 石造鉢形香炉 1 基	1基	S63. 11. 29	川崎区堀之内11-7	真福寺	有形民
110	郷土資料	庚申塔（石燈籠）	1基	S63. 11. 29	幸区小倉2-7-1	無量院	有形民
111	郷土資料	六字名号塔	1基	S63. 11. 29	川崎区大師町4-48	平間寺	有形民
112	郷土資料	大師河原の漁撈具	一括	H11. 2. 23	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	有形民
113	郷土資料	遊山慕仙詩碑	1基	R1. 7. 23	川崎区大師町4-48	平間寺	有形民
114	史跡	春日神社・菓師堂・常楽寺境内及びその周辺	7, 14 8. 45 m ²	S44. 12. 4	中原区宮内614-1他	常楽寺・春日神社他	史跡
115	天然記念物	パラステゴドン象歯化石	1点	S48. 3. 14	多摩区枳形7-1-2（青少年科学館）	川崎市	天然記念

国登録文化財 7件（登録有形文化財5、登録記念物2）

	種 別	件 名	員数	登録年月日	所 在 地	所 有 者	備 考
1	登録有形文化財	二ヶ領用水久地円筒分水	1件	H10. 6. 9	高津区久地341	川崎市	建造物
2	登録有形文化財	川崎河港水門	1件	H10. 9. 25	川崎区港町66地先	川崎市	建造物
3	登録有形文化財	昭和電工川崎事業所本事務所	1件	H11. 9. 7	川崎区扇町5-1	昭和電工(株) 川崎事業所	建造物
4	登録有形文化財	旧原家住宅稲荷社	1件	R1. 12. 5	中原区小杉陣屋町1-561-11他	個人	建造物
5	登録有形文化財	旧原家住宅表門	1件	R1. 12. 5	中原区小杉陣屋町1-561-7	個人	建造物
6	登録記念物	禅寺丸柿	7本	H19. 7. 26	麻生区王禅寺940他	王禅寺・個人	動植物 鉱物関
7	登録記念物	二ヶ領用水	76, 3 86. 4 3m ²	R2. 3. 10	中原区木月住吉町1956番1外91筆等	川崎市	遺跡関

県選択無形民俗文化財 1件

	種 別	件 名	員数	選択年月日	所 在 地	保存団体	備 考
1	選択無形民俗文化財	川崎山王祭りの宮座式		H3. 2. 8	川崎区宮本町（稲毛神社）	稲毛神社氏子総代会	

5. 地域文化財一覧

(令和2年4月1日現在)

地域文化財 131 件 (有形文化財 59 件、無形文化財 1 件、無形民俗文化財 25 件、有形民俗文化財 38 件、記念物 8 件)

	名 称	種 別	所在地／主な活動場所	決定年度
1	神地神明神社社殿	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	平成 30 年度
2	伝・八百八橋の橋板	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	平成 30 年度
3	神地神明神社鳥居	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	令和元年度
4	泉澤寺鐘楼	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	令和元年度
5	大戸神社社殿	有形文化財 (建造物)	中原区下小田中	平成 30 年度
6	ピンスケ大戸稲荷社	有形文化財 (建造物)	中原区下小田中	平成 30 年度
7	氷川神社祠	有形文化財 (建造物)	高津区宇奈根	令和元年度
8	神明神社祠	有形文化財 (建造物)	高津区下作延	令和元年度
9	溝口神社水屋 (手水舎)	有形文化財 (建造物)	高津区溝口	令和元年度
10	溝口神社水神宮	有形文化財 (建造物)	高津区溝口	令和元年度
11	橘樹神社社殿	有形文化財 (建造物)	高津区子母口	平成 30 年度
12	新作八幡宮石柱	有形文化財 (建造物)	高津区新作	平成 30 年度
13	新作八幡宮拝殿	有形文化財 (建造物)	高津区新作	令和元年度
14	千年神社社務所	有形文化財 (建造物)	高津区千年	令和元年度
15	堰稲荷神社社殿	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	平成 30 年度
16	堰稲荷神社稲荷社祠	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
17	堰稲荷神社神明社祠	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
18	堰稲荷神社鳥居	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
19	中野島稲荷神社祠 (文化 6 年銘)	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成 30 年度
20	中野島稲荷神社祠 (嘉永 6 年銘)	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成 30 年度
21	中野島稲荷神社幟支柱	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成 30 年度
22	中野島稲荷神社社殿	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	令和元年度
23	絹本着色釈迦三尊十六善神像	有形文化財 (絵画)	川崎区大師本町	平成 30 年度
24	紙本着色地獄絵図 附 紙本着色九相図	有形文化財 (絵画)	中原区下小田中	平成 30 年度
25	絹本着色仏涅槃図	有形文化財 (絵画)	中原区下小田中	平成 30 年度
26	木造地藏菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	幸区神明町	平成 30 年度
27	銅造千手観音坐像懸仏	有形文化財 (彫刻)	幸区神明町	平成 30 年度
28	木造蛙彫刻	有形文化財 (彫刻)	多摩区登戸	平成 30 年度
29	金神社社木造大黒天像	有形文化財 (彫刻)	麻生区白鳥	令和元年度
30	堰稲荷神社半鐘	有形文化財 (工芸品)	多摩区堰	令和元年度
31	安楽寺文書	有形文化財 (古文書)	中原区下小田中	令和元年度
32	原家文書	有形文化財 (古文書)	中原区等々力	平成 30 年度
33	上田文書	有形文化財 (古文書)	高津区溝口	平成 30 年度
34	志村家文書	有形文化財 (古文書)	麻生区王禅寺東	平成 30 年度
35	宮野家文書	有形文化財 (古文書)	麻生区岡上	令和元年度
36	梶家文書	有形文化財 (古文書)	麻生区岡上	令和元年度
37	鳥海家文書	有形文化財 (古文書)	麻生区岡上	令和元年度
38	芭蕉「麦の穂を」の句碑	有形文化財 (歴史資料)	川崎区日進町	令和元年度
39	ゐのくち式ポンプ	有形文化財 (歴史資料)	川崎区塩浜	平成 30 年度
40	記念碑「樋誌」	有形文化財 (歴史資料)	幸区塚越	令和元年度
41	陸軍第 101 連隊 (通称東部 62 部隊) 関係名簿	有形文化財 (歴史資料)	幸区小倉	令和元年度

42	海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊境界標柱	有形文化財（歴史資料）	中原区木月大町	令和元年度
43	陸軍軍用地境界標	有形文化財（歴史資料）	中原区木月住吉町	平成 30 年度
44	石碑「平和の礎」	有形文化財（歴史資料）	中原区下小田中	平成 30 年度
45	大戸神社石造 11 社会祀記念碑	有形文化財（歴史資料）	中原区下小田中	令和元年度
46	津田山碑	有形文化財（歴史資料）	高津区下作延	令和元年度
47	津田興二氏頌徳碑	有形文化財（歴史資料）	高津区下作延	令和元年度
48	陸軍軍用地境界標	有形文化財（歴史資料）	高津区向ヶ丘	令和元年度
49	杉山神社追悼碑	有形文化財（歴史資料）	高津区末長	令和元年度
50	千年神社棟札	有形文化財（歴史資料）	高津区千年	令和元年度
51	芭蕉「春の夜は」の句碑	有形文化財（歴史資料）	宮前区野川本町	令和元年度
52	お化け灯籠	有形文化財（歴史資料）	宮前区宮崎	平成 30 年度
53	堰稻荷神社鑿井記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区堰	令和元年度
54	堰稻荷神社架橋記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区堰	令和元年度
55	中野島稻荷神社棟札	有形文化財（歴史資料）	多摩区中野島	令和元年度
56	算額	有形文化財（歴史資料）	多摩区栗谷	平成 30 年度
57	捨馬禁止の高札	有形文化財（歴史資料）	麻生区上麻生	令和元年度
58	徒党禁止の高札	有形文化財（歴史資料）	麻生区上麻生	令和元年度
59	大戸神社板碑断片	有形文化財（考古資料）	中原区下小田中	令和元年度
60	ひとみ座乙女文楽	無形文化財	中原区井田	平成 30 年度
61	下小田中菊花会	無形民俗文化財	中原区下小田中	平成 30 年度
62	中丸子神明大神のおびしゃ	無形民俗文化財	中原区中丸子	平成 30 年度
63	登戸敬神講	無形民俗文化財	多摩区登戸	平成 30 年度
64	中島八幡神社囃子	無形民俗文化財	川崎区中島	平成 30 年度
65	川崎稻毛神社山王囃子	無形民俗文化財	川崎区宮本町	平成 30 年度
66	若宮八幡宮神楽	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成 30 年度
67	大師古民謡	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成 30 年度
68	若宮八幡宮囃子	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成 30 年度
69	川中島囃子	無形民俗文化財	川崎区川中島	平成 30 年度
70	川崎古式消防	無形民俗文化財	川崎区／全区	平成 30 年度
71	戸手中部囃子	無形民俗文化財	幸区紺屋町	平成 30 年度
72	神地祭囃子	無形民俗文化財	中原区上小田中	平成 30 年度
73	大戸神社祭囃子	無形民俗文化財	中原区下小田中	平成 30 年度
74	宮内祭囃子	無形民俗文化財	中原区宮内	平成 30 年度
75	宇奈根地区の稻荷講	無形民俗文化財	高津区宇奈根	令和元年度
76	下作囃子連	無形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
77	諏訪神社祭囃子	無形民俗文化財	高津区諏訪	平成 30 年度
78	土橋万作踊り	無形民俗文化財	宮前区土橋	平成 30 年度
79	有馬大正踊り八木節	無形民俗文化財	宮前区東有馬	平成 30 年度
80	白幡八幡大神平囃子	無形民俗文化財	宮前区平	平成 30 年度
81	五反田節	無形民俗文化財	多摩区生田	平成 30 年度
82	宿河原囃子	無形民俗文化財	多摩区宿河原	平成 30 年度
83	菅祝唄	無形民俗文化財	多摩区菅稲田堤	平成 30 年度
84	登戸古民謡	無形民俗文化財	多摩区登戸	平成 30 年度
85	登戸台和地区の歳之神	無形民俗文化財	多摩区登戸	令和元年度
86	藤崎の石造願掛地藏尊像	有形民俗文化財	川崎区中島	令和元年度
87	石造本田地蔵尊像	有形民俗文化財	幸区紺屋町	令和元年度

88	秩父順禮供養塔（道標）	有形民俗文化財	幸区神明町	平成 30 年度
89	御嶽神社道標	有形民俗文化財	幸区塚越	令和元年度
90	古川神明神社庚申塔	有形民俗文化財	幸区古川町	令和元年度
91	大戸神社狛犬	有形民俗文化財	中原区下小田中	平成 30 年度
92	大戸神社宮殿入木造僧形立像	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
93	大戸神社石造八臂弁財天像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
94	大戸神社庚申塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
95	大戸神社石造堅牢地神像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
96	大戸神社石造八臂馬頭観音像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
97	大戸神社扁額	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
98	大戸神社石造天満宮塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
99	氷川神社扁額	有形民俗文化財	高津区宇奈根	令和元年度
100	下作延神明神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区下作延	平成 30 年度
101	神明神社幟（奉納五良大権現）	有形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
102	神明神社幟（奉獻神明宮）	有形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
103	新作八幡宮手水鉢	有形民俗文化財	高津区新作	令和元年度
104	末長杉山神社扁額（杉山大明神）	有形民俗文化財	高津区末長	平成 30 年度
105	末長杉山神社扁額（神明宮）	有形民俗文化財	高津区末長	平成 30 年度
106	末長杉山神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区末長	平成 30 年度
107	末長杉山神社力石	有形民俗文化財	高津区末長	平成 30 年度
108	千年神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区千年	令和元年度
109	影向寺手水石	有形民俗文化財	宮前区野川本町	令和元年度
110	影向寺力石	有形民俗文化財	宮前区野川本町	令和元年度
111	等覚院手洗鉢	有形民俗文化財	宮前区神木本町	平成 30 年度
112	「神功皇后と武内宿禰」の家型大絵馬	有形民俗文化財	宮前区菅生	平成 30 年度
113	中野島稲荷神社手水鉢	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成 30 年度
114	中野島稲荷神社扁額（明和 9 年銘）	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成 30 年度
115	中野島稲荷神社扁額（安政 5 年銘）	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成 30 年度
116	中野島稲荷神社厨子	有形民俗文化財	多摩区中野島	令和元年度
117	中野島稲荷神社木造白狐像	有形民俗文化財	多摩区中野島	令和元年度
118	蚕影山祠堂関係資料	有形民俗文化財	多摩区枳形	平成 30 年度
119	琴平神社手水舎	有形民俗文化財	麻生区王禅寺	令和元年度
120	琴平神社本殿狛犬	有形民俗文化財	麻生区王禅寺	令和元年度
121	鳥海家大工道具	有形民俗文化財	麻生区岡上	令和元年度
122	香林寺最勝散版木	有形民俗文化財	麻生区細山	令和元年度
123	向原の石造弁財天像	有形民俗文化財	麻生区向原	平成 30 年度
124	塚越古墳	記念物（遺跡関係）	幸区塚越	令和元年度
125	旧平瀬川の流路跡と中原堰の遺構	記念物（遺跡関係）	高津区溝口～二子	令和元年度
126	海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕	記念物（遺跡関係）	高津区久末	令和元年度
127	旧陸軍登戸研究所の遺構群	記念物（遺跡関係）	多摩区東三田	平成 30 年度
128	長十郎梨	記念物（動植物関係）	川崎区川中島	令和元年度
129	伝十郎桃	記念物（動植物関係）	川崎区藤崎	平成 30 年度
130	溝口神社長寿けやき	記念物（動植物関係）	高津区溝口	令和元年度
131	五反田川の甌穴群	記念物（地質鉱物関係）	多摩区生田	令和元年度

6. 施設一覧

施設名	所在地・TEL	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設
教育文化会館	川崎区富士見 2-1-3 233-6361	昭和 42 年 3 月	3,721 m ²	15,137.86 m ²	鉄骨 鉄筋	会議室 9、学習室 6、情報学習 室、教養室 4、イベントホール
プラザ大師 教育文化会館大師分館 川崎図書館大師分館	川崎区大師駅 前 1-1-5 266-3550	平成 7 年 11 月	— (区分所有)	1,032.45 m ²	鉄骨 鉄筋	学習室、実習室、和室、談話室、 児童室、図書館分館
プラザ田島 教育文化会館田島分館 川崎図書館田島分館	川崎区追分町 16-1 333-9120	平成 4 年 10 月	— (区分所有)	890.07 m ²	鉄骨 鉄筋	集会兼学習室、実習室、和室、 児童室、談話室、図書館分館
幸文化センター 幸市民館 幸図書館	幸区戸手本町 1-11-2 541-3910	昭和 55 年 7 月	7,556.54 m ²	6,086.30 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール（定席 840）、会議室 5、 教養室 5、児童室、ギャラリー、 閲覧室、対面朗読室他
幸市民館 日吉分館	幸区南加瀬 1-7-17 587-1491	平成 15 年 7 月	2,230 m ² (日吉合同庁舎)	825.18 m ² (分館共用部分含 む)	鉄筋	学習室、実習室、和室、児童室、 談話室
中原市民館	中原区新丸子 東 3-1100-12 433-7773	昭和 49 年 6 月 平成 21 年 4 月 改築移転	— (区分所有)	4,007 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール（通常 375）、会議室 6、 教養室 7、ギャラリー、談話室、 他
高津市民館	高津区溝口 1-4-1 814-7603	昭和 49 年 7 月 平成 9 年 9 月 改築移転	— (区分所有)	8,373.38 m ²	鉄筋	ホール（通常 600）、会議室 6、 教養室 7、児童室、大会議室、 ギャラリー、他
プラザ橘 高津市民館橘分館 高津図書館橘分館	高津区久末 2012-1 788-1531	平成 5 年 10 月	1,473.78 m ²	1,228.92 m ²	鉄筋	学習室、実習室、和室、児童室、 市民活動支援ルーム、談話室、 ギャラリーコーナー、図書館分 館
宮前文化センター 宮前市民館 宮前図書館	宮前区宮前平 2-20-4 888-3911	昭和 60 年 7 月	6,132.87 m ²	8,592.69 m ²	鉄筋	ホール（定席 910）、会議室 5、 教養室 5、ギャラリー、閲覧室、 対面朗読室、郷土資料室、自動 車文庫
宮前市民館 菅生分館	宮前区菅生 5-4-11 977-4781	昭和 62 年 4 月	840 m ²	413.05 m ²	鉄骨	集会室、学習室、和室、児童室、 談話室
多摩市民館	多摩区登戸 1775-1 935-3333	昭和 47 年 9 月 平成 9 年 1 月 改築	6,167.47 m ² (区総合庁舎)	6,438.0 m ² (専有床面積分)	鉄骨 鉄筋	ホール（定席 908）、大会議室、 会議室 6、教養室 6、児童室、 体育室、ギャラリー他
麻生文化センター 麻生市民館 麻生図書館	麻生区万福寺 1-5-2 951-1300	昭和 60 年 7 月	8,592.93 m ²	6,984.72 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール（定席 1,010）、会議室 5、教養室 5、児童室、ギャラ リー、閲覧室、対面朗読室、郷 土資料室他
麻生市民館 岡上分館	麻生区岡上 286-1 988-0268	昭和 53 年 3 月	1,218.41 m ²	800.2 m ²	鉄筋	集会室、和室、学習室、体育室、 図書室、児童室他
川崎図書館	川崎区駅前本 町 12-1 200-7011	平成 7 年 4 月	— (区分所有)	1,178.97 m ²	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、郷土資料コ ーナー、雑誌コーナー、対面朗 読・お話室他
幸図書館 日吉分館	幸区南加瀬 1-7-17 587-1491	平成 15 年 7 月	2,230 m ² (日吉合同庁舎)	282.45 m ² (分館共用部分 含む)	鉄筋	一般・児童図書室、対面朗読室
中原図書館	中原区小杉町 3-1301 722-4932	昭和 35 年 4 月 平成 25 年 4 月 供用開始 (改築移転)	7,522.83 m ² (西街区ビル)	4,496.92 m ²	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書コーナー、おは なしのへや、市民情報コーナ ー、予約本受取コーナー、多目 的室、視覚障がい者サポート室 他

施設名	所在地・TEL	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設
高津図書館	高 津 区 溝 口 4-16-3 822-2413	昭和40年9月 昭和63年3月 改築	2,652.53㎡	2,196.38㎡	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、閲覧室、郷土資料室、対面朗読室他
多摩図書館	多 摩 区 登 戸 1775-1 935-3400	昭和38年10月 平成9年1月 改築	6,167.47㎡ (区総合庁舎)	1,725.20㎡ (専有床面積分)	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、閲覧室、郷土資料コーナー、対面朗読室、お話の部屋他
麻生図書館 柿生分館	麻 生 区 片 平 3-3-1 986-6470	平成15年6月	11,605.52㎡ (柿生小学校)	211.83㎡	鉄筋	一般・児童図書室
市民 ミュージアム	中原区等々力 1-2 754-4500	昭和63年11月	25,358㎡	19,542㎡	鉄骨 鉄筋	企画展示室1・2、博物館展示室(考古・歴史・民俗) アートギャラリー1・2・3、ミュージアムギャラリー1・2、映像ホール、ミュージアムライブラリー、研修室他
日本民家園	多 摩 区 枅 形 7-1-1 922-2181	昭和42年4月	32,380㎡	本館 768㎡	鉄筋	展示建造物25件(国指定重要文化財7件、国指定重要有形民俗文化財1件、県指定重要文化財10件、市重要歴史記念物7件)、本館、伝統工芸館他
				展示建物 4,212㎡	木造	
				伝統工芸館 203㎡		
青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館)	多 摩 区 枅 形 7-1-2 922-4731	昭和46年8月 平成24年4月 改築	3,854.40㎡	3,074.66㎡	鉄骨 鉄筋	自然学習棟：展示室、プラネタリウム、学習室等 研究管理棟：事務室、標本製作室、調査研究室等
岡本太郎美術館	多 摩 区 枅 形 7-1-5 900-9898	平成11年10月	9,468㎡	4,993㎡	鉄骨 鉄筋	常設展示室、企画展示室、テーマ展示室、ガイダンスホール、創作アトリエ、情報コーナー、収蔵庫、シンボルタワー「母の塔」他
大山街道 ふるさと館	高 津 区 溝 口 3-13-3 813-4705	平成4年8月	636.27㎡	1,092.03㎡	鉄骨 鉄筋	展示室、イベントホール、第1・2会議室、和室他
東海道かわさき 宿交流館	川崎区本町 1-8-4 280-7321	平成25年10月	655㎡	1,013㎡	鉄骨	展示室、休憩・交流スペース 第1・2集会室、談話室
とどろき アリーナ	中原区等々力 1-3 798-5000	平成7年8月	20,564.51㎡	21,677.61㎡	鉄骨 鉄筋	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、体育室、研修室、スポーツ情報コーナー他
カルッツ かわさき	川崎区富士見 1-1-4 222-5211	平成29年10月	13,230㎡	25,423.9㎡ (文化施設含む)	地上 鉄骨 地下 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室2、弓道場、トレーニング室、ホール(定席2,013)、アクトスタジオ、音楽練習室2、大会議室4、中会議室3、小会議室1
川崎市幸 スポーツセンター	幸区戸手本町 1-11-3 555-3011	昭和60年6月	8,376.51㎡	3,528.44㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、研修室3、トレーニング室、ロビー他
川崎市高津 スポーツセンター	高 津 区 二 子 3-15-1 813-6531	平成9年7月	8,075.2㎡	4,572.18㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室、トレーニング室、健康体力相談室、ストレッチルーム、ユニバーサル広場他
川崎市宮前 スポーツセンター	宮 前 区 犬 蔵 1-10-3 976-6350	平成18年4月	4,033.35㎡	3,991.01㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、トレーニング室、研修室2、区民サロン他
川崎市多摩 スポーツセンター	多摩区菅北浦 4-12-5 946-6030	平成23年3月	屋内施設 9,797.87㎡	6,899.44㎡	鉄骨 鉄筋	大・小体育室、武道室2、ランニングコース、屋内温水プール、トレーニング室、アーチェリー練習場、研修室、軟式野球場、テニスコート他
			屋外施設 約20,000㎡			
川崎市麻生 スポーツセンター	麻生区上麻生 3-6-1 951-1234	昭和61年6月	4,290.48㎡	3,728.67㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室、トレーニング室、健康体力相談室他

施設名	所在地・TEL	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設
石川記念武道館	幸区下平間 357 544-0493	昭和51年12月	1,017.2 m ²	1,002.747 m ²	鉄骨 鉄筋	柔道場、剣道場、ロビー他
ふれあい館 桜本こども文化 センターと併設	川崎区桜本 1-5-6 276-4800	昭和63年6月	869.52 m ²	630 m ² 内こども文化 センター330 m ²	鉄筋	会議室2、学習室、和室文化交 流室、資料室 他
生涯学習プラザ 生涯学習財団 総務室 事業推進室	中原区今井南 町28-41 733-5560 733-6626	平成3年1月 財団設立 平成17年4月 名称変更	1,999.272 m ²	3,356.33 m ²	鉄筋	会議室3、活動室、研修室、多 目的ルーム、フィットネスルー ム、実習室、事務室他
八ヶ岳少年 自然の家	長野県諏訪郡 富士見町境字 広原 12067-482 0266-66-2011	昭和52年8月	356,691.41 m ²	9,980.80 m ²	鉄筋 木造	センターハウス：プレイホー ル、食堂、研修室、事務室 宿泊棟：集会室、研修室、浴室、 宿泊室
青少年の家	宮前区宮崎 105-1 888-3588	昭和38年4月 昭和63年7月 改築	9,811.09 m ²	4,569.41 m ²	鉄筋	研修室棟：プレイホール、オリ エンテーションホール、音楽 室、創作活動室、食堂、研修室、 事務室他 宿泊棟：宿泊室、浴室
黒川青少年野外 活動センター	麻生区黒川 313-9 986-2511	平成3年8月	16,120.79 m ²	998.67 m ²	鉄骨	宿泊室、集会室、厨房、工作室、 野外炊事場、グラウンド他
子ども夢パーク	高津区下作延 5-30-1 811-2001	平成15年7月	9,871.76 m ²	1,827.57 m ²	鉄骨 鉄筋	全天候広場、スタジオ2、学習 交流・創作・屋根裏スペース、 サイクリングロード 他
有馬・野川生涯学 習支援施設(アリ ーノ)	宮前区東有馬 4-6-1 853-3737	平成21年5月	1,452.21 m ²	1,618.95 m ²	鉄筋	集会室、学習室3、教養室3、 フリースペース、児童室、地域 図書室 他

社会教育要覧 No. 67

令和2（2020）年 9月発行

編 集 川崎市教育委員会事務局
生涯学習推進課

発 行 川崎市教育委員会
川崎市川崎区宮本町6
電話 044(200)3303